Pioneer sound.vision.soul

DVD/MD/メモリースティック ミニコンポーネントシステム

X-SV7DV

MDLP

お客様登録のご案内

http://www3.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての**「お客様登録」**をお願いいたします。
ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報などのご案内をさせていただきます。
また、ご登録いただきますとIDが発行され、お役に立つ情報満載のお客様専用ページにアクセスすることができます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意（絵表示について）

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告[異常時の処置]

プラグを抜く

- **万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。**

プラグを抜く

- **万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**

プラグを抜く

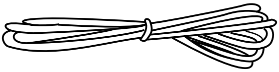
- **万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**

付属品を確認しましょう

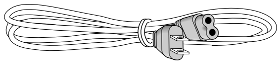
- リモコン × 1



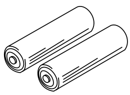
- FM 簡易アンテナ × 1



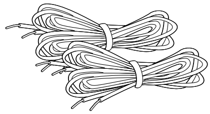
- 電源コード × 1



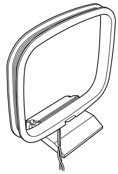
- 単 3 形乾電池 × 2
（AA/R6P）



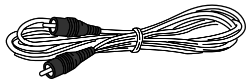
- スピーカーコード × 2



- AM ループアンテナ × 1
（図は組み立てた状態です。）



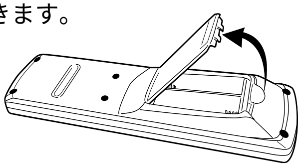
- ビデオコード × 1



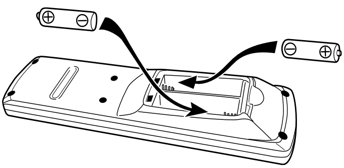
- 保証書
- 取扱説明書（本書）
- 安全上のご注意

リモコンに電池を入れましょう

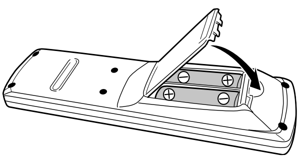
1. 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開きます。



2. ケース内に表記されている極性⊕(プラス)/⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れます。



3. 裏フタを矢印の方向に閉めます。



注 意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（電池に記載されている注意事項もよく見てください。）

◆ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。

◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

◆ 長い間（1 か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。

◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

もくじ

はじめに

基本操作

ディスクを使う（DVD / CD / MP3/ ビデオ CD）

メモリースティックを使う

MD を使う

録音する

メモリースティックに録音する

MDに録音する

メモリースティックとMDへ同時に録音する

その他

編集する

メモリースティックを編集する

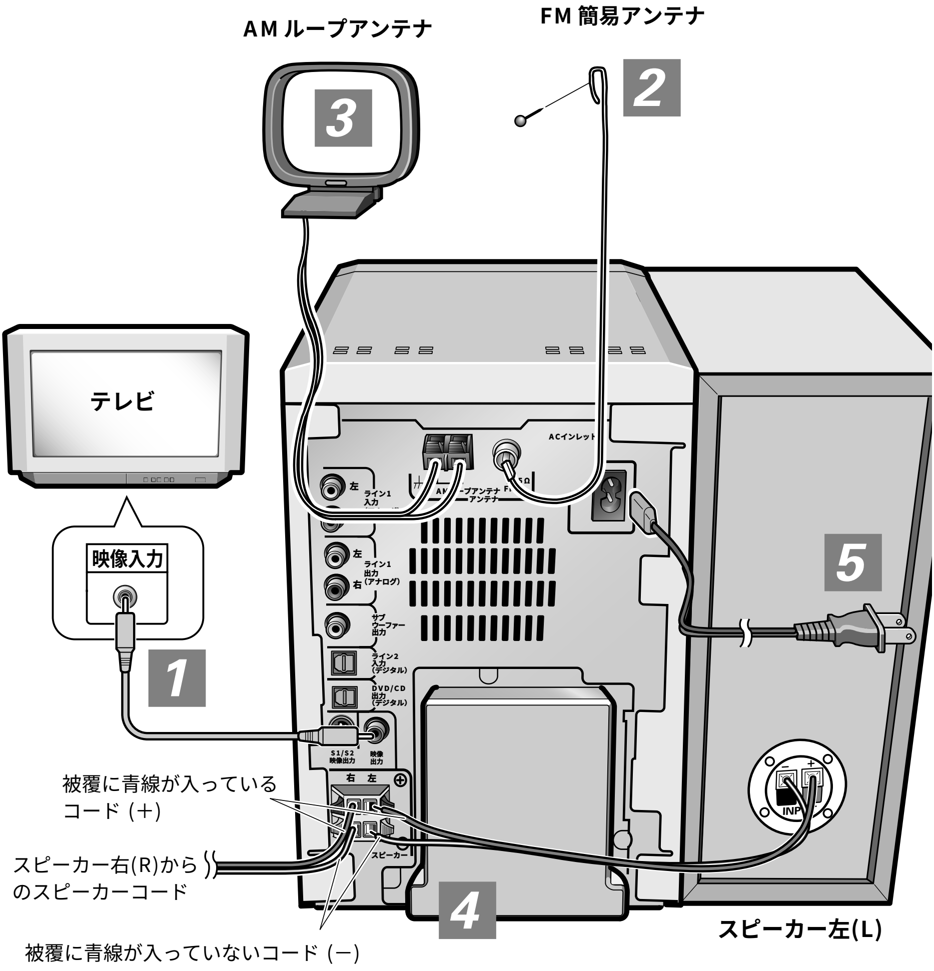
MDを編集する

MDのグループ機能を使う

その他

本機の接続をしましょう

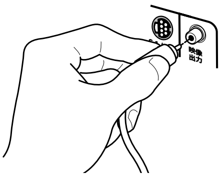
- アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続しないと FM/AM 放送が受信できません。
- 接続を行なう場合、あるいは変更を行なう場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。
- 本機に外部機器を接続する場合は、148 ～ 151 ページを参照してください。



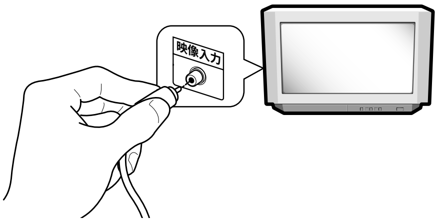
⚠ **注意：**
- 本スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 本スピーカー以外のスピーカーを本システムに接続する場合は、インピーダンスが 4Ω ～ 16Ω のものをご使用ください。

1 テレビと接続します

付属のビデオコード（黄色のプラグ）を本機の映像出力端子に接続します。

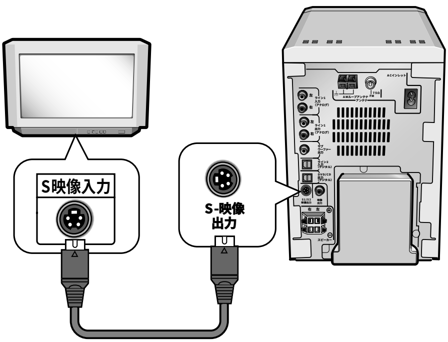


次に、ビデオコード（黄色のプラグ）の反対側をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)に接続します。



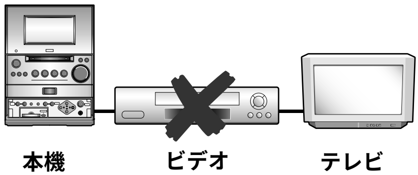
S 映像入力端子付きテレビの場合

S 映像入力端子を持っているテレビの場合、S1/S2 端子を使うと、付属の映像ケーブルを使った映像入力端子への接続より、鮮明で高品位な映像を楽しむことができます。
この場合は、下図のように市販の S 映像ケーブルで接続します。



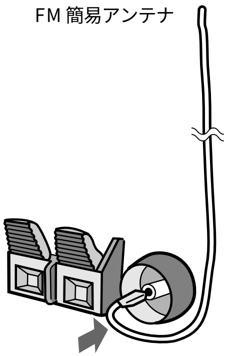
注 意

◆ **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。



◆ S 映像入力端子付きテレビに接続した場合、映像が横方向に引き伸ばしたように見えるときは、取扱説明書の135ページを参照して、S1 に設定してください。

2 FM簡易アンテナを接続します

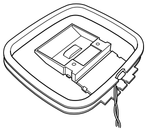


FM 簡易アンテナは、中央のピンに差し込んで使用します。
また FM 簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張っておきます。

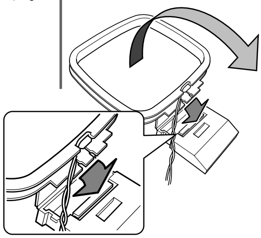
3 AMループアンテナを組み立ててから接続します

組み立て

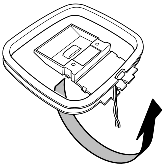
① コードがねじれて巻かれている部分までをほどきます。



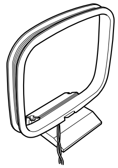
③ 突起部を溝にはめ込みます。



② 台を外側に出します。

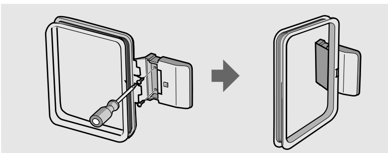


④ 組み立ては完成です。



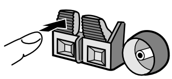
壁に取り付けるには....

ネジや押しピンなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。

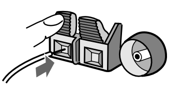


接続

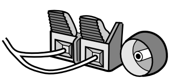
① 指で端子のレバーを上側に押します。



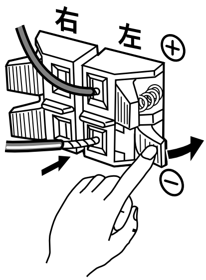
② コードの先端を端子に挿入し、端子のレバーを押さえていた指を離します。

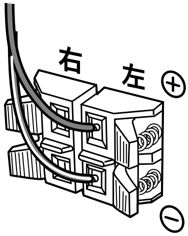


③ もう一方のコードも同様に、端子に接続します。



4 スピーカーコードを接続します

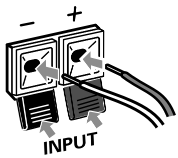




端子のレバーを押しながら、スピーカーコードを差し込みます。
レバーは指を離すと元にもどります。
被覆に青線が入っているコードを赤い端子に差し込みます。
被覆に線の入っていないコードは、黒い端子に差し込みます。

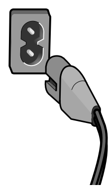
スピーカー側の端子も同様に接続します。

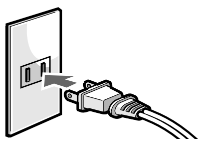
軽くひっぱって、抜けないことを確認します。



5 電源コードを本体と壁のコンセントへ差し込みます

ACインレット





電源コードを本体のACインレットに差し込みます。

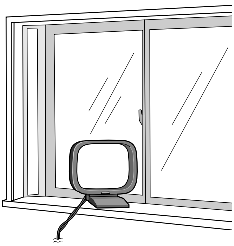
電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。
はじめて電源コードをコンセントにつないだ時はデモモードになります。詳しくは19ページをご覧ください。

アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ：

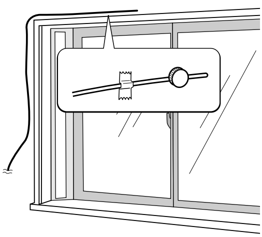
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM 放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。



- できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や向きを変えて受信しやすい状態を探してください。

FM 簡易アンテナ：

- 付属の FM 簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画びょうやテープで貼付けます。

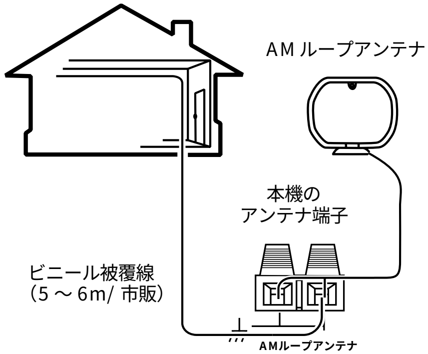


- 付属の FM 簡易アンテナは、FM 放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属アンテナでよく聞こえないとき

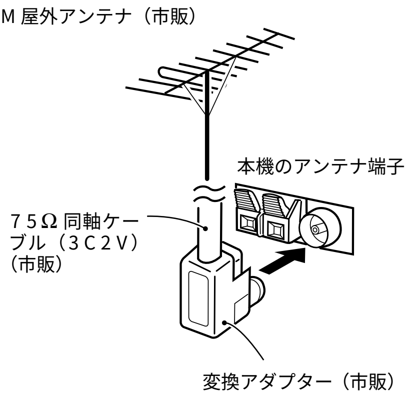
AM 外部アンテナをつなぐ

- AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。



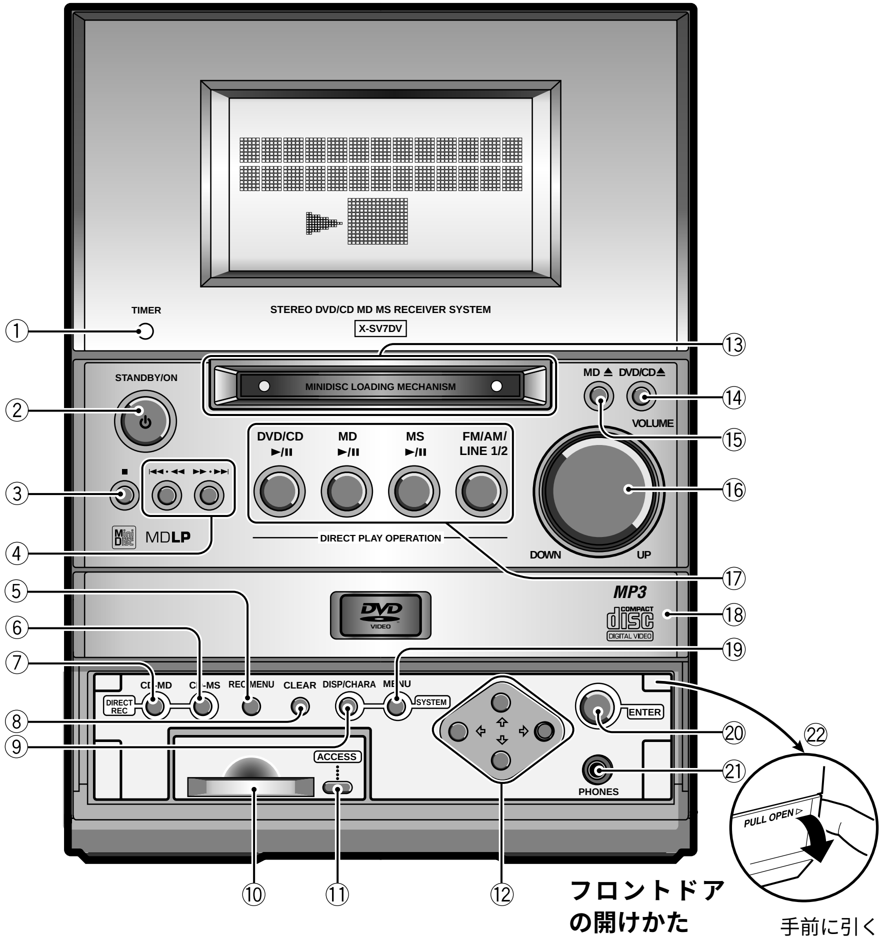
FM 屋外アンテナをつなぐ

- 市販の FM 屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

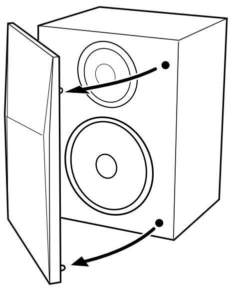


各部のなまえとはたらきを覚えましょう

本体部



スピーカーのグリルの着脱



このスピーカーシステムは前面のグリルを取りはずすことができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1. はずすときはグリルの右側（または下側）を手前に軽く引っぱって、グリルの片側をはずします。
2. 同じように、グリル左側（または上側）を手前に引っぱると、グリルは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、グリル上側および下側にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

- スピーカーを保護するため、グリルははずしたままにしないでください。

① **タイマーインジケーター**
目覚ましタイマー / タイマー録音が設定されていると点灯します。

② **電源ボタン**
押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部のバックライトが消灯します。

リモコン受光部
- リモコン受光部は、電源ボタンの裏側にあります。リモコン前部を向けて操作してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。

③ **■ボタン**
停止するときに使用します。

④ **⏮・◀◀ ▶▶ ・⏭ ボタン**
タイトル / チャプター / トラックを早送り、早戻し、または頭出しをします。

⑤ **録音メニューボタン**
録音を開始するときに使用します。

⑥ **CD-MSダイレクト録音ボタン（38, 79ページ）**
CDを簡単にメモリースティックへ録音します。

⑦ **CD-MDダイレクト録音ボタン（42, 84ページ）**
CD を簡単に MD へ録音します。

⑧ **クリアボタン**
取り消すときに使用します。

⑨ **システム表示/文字ボタン（23, 51, 97, 104, 120ページ）**
MD とラジオの表示の切りかえ、文字入力時の文字の種類を切りかえます。

⑩ **メモリースティック挿入部**

⑪ **アクセスランプ（35ページ）**
メモリースティックに読み書きしているときに点滅 / 点灯します。

⑫ **⇧ ⇩ ⇦ ⇨**
項目の選択や変更、または DVD などのメニューや設定画面にて、カーソルを上下左右に移動します。
また、ラジオのステーションの選択や放送局のチューニングにも使用します。

⑬ **MD挿入部**

⑭ **DVD/CD ⏏ ボタン**

⑮ **MD取り出し(⏏)ボタン**

⑯ **音量つまみ**

⑰ **ダイレクト再生/一時停止ボタン**
以下の 4 つのボタンを押すと、スタンバイ時でも電源がオンになります。また、ラジオ放送やディスク / メモリースティックがセットされている場合は、再生を開始します。
また、ディスクやメモリースティックの再生中に押すと、一時停止します。

DVD/CDボタン
DVD や CD、MP3、ビデオ CD を再生したり、一時停止します。

MDボタン
MD を再生したり、一時停止します。

MSボタン
メモリースティックを再生したり、一時停止します。

FM/AM/LINE 1/2ボタン
ラジオを聞いたり、本機に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。

⑱ **ディスクテーブル**

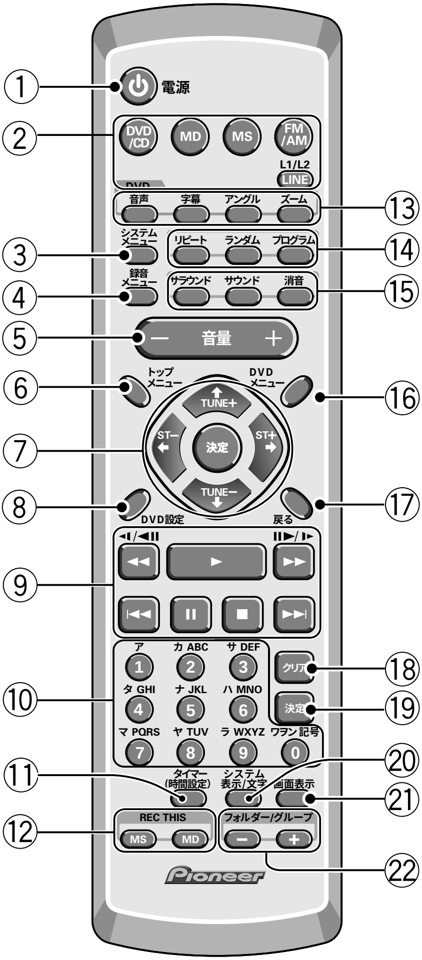
⑲ **システムメニューボタン**
各種設定に使用します。

⑳ **決定ボタン**

㉑ **ヘッドホン端子**
市販のヘッドホンを接続します。
インピーダンス 16 Ω～ 50 Ω（推奨 32 Ω）、直径3.5 Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

㉒ **フロントドア**
PULL OPENの部分を手前に引くとドアが開きます。

リモコン



1 電源ボタン

押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部のバックライトが消灯します。

② ダイレクト再生/一時停止ボタン

以下の 5 つのボタンを押すと、スタンバイ時でも電源がオンになります。また、ラジオ放送やディスク / メモリースティックがセットされている場合は、再生を開始します。
また、ディスクやメモリースティックの再生中に押すと、一時停止します。

DVD/CDボタン

DVD や CD、MP3、ビデオ CD を再生したり、一時停止します。

MDボタン

MD を再生したり、一時停止します。

MSボタン

メモリースティックを再生したり、一時停止します。

FM/AMボタン

ラジオを聞いたり、FM 局と AM 局を切りかえます。

LINE 1/2ボタン

本機に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。押すごとに、LINE1 と LINE2 が切りかわります。

③ システムメニューボタン

各種設定に使用します。

④ 録音メニューボタン

録音を設定するときに使用します。

⑤ 音量ボタン

⑥ トップメニューボタン

DVD ソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

⑦ ⇧ ⇩⇦ ⇨ / 決定ボタン

項目の選択や変更、または D V D などのメニューや設定画面にて、カーソルを上下左右に移動します。
また、ラジオのステーションの選択や放送局のチューニングにも使用します。

⑧ **DVD設定ボタン**
メインメニュー画面を表示したり、操作 / 設定の途中で画面をオフにします。

⑨ **►ボタン**
再生するときに使用します。

■ ボタン
停止するときに使用します。

II ボタン
一時停止するときに使用します。

◄◄/◄I/◄II ボタン
再生中に早戻しをします。また、DVDの一時停止中に押すと逆方向にコマ戻し再生をし、押し続けると逆方向にスロー再生をします。

►►/II►/I► ボタン
再生中に早送りをします。また、DVDの一時停止中に押すとコマ送り再生をし、押し続けるとスロー再生をします。

►►I ボタン
次のチャプター / トラックに送ります。

I◄◄ ボタン
再生中のチャプター / トラックの先頭に戻ります。

⑩ **文字/数字ボタン**
見たい、聞きたいタイトル/チャプター/トラックを指定します。
また、文字を入力するときや、メニュー画面で項目を選択するときにも使用します。

⑪ **タイマー（時間設定）ボタン（22, 126～131ページ）**
時計の時刻を合わせたり、目覚ましタイマーやタイマー録音を設定します。

⑫ **MS REC THISボタン（39, 81ページ）**
いま聞いているCDやMDの曲を、メモリースティックに録音します。

MD REC THISボタン（43, 86ページ）
いま聞いているCDやメモリースティックの曲を、MDに録音します。

⑬ **音声ボタン（29ページ）**
言語、または音声を切りかえます。

字幕ボタン（29ページ）
DVDの字幕言語を切りかえます。

アングルボタン（57ページ）
DVDのアングルを切りかえます。

ズームボタン（57ページ）
映像を拡大します。

⑭ **リピートボタン（54,70,74ページ）**

ランダムボタン（55,70,74ページ）

プログラムボタン（56,71,75ページ）

⑮ **サラウンドボタン （122ページ）**

サウンドボタン（124ページ）

消音ボタン
音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すとミュートは解除され、消音する前の音量に戻ります。

⑯ **DVDメニューボタン**
DVDのメニュー画面を表示するときに使用します。また、MP3やCDでは、ディスクナビゲーター画面を表示するときに使用します。

⑰ **戻るボタン**
DVDの初期設定画面やメニュー画面が表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻ります。

⑱ **クリアボタン**

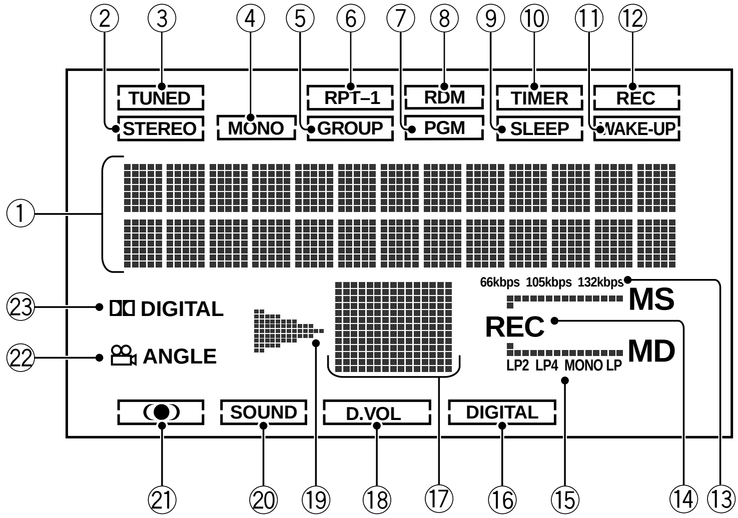
⑲ **決定ボタン**

⑳ **システム表示/文字ボタン（23, 51, 96, 104, 120ページ）**
MDとラジオの表示の切りかえ、文字入力時の文字の種類を切りかえます。

㉑ **画面表示ボタン（68～69ページ）**
DVDやCDなどのディスクの情報を表示するときに使用します。

㉒ **フォルダー/グループサーチボタン（53, 118ページ）**
MP3のフォルダーの頭出しをしたり、グループ登録されたMDのグループの頭出しをするときに使用します。

表示部



① 文字や数字を表示します。

② FM放送でステレオ受信しているときに点灯します。

③ FM/AM放送受信時に点灯します。

④ FM放送の受信設定をモノラルに設定すると点灯します。(47ページ)

⑤ MDのグループ再生機能にて、グループプレイが設定されていると点灯します。(119ページ)

⑥ 全曲リピート再生時にはRPTと点灯し、1曲リピート再生時は、RPT-1と点灯します。

⑦ プログラム設定時、または再生時に点灯します。

⑧ ランダム再生時に点灯します。

⑨ スリープタイマー設定時に点灯します。

⑩ タイマー設定時に点灯します。

⑪ 目覚ましタイマー設定時に点灯します。また、目覚ましタイマー動作時に点滅します。

⑫ 録音タイマー設定時に点灯します。また、録音タイマー動作時に点滅します。

⑬ メモリースティックに録音するときのビットレートを表示します。

⑭ 録音中に点灯します。

⑮ MDのステレオ長時間録音(LP2モード)設定時にLP2と点灯します。
MDのステレオ長時間録音(LP4モード)設定時にLP4と点灯します。
MDのモノラル長時間録音設定時にMONO LPと点灯します。

⑯ 録音の設定において、デジタル録音が設定されていると点灯します。

⑰ 選択されているファンクションのマークを表示します。

⑱ デジタル録音レベルを0dB以外に設定すると点灯します。

⑲ MDやDVDなどのディスクの再生中、メモリースティックの再生中に点灯し、一時停止中に点滅します。

⑳ 音質をFLATに設定すると消灯します。(124ページ)

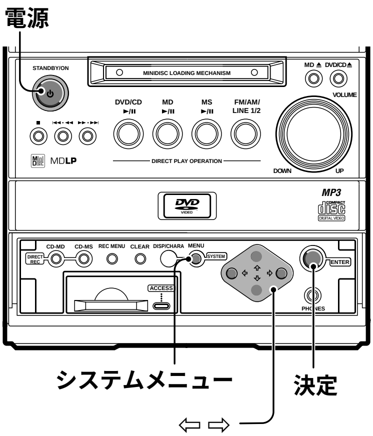
㉑ バーチャルサラウンドを選択しているときに点灯します。

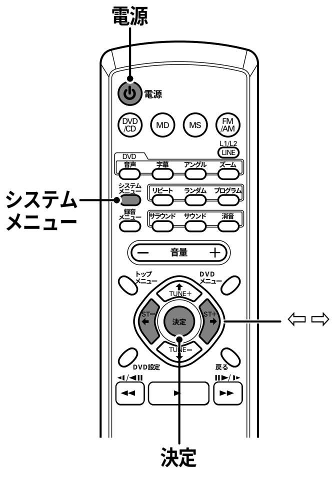
㉒ DVDソフトを再生中、アングルを変更できる場面で点灯します。

㉓ ドルビーデジタル音声を再生しているときに点灯します。

デモ表示を解除しましょう

電源コードをコンセントに差し込んだときなど、表示部にいろいろな表示を自動的に行うことを、デモ表示といいます。





一時的にデモ表示を解除するには

リモコンや本体のいずれかのボタンを押します

デモ表示を一時的に解除します。この場合は、以下のときに再びデモ表示を行います。

- 電源コードをコンセントに差し込んだとき
- DVD、CD、MDの再生や録音が終了して5分以上何も操作をしないとき
- 停電したあと

デモ表示をしないように設定するには

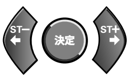
1. **電源⏻ボタンを押して電源をオフにします**



2. **システムメニューボタンを押します**

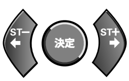


3. **⇦ ⇨ で"DEMO MODE"にしてから、決定ボタンを押します**



DEMO MODE

4. **⇦ ⇨ で"OFF"にしてから、決定ボタンを押します**



再びデモ表示を設定する場合は、"ON"にしてから決定ボタンを押します。

Q&A

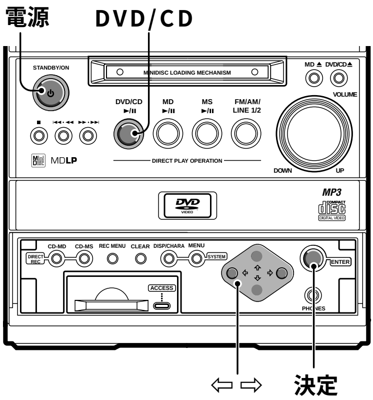
Q ： デモ表示をしない！

→ 22ページにて時刻を設定すると、デモ表示をしなくなります。

注 意

◆ デモ表示を解除した場合でも、電源コードを抜いたり停電した状態が長時間続くと、再度電源コードをコンセントに差したり通電が再開したときに、デモ表示をする場合があります。

接続したテレビの種類を選びましょう



DVD を再生する前に、本機と接続したテレビの種類を選びましょう。
この設定画面は、一度設定すると次に電源を入れたときには表示されません。あとから変更する場合は、初期設定の**[テレビ画面]**(134ページ)で設定してください。

1. 電源⏻ボタンを押して、本機の電源をオフにします



2. 接続したテレビの電源を入れます

テレビのリモコン、またはテレビ本体の電源ボタンで電源を入れます。

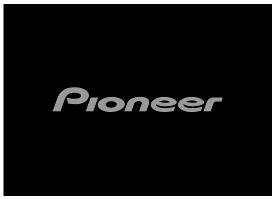
3. テレビの入力を切りかえます

テレビの入力を、本機とつないだ入力端子に切りかえます。

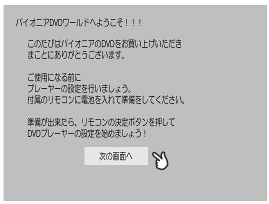
4. DVD/CD ボタンを押します

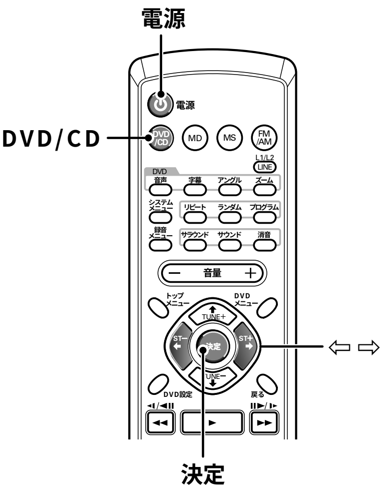


テレビ画面に[Pioneer]が表示されます。



次に下記の設定画面が表示されます。



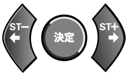


5. 決定ボタンを押します

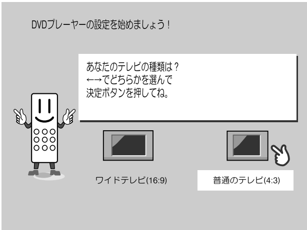


設定画面の指示にしたがって、本機の初期設定を開始します。

6. 接続したテレビの種類を選びます

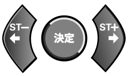


⇦ ⇨ で選択し、決定ボタンを押します。

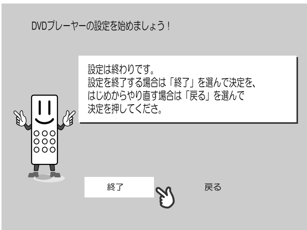


接続したテレビが、**[ワイドテレビ(16:9)]**か**[普通のテレビ(4:3)]**かを選択します。

7. 設定画面を終了します



⇦ ⇨ で**[終了]**を選択し、決定ボタンを押します。



手順6をやり直す場合は、⇦ ⇨ で[戻る]を選択し、決定ボタンを押します。

8. 設定が終了しました！

DVDを再生するときは24ページ、
CDやMP3を再生するときは30～31ページ、
ビデオCDを再生するときは32～33ページ、
メモリースティックを再生するときは34ページ、
MDを再生するときは40ページ、
ラジオを聞くときは46ページ、

をご覧ください。

メモ

▼ DVD/ CD/ MP3/ ビデオCDが停止してから本機を数分間操作しないと、スクリーンセーバーが表示（テレビ画面に[Pioneer]がランダムに表示）されます。再び操作を開始すると、スクリーンセーバーは解除されます。

Q&A

Q1: 電源が入らない！

→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？(12ページ)

Q2: 映像が映らない！

→ ビデオコード(黄)が正しく接続されていますか？(11ページ)

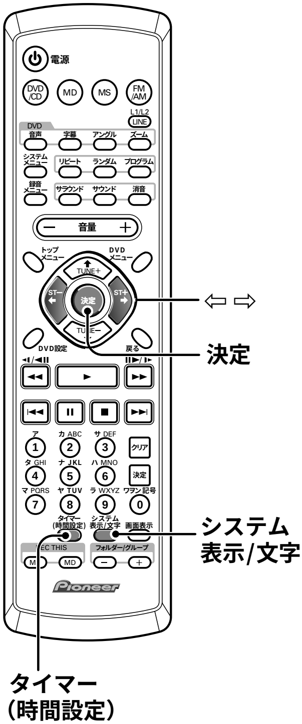
→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

Q3: リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約7mの範囲内で操作してください。

→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体に向けて操作してください。(15ページ)

時計を合わせましょう



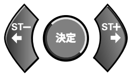
お買い上げ時の時計表示は、12 時間表示です。
時計を合わせていないと、メモリースティックにて再生期限付きの曲の再生や、タイマー動作（126〜131ページ）を行うことはできません。必ずはじめにあわせてください。
また、時計表示を 24 時間表示に切りかえることもできます。（147 ページ）

例）2002 年 4 月 21 日 午後 6 時 40 分に合わせる場合

1. タイマー（時間設定）ボタンを押します

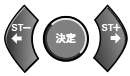


2. ⇦ ⇨ で "CLOCK ADJ." を選んでから、決定ボタンを押します



CLOCK ADJ.

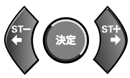
3. ⇦ ⇨ で「年」を合わせてから、決定ボタンを押します



例の場合は、"02" にします。

02/06/01

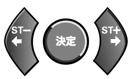
4. ⇦ ⇨ で「月」を合わせてから、決定ボタンを押します



例の場合は、"04" にします。

02/04/01

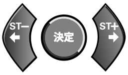
5. ⇦ ⇨ で「日」を合わせてから、決定ボタンを押します



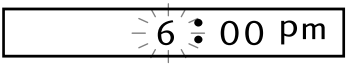
例の場合は、"21" にします。

02/04/21

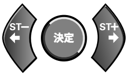
6. ⇦ ⇨ で「時」を合わせてから、決定ボタンを押します



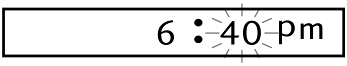
例の場合は、"6 pm" にします。



7. ⇦ ⇨ で「分」を合わせてから、決定ボタンを押します



例の場合は、"40" にします。



「分」が入力され、時計の設定が終了しました。

時計を確認するには

システム表示/文字ボタンを2秒以上押します



時計を 5 秒間表示します。
電源がオフ（スタンバイ状態）の場合でも、表示部が点灯して、5 秒間時計の表示をします。

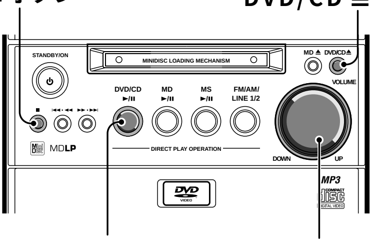
注 意

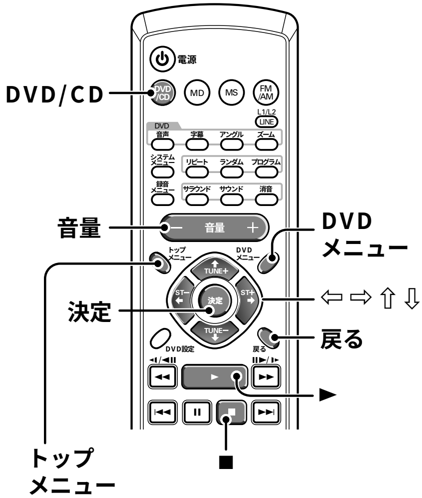
◆ 停電したり電源コードを抜くと時計表示が点滅します。この場合はもう一度時計をあわせ直してください。

DVD を再生しましょう

基本編

ディスクを使う





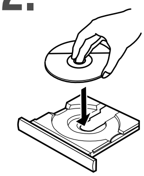
あらかじめ接続したテレビの電源を入れて入力切り換えを行ない、本機の電源を入れます。

1. 本体の DVD/CD ≜ ボタンを押します



ディスクテーブルが出てきます。

2. DVD をセットします



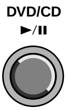
印刷面を上にし、ディスクテーブルのミゾに合わせて、DVD をセットします。

3. 本体の DVD/CD ≜ ボタンを押して、ディスクテーブルを閉めます



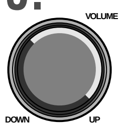
ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始める DVD もあります。

4. DVD/CDボタンを押して、再生を開始します



一度再生した後は、リモコンの ► ボタンでも、操作できます。

5. 音量を調整します



はじめて使用する場合や電源コードを抜いたり停電の後では、音量はMIN(最小)になっています。

停止するには

■ ボタンを押します



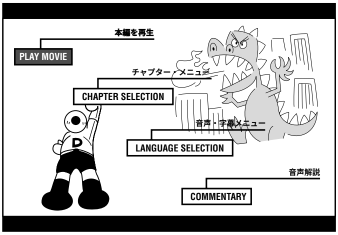
■ ボタンを 1 回押すと表示窓に･･･

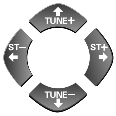
RESUME

と表示され、再生した場所を記憶します(リジューム機能)。次に再生したときは停止した場所から再生します。DVDを取り出すか、停止中に■ボタンをもう一回押すと、リジューム機能は解除されます。

DVDのメニュー画面が表示されたら

再生を始めると最初にメニュー画面を表示するDVDがあります。メニュー画面の内容や操作方法はDVDによって異なりますが、基本的な操作は以下の通りです。

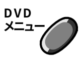




画面上で選択する項目を、上下左右に移動するときに使用します。



選択した項目を、決定するときに押します。



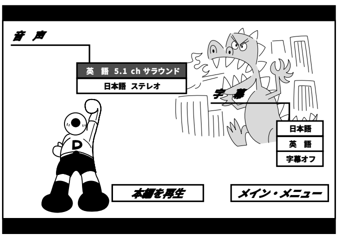
再生中などに、DVDのメニューを表示させるときに押します。



DVDのメニューにて、前の画面に戻るときに押します。



階層のあるDVDのメニューにて、はじめのメイン・メニューに戻るときに押します。



- 映画などのDVDのメニューでは、お好みの音声や字幕などを選択することができます。DVDによっては、本編再生中に本機のリモコンで音声や字幕を切りかえることもできます。（29ページ）

メモ

▼ 画面の上下に帯がつくDVDがあります。本機の故障ではありません。

▼ DVDのメニューによっては、リモコンの数字ボタンにて番号を選んで再生できるものもあります。

注意

◆ 2層(Dual Layer)のDVDの場合、1層から2層目に切りかわるポイントで、一瞬画像が静止することがあります。

◆ ズーム(57ページ)にて映像の拡大中にDVDのメニューを表示させた場合、メニューの項目を選択することはできません。

Q&A

Q1：ディスクテーブルを閉めても出てきてしまったり、再生ができない！

→ DVDがディスクテーブルに正しくセットされていますか？

→ DVDが汚れていませんか？DVDをクリーニングしてください。

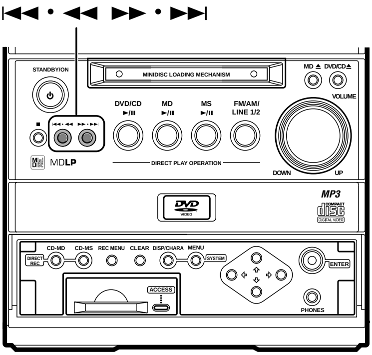
→ DVDの表裏が正しくセットされていますか？

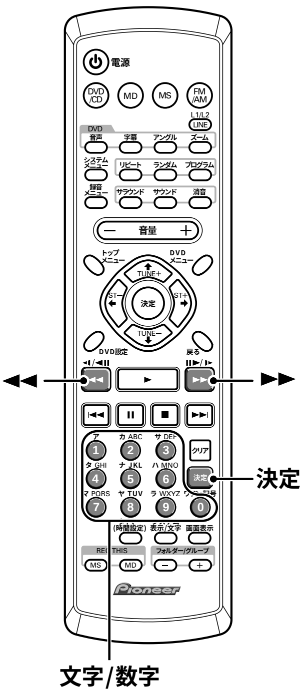
→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は「2」と「ALL」のみです。(154ページ)

Q3：音が出ない！

→ 音量を上げてください。

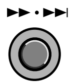
→ DTSで記録されている音声は、出力されません。音声ボタンを押して、その他の記録フォーマットを選んでください。（29ページ）





ちょっと場面を進めたいときは

早送りをします。



本体の►►・►►|ボタンを押し続けます

[スキャン 1 ►►]とテレビ画面に表示され、早送りをします。



リモコンの ►► ボタンを押します

見たい場面まで進めたら ►ボタンを押します。

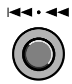
1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ►►]とテレビ画面に表示されます。

2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ►►]とテレビ画面に表示されます。

3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ►►]とテレビ画面に表示されます。

ちょっと場面を見逃したときは

早戻しをします。



本体の|◄◄・◄◄ボタンを押し続けます

[スキャン 1 ◄◄]とテレビ画面に表示され、早戻しをします。



リモコンの ◄◄ ボタンを押します

見たい場面まで戻したら ►ボタンを押します。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ◄◄]とテレビ画面に表示されます。

2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ◄◄]とテレビ画面に表示されます。

3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ◄◄]とテレビ画面に表示されます。

DVDのタイトルやチャプターを指定して再生してみましょう

DVDのメニューを使わないで、ダイレクトに見たいタイトルやチャプターを再生することができます。**（ダイレクトサーチ機能）**

タイトルを指定して再生するには･･･

1. 0～9

停止中に、文字/数字(0～9)ボタンでタイトル番号を入力します

例えば、タイトル5を再生するには、5を押します。

- 番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- タイトルを指定して再生できないディスクもあります。

2. 決定

決定ボタンを押します

チャプターを指定して再生するには･･･

1. 0～9

再生中に、文字/数字(0～9)ボタンでチャプター番号を入力します

例えば、チャプター12を再生するには、1, 2 を押します。

- 番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- 現在再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。

2. 決定

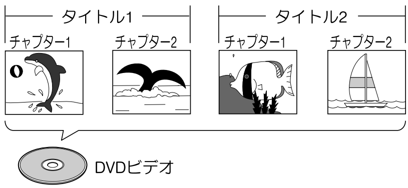
決定ボタンを押します

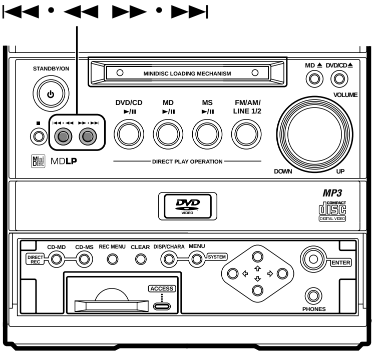
すぐに再生をはじめたいときに押します。

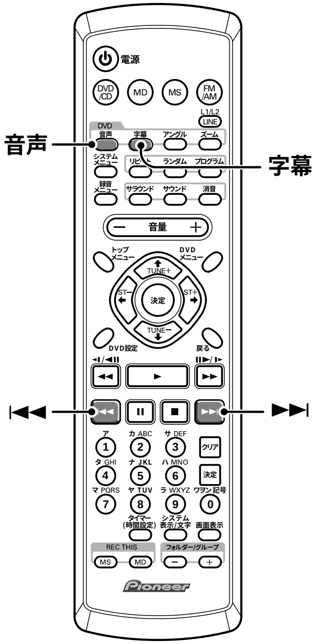
メモ

▼ タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。



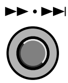




DVD のチャプターのスキップ (頭出し)をしましょう

押した回数だけスキップします。

見たいチャプターに進むには･･･



再生中に、本体の ▶▶・▶▶| ボタンを短く押します

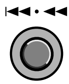
次のチャプターに進みます。



再生中に、リモコンの▶▶|ボタンを押します

次のチャプターに進みます。

見たいチャプターに戻るには･･･



再生中に、本体の |◀◀・◀◀ ボタンを短く押します

再生中のチャプターの先頭に戻ります。2 回押すと 1 つ前のチャプターに戻ります。



再生中に、リモコンの|◀◀ボタンを押します

再生中のチャプターの先頭に戻ります。2 回押すと 1 つ前のチャプターに戻ります。

ちょっと休憩というときは



リモコンの II ボタンを押して、一時停止します

本体で操作する場合は、DVD/CDボタンを押します。通常の再生に戻すときは もう一度同じボタンを押すか、▶ ボタンを押します。

字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしてみましょう（お好みの音声と字幕に切りかえる）

DVDの中には、複数の音声や字幕が収録されているものがあります(ディスクによって収録されている言語数は異なります)。
ここでは英語と日本語が収録されているディスクを例に説明します。
ディスクによってはリモコンで音声や字幕を切りかえられないものがあります。このようなときは、DVDのメニュー画面で切りかえてください。(25ページ)

音声を切りかえるには

ここでは英語で聞こえる音声を日本語にします(もちろん複数の言語が収録されているDVDでは、他の言語を選ぶこともできます)。



DVD再生中に、リモコンの音声ボタンを押す

一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切りかわります。

音声　現在/総数 1/3　英語　Dolby Digital 3/2.1CH
↓
音声　現在/総数 2/3　日本語　Dolby Digital 3/2.1CH
↓
音声　現在/総数 3/3　英語　Dolby Digital 2CH

字幕を切りかえるには

ここでは字幕はオフを選びます(もちろん複数の字幕言語が収録されているDVDでは、他の字幕言語を選ぶこともできます)。



DVD再生中に、リモコンの字幕ボタンを押す

一度押すと現在再生している字幕を表示し、表示中に押すと、以下のように切りかわります。

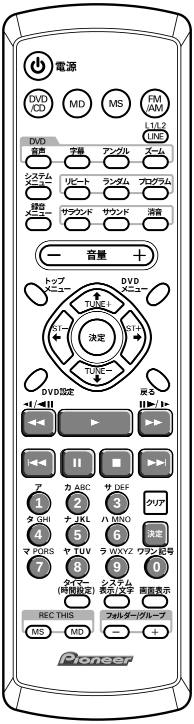
字幕　現在/総数 1/2　日本語
↓
字幕　現在/総数 2/2　英語
↓
字幕　オフ

注 意

- ◆ ここで切りかえた音声、または字幕の設定は、下記のようなとき初期設定(134～136ページ)にて設定した状態に戻ります。
  ⇨ リジューム機能(24ページ)を解除したとき
  ⇨ DVDを取り出したとき
- ◆ 再生中のDVDによっては音声を切りかえたときに一瞬静止画になることがあります。
- ◆ 本機のスピーカーやヘッドホンからは、DTSにて記録された音声を出力することはできません。音声は、DTS以外を選んでください。

CD(CD-R/CD-RW)を再生しましょう

再生する前に 24 ページを参照して、ディスクをセットしてください。



何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	1 曲目から再生します。
停止する	■	CD(CD-R/CD-RW)では、リジューム機能（24 ページ）は働きません。
一時停止する	II	通常の再生に戻すには、一時停止中に►、または **II ボタン**を押します。
頭出しする	I◄◄　►►I	押した回数だけスキップします。
早送りする	II►/I► ►►	スキャン中は TV 画面に **[スキャン1 ►►]**と表示されます。早送りの速さを 2 段階（**スキャン1 →スキャン2** ）に切りかえることができます。早送り中に通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
早戻しする	◄I/◄II ◄◄	スキャン中は TV 画面に **[スキャン1 ◄◄]**と表示されます。早戻しの速さを 2 段階（**スキャン1 →スキャン2** ）に切りかえることができます。早戻し中に通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0 〜 9	聞きたいトラックの番号を**文字 / 数字ボタン**で選択します。約 2 秒経過すると再生を開始します。すぐに再生したいときは**決定ボタン**を押します。トラック 12 を選択する場合は、**文字 / 数字ボタン**の **1,2** を押します。

Q&A

Q1: CD-R/RW が再生できない。

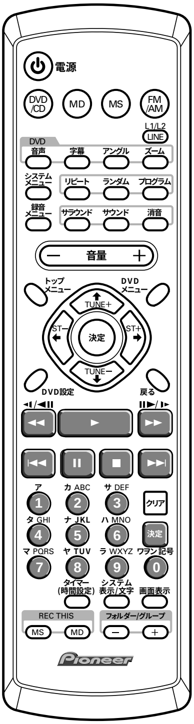
→　パソコンで記録された CD-R/RW は再生できないことがあります。

Q2: CD-G が再生できない。

→　CD-G のグラフィック映像は再生できません。

MP3 ファイルを再生しましょう

再生する前に 24 ページを参照して、ディスクをセットしてください。



何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	ディスク情報を読み込み中に、TV画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。
停止する	■	MP3 では、リジューム機能（24 ページ）は働きません。
一時停止する	II	通常の再生に戻すには、一時停止中に►、または**IIボタン**を押します。
頭出しする	I◄◄　►►I	押した回数だけスキップします。
早送りする	II►/I► ►►	早送り中は TV 画面に**[スキャン 1 ►►]**と表示されます。ただし、速さは 1 段階固定となります。 通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
早戻しする	◄I/◄II ◄◄	早戻し中は TV 画面に**[スキャン 1 ◄◄]**と表示されます。 通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0 〜 9	聞きたいトラックの番号を**文字 / 数字ボタン**で選択します。約 2 秒経過すると再生を開始します。すぐに再生したいときは**決定ボタン**を押します。

Q&A

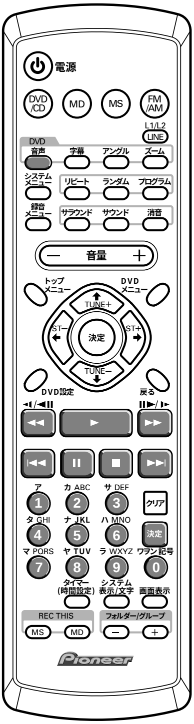
Q ：MP3 ファイルを記録したディスクが再生できない。

→ 画面に**[このフォーマットは再生できません]**と表示されていませんか。この場合、以下のような原因が考えられます。

- 記録したディスクがISO9960 フォーマットに準拠していない。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または 48kHz の固定ビットレートで記録されていない。(156 ページ)

ビデオ CD を再生しましょう

再生する前に 24 ページを参照して、ディスクをセットしてください。



何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	ビデオCDでは、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については次ページをご覧ください。
停止する	■	本体の表示窓に[**RESUME**]と表示され、停止したトラックの始めを記憶します。記憶した内容は、ファンクションを切りかえたり電源をオフにすると解除されます。
一時停止する	❚❚	通常の再生に戻すには、一時停止中に ►、または ❚❚ **ボタン**を押します。
頭出しする	❙◄◄ ►►❙	押した回数だけスキップします。
早送りする	❚❚►/❙► ►►	スキャン中は TV 画面に[**スキャン 1 ►►**]と表示されます。早送りの速さを 2 段階(**スキャン 1 →スキャン 2**)に切りかえられます。通常の再生に戻すには、**►ボタン**を押します。
早戻しする	◄❙/◄❚❚ ◄◄	スキャン中は TV 画面に[**スキャン 1 ◄◄**]と表示されます。早戻しの速さを 2 段階(**スキャン 1 →スキャン 2**)に切りかえられます。通常の再生に戻すには、**►ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0 〜 9	見たいトラックの番号を**文字 / 数字ボタン**で選択します。約2秒経過すると再生を開始します。すぐに再生したいときは**決定ボタン**を押します。

Q&A

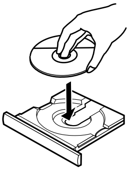
Q: ビデオ CD が再生できない。

→　パソコンで記録されたビデオ CD は再生できないことがあります。

メニュー画面から再生しましょう（PBC 再生）

ビデオ CD では、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1. **PBC 再生対応のビデオ CD ディスクをセットしてから、DVD/CD ボタンを押して再生します**



メニュー画面が表示されます。

ビデオCDカラオケ

1	Stand up!	Rock
2	Hello!	Pops
3	Over the Mountain	R&B
4	Help Me!	Jazz
5	It's fine today	Pops

2. **文字 / 数字ボタンで再生したいトラックを選んでから、決定ボタンを押します**

0～9　決定

再生を開始します。再生中に戻るボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページをめくる、または戻すには

メニュー画面を表示中に、⏮ または ⏭ ボタンを押します

メニュー画面を出さずに再生するには（PBC 再生を解除して再生する）

停止中に下記のいずれかのボタンを使って、再生するトラックを選択します。

1. **⏮、または ⏭ ボタンで、再生するトラックを選びます**

1. **文字 / 数字ボタンで再生したいトラックを選んでから、決定ボタンを押します**

0～9　決定

トラックを選択してから、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
例えば、トラックの 12 曲目を再生するには、1, 2 を押してから、決定ボタンを押します。

音声を切りかえるときは

音声ボタンを押します

一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切りかわります。

ステレオ → 左チャンネル → 右チャンネル →（ステレオ）

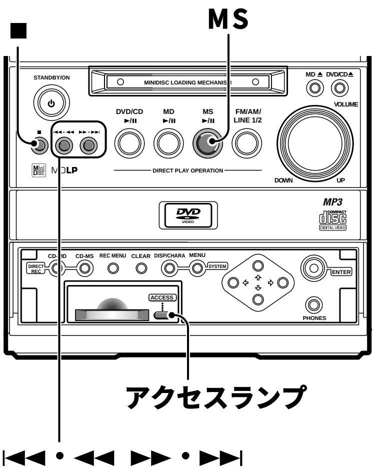
ステレオの表示例

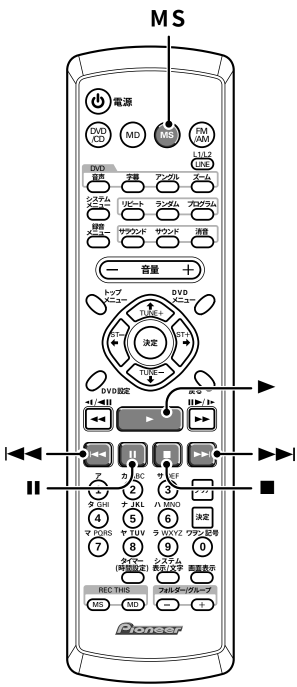
音声　ステレオ

メ モ

▼ カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

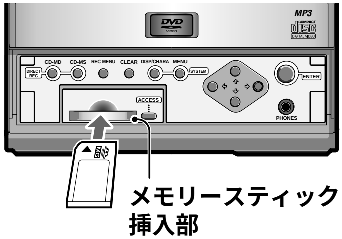
メモリースティックを再生しましょう



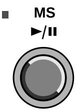


1. メモリースティック挿入部に、メモリースティックを挿入します

メモリースティックは下図の向きに、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



2. MS ボタンを押します



再生を開始します。
メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」されている場合は、挿入すると自動的に再生を開始します。

再生を一時停止するには



リモコンの II ボタンを押します。
本体で操作する場合は、MSボタンを押します。通常の再生に戻すときはもう一度同じボタンを押すか、► ボタンを押します。

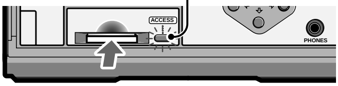
再生をやめるには



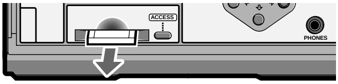
■ ボタンを押します。

メモリースティックを取り出すには

① アクセスランプが消えていることを確認



② メモリースティック本体をカチッと音がするまで押し込んでから手を離す

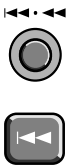


③ メモリースティックが飛び出てから取り出す

本機とメモリースティックがデータ交換をしているあいだ、ACCESSランプが点灯または点滅します。データが破損する可能性がありますので、この間メモリースティックを抜かないでください。

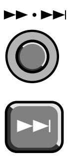
曲をスキップしましょう

前の曲に戻るには



本体の|◀◀・◀◀ボタンを短く押します。リモコンでは、|◀◀ボタンを押します。
再生中に1回だけ押すと、再生している曲の頭に戻ります。

次の曲に移るには



本体の▶▶・▶▶|ボタンを短く押します。リモコンでは、▶▶|ボタンを押します。

メ モ

▼ メモリースティックについては、160～161ページを参照してください。

注 意

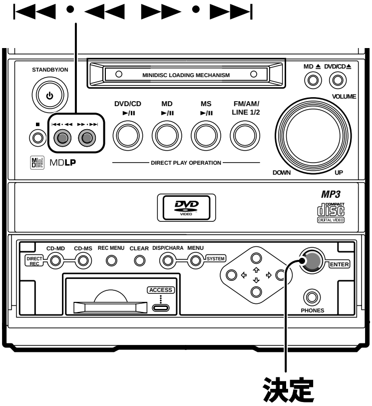
◆ 本機で再生できるのは、ATRAC3のデータフォーマットで、以下のビットレートで記録されている曲だけです。

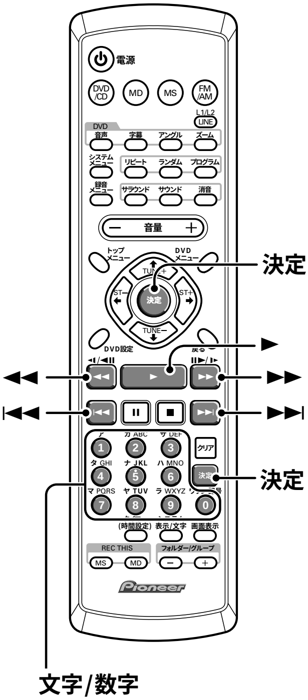
132Kbps、105Kbps、66Kbps

Q&A

Q：メモリースティックが再生できない！

→ 期限制限付きの曲を再生しようとして、本機の時計が設定されていない。時計を合わせてください。
→ 期限制限付きの曲を再生しようとして、再生期限が切れている。
→ 再生回数制限のある曲は、制限回数に達していると再生できません。
→ メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」されていると、再生制限のある曲は再生できません。
→ 本機で再生ができる曲のフォーマットは、ATRAC3データだけです。MP3やWMAなど他のフォーマットで記録されている曲を再生することはできません。

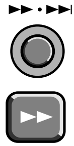




早送り・早戻しをしましょう

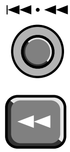
再生を聞きながら、曲の早送り・早戻しをすることができます。曲中の聞きたいところを探すのに便利な機能です。

早送りするには



再生中に 本体の▶▶・▶▶|ボタンを押し続けます。リモコンでは、再生中に▶▶ ボタンを押し続けます。

早戻しするには



再生中に 本体の|◀◀・◀◀ボタンを押し続けます。リモコンでは、再生中に◀◀ ボタンを押し続けます。

聞きたい曲を選びましょう

1. 聞きたい曲の曲番号を、文字/数字ボタンで選びます

（例）25 曲目を選曲する　：　2　5

108 曲目を選曲する ：　1　0　8

番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

2. 決定ボタンを押します



すぐに再生をはじめたいときに押します。

注 意

◆ 次の場合は文字/数字ボタンで曲を選ぶ操作はできませんので、|◀◀ ▶▶| ボタンを押して曲を選んでください。
- ・プログラム再生中（71 ページ）
- ・ランダム再生中（70 ページ）

再生回数制限付きの曲を聞いてみましょう

メモリースティックに記録される曲の中には、配信先の意図などにより、試聴できる回数が設定されている曲があります。その場合、スキップ機能の設定により再生時の操作方法が異なります。
以下の操作は、スキップ機能（72ページ）で"SKIP CHECK"が設定されているときの操作です（お買い上げ時の設定）。
スキップ機能では、再生回数制限付きの曲は再生しないように設定したり、そのまま再生を続けるように設定することもできます。

1. 再生回数制限付きの曲を再生すると、以下のメッセージが出てから、曲の先頭で停止します

「MS RESTRICTED」のメッセージの後、表示が交互に切りかわります。

```
REM    3  TIMES
      ⬍
MS  PLAY  OK?
```

2. その曲を再生するときは、►ボタンか決定ボタンを押します



ただし再生する曲が、再生可能な残り回数がなくて再生できない場合は、"EXPIRED"と2秒間表示してから自動的に次の曲を再生します。
再生できる曲がない場合は、停止します。

その曲を再生しないときは、|◄◄ ►►| ボタンで別の曲を選びます



自動的に別の曲を再生します。
再生しない場合は、■ ボタンを押すと、再生を停止します。

注 意

◆ 次の場合は、再生可能な再生回数制限付きの曲でも、強制的に停止します。
・プログラム再生中（71 ページ）
・ランダム再生中（70 ページ）
・リピート再生中（70 ページ）

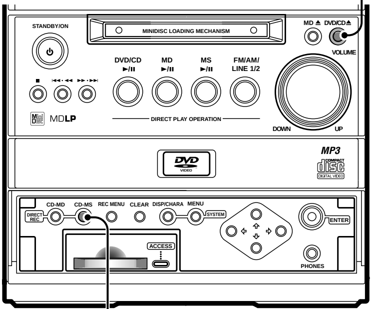
Q&A

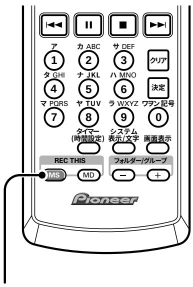
Q ：再生回数制限のある曲が再生できない！

→ メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」されていると、再生回数制限のある曲は再生できません。

→ 再生回数制限のある曲を再生しようとして、72 ページにてスキップオンの設定をしている。

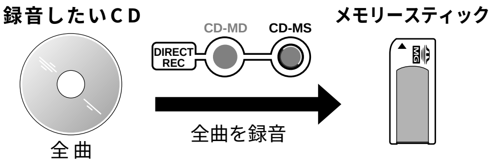
CDをメモリースティックに録音しましょう(ダイレクト録音)





CDをまるごとメモリースティックに録音しましょう

ボタンをひとつ押すだけで、自動的にセットされているCDの全曲をメモリースティックに録音します。
また、CDでプログラムが登録されていると、プログラムした曲だけを録音します。（56ページ）



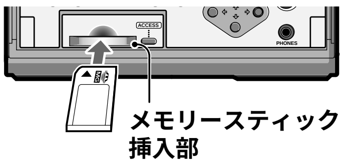
1. 録音もとのCDをセットします



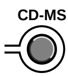
DVD/CD ▲ボタンを押して、ディスクトレイを開けてから、ディスクをセットします。

2. メモリースティック挿入部に、メモリースティックを挿入します

メモリースティックは下図の向きに、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



3. CD-MSダイレクト録音ボタンを押します



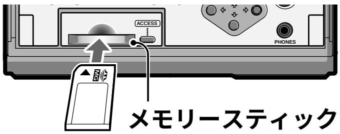
録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。録音を中止する場合は、■ボタンを押します。

CDの1曲をメモリースティックに録音しましょう（いま聞いている曲を録音する）

再生中の曲を簡単に録音できます。
リモコンで操作します。

1. メモリースティック挿入部に、メモリースティックを挿入します

メモリースティックは下図の向きに、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



2. 録音したいCDの曲の再生中に、MS REC THISボタンを押します



曲のはじめから録音を開始し、録音が終了するとメモリースティックは停止します。CDは、そのまま再生を続けます。
途中で録音を停止する場合は、■ボタンを押します。

メモ

▼ MP3ディスクでも同様に操作することができます。ただしその場合は、アナログ録音となります。
▼ お買い上げ時の録音ビットレートは、132kbpsに設定されています。より長く録音したい場合は、73ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。

注 意

◆ DVDやビデオCDはダイレクト録音ができません。マニュアル操作によるアナログ録音（80、90ページ）となります。

Q&A

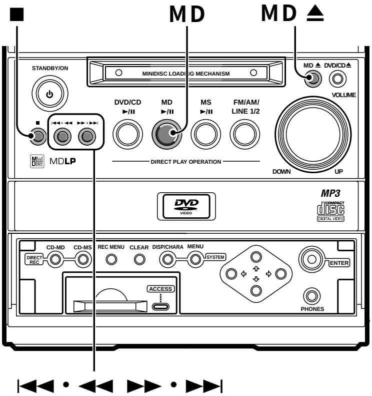
Q1："Can't REC"と表示が出て録音できない！

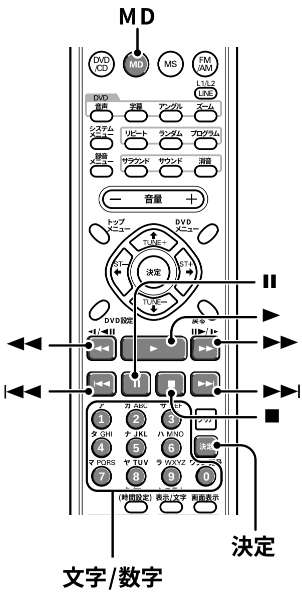
→ デジタル録音されたCD-R/CD-RWを、デジタルでメモリースティックに録音することはできません。165ページを参照して、アナログ録音に切りかえてください。

Q2：MP3のいま聞いている曲を録音できない！

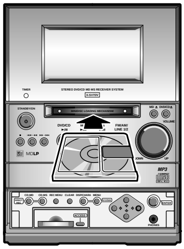
→ 再生時間以外の表示中は、REC THISボタンで録音をすることはできません。69ページを参照して、再生時間表示にしてください。

MDを再生しましょう



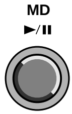


1. MDをセットします



ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。
再生専用MDや誤消去防止つまみが開いているMDを挿入すると、自動的に再生を開始します。

2. MDボタンを押します



再生を開始します。

再生を一時停止するには



リモコンの II ボタンを押します。
本体で操作する場合は、MDボタンを押します。通常の再生に戻すときはもう一度同じボタンを押すか、► ボタンを押します。

再生をやめるには



■ ボタンを押します。

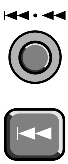
MDを取り出すには



MD取り出し(▲)ボタンを押します。

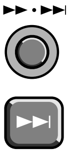
曲をスキップしましょう

前の曲に戻るには



本体の⏮◀◀・◀◀ボタンを短く押します。リモコンでは、⏮◀◀ボタンを押します。
再生中に1回だけ押すと、再生している曲の頭に戻ります。

次の曲に移るには

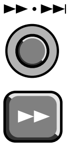


本体の ▶▶・▶▶|ボタンを短く押します。リモコンでは、▶▶|ボタンを押します。

早送り・早戻しをしましょう

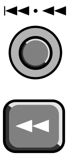
再生を聞きながら、曲の早送り・早戻しをすることができます。曲中の聞きたいところを探すのに便利な機能です。

早送りするには



再生中に 本体の▶▶・▶▶|ボタンを押し続けます。リモコンでは、再生中に ▶▶ ボタンを押し続けます。

早戻しするには



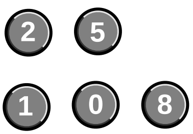
再生中に 本体の|◀◀・◀◀ボタンを押し続けます。リモコンでは、再生中に ◀◀ ボタンを押し続けます。

聞きたい曲を選びましょう

1. 聞きたい曲の曲番号を、文字 / 数字ボタンで選びます

（例）25 曲目を選曲する　：

108 曲目を選曲する：



番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

2. 決定ボタンを押します



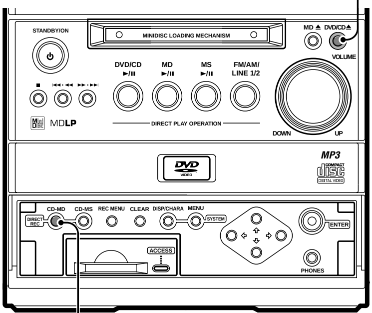
すぐに再生をはじめたいときに押します。

注 意

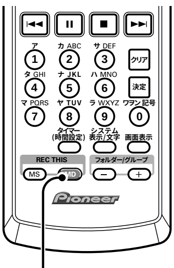
◆ 次の場合は、文字 / 数字ボタンで曲を選ぶ操作はできませんので、|◀◀ ▶▶| ボタンを押して曲を選んでください。
- ・プログラム再生中（75 ページ）
- ・ランダム再生中（74 ページ）

CDをMDに録音しましょう(ダイレクト録音)

DVD/CD ▲



CD-MDダイレクト録音

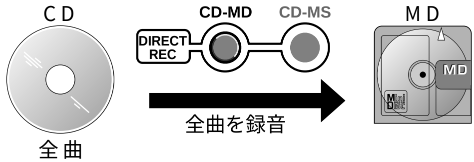


MD REC THIS

CDをまるごとMDに録音しましょう

ボタンをひとつ押すだけで、自動的にセットされているCDの全曲をMDに録音します。
また、CDでプログラムが登録されていると、プログラムした曲だけを録音します。(56ページ)

録音したいCD **録音用MD**

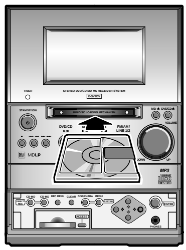


1. 録音もとのCDをセットします



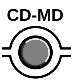
DVD/CD ▲ボタンを押して、ディスクトレイを開けてから、ディスクをセットします。

2. 録音用MDをセットします



ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

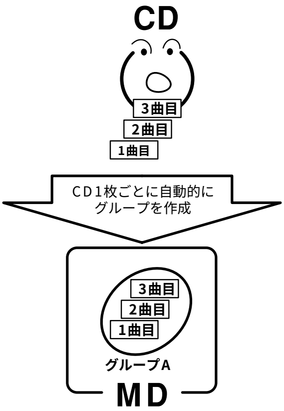
3. CD-MDダイレクト録音ボタンを押します



録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。録音を中止する場合は、■ボタンを押します。

メモ

▼ お買い上げ時は通常のステレオ録音が設定されています。LP4またはLP2モード（44ページ）に設定すると、より長時間録音ができます。
▼ MP3ディスクでも同様に操作することができます。ただしその場合は、アナログ録音となります。
▼ セットしたディスクをまるごと録音すると、CDの一枚ごとに自動でグループ登録（115ページ）されます。





注 意

◆ DVDやビデオCDはダイレクト録音ができません。マニュアル操作によるアナログ録音（85、90ページ）となります。

Q&A

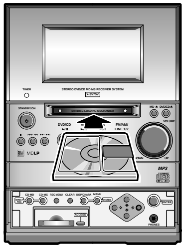
Q： "Can't REC"と表示が出て録音できない！

→ デジタル録音されたCD-R/CD-RWを、デジタルでMDに録音することはできません。165ページを参照して、アナログ録音に切りかえてください。

CDの1曲をMDに録音しましょう（いま聞いている曲を録音する）

再生中の曲を簡単に録音できます。

1. 録音用MDをセットします



ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. 録音したいCDの曲の再生中に、MD REC THISボタンを押します



曲のはじめから録音を開始し、録音が終了するとMDは停止します。CDは、そのまま再生を続けます。
途中で録音を停止する場合は、■ボタンを押します。

メモ

▼ MP3ディスクでも同様に操作することができます。ただしその場合は、アナログ録音となります。

注 意

◆ CDの1曲だけを録音した場合、グループ登録は行いません。

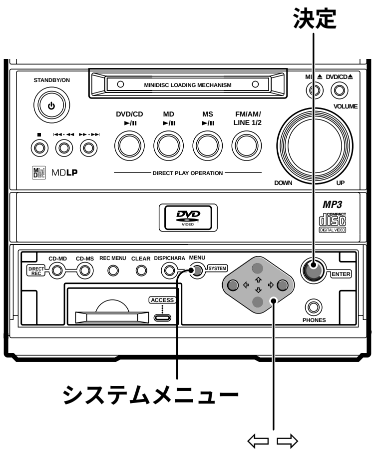
Q&A

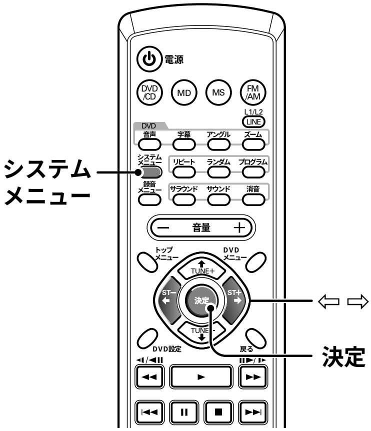
Q： MP3のいま聞いている曲を録音できない！

→ 再生時間以外の表示中は、REC THISボタンで録音をすることはできません。69ページを参照して、再生時間表示にしてください。

基本編

MDを使う





長時間録音（MDLP）の設定をしてみましょう

MDに録音する設定を、通常のステレオ録音の約2倍（LP2モード）または4倍（LP4モード）にすると、長時間ステレオ録音ができます（MDLP録音)。数枚のCDを一枚のMDに録音するときに便利です。
例えば、80分のMDではLP2モードで160分、LP4モードで320分の長時間録音ができます。
ただし、LP2またはLP4モードで録音された曲は、MDLP機能が搭載されていない機器では再生できません。
各録音モードの違いは以下の表のとおりです。

録音モード	ステレオ/モノラル	録音時間	音質
STEREO	ステレオ(通常のステレオ録音)	1倍	◎
MONO LP	モノラル	2倍	◎
LP2	ステレオ(MDLP)	2倍	○
LP4	ステレオ(MDLP)	4倍	△

◎ .... 最良の音質です
○ .... ◎ の音質より劣ります
△ .... ○ の音質より劣ります

メ モ

▼ お買い上げ時の録音モードは、STEREO(通常のステレオ録音)に設定されています。

1. 録音設定したい録音もとの入力を選びます

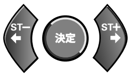
CDからの録音の場合は、DVD/CDボタンを押してから■ボタンを押します。
外部機器からの録音の場合は、LINE 1/2ボタン（本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2ボタン）を押して、LINE2を選択します。
メモリースティックからの録音の場合は、MSボタンを押してから■ボタンを押します。

2.



システムメニューボタンを押します

3.

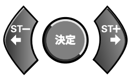


⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します

MD MENU

中止する場合は、■ ボタンを押します。

4.

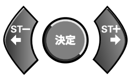


⇦ ⇨ で"REC MODE"を選んでから、決定ボタンを押します

REC MODE

中止する場合は、■ ボタンを押します。

5.



⇦ ⇨ で録音のモードを選んでから、決定ボタンを押します

以下のように切りかわります。

STEREO
(通常のステレオ録音)
↓
LP2(ステレオ/MDLP)
↓
LP4(ステレオ/MDLP)
↓
MONO LP(モノラル)
(→ STEREOに戻る)

LP2モードを選んだときの表示

LP2

LP2モードに設定した場合は、**LP2**と点灯します。
LP4モードに設定した場合は、**LP4**と点灯します。
モノラル録音に設定した場合は、**MONO LP**と点灯します。

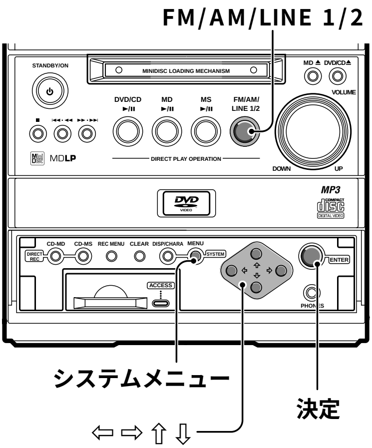
メモ

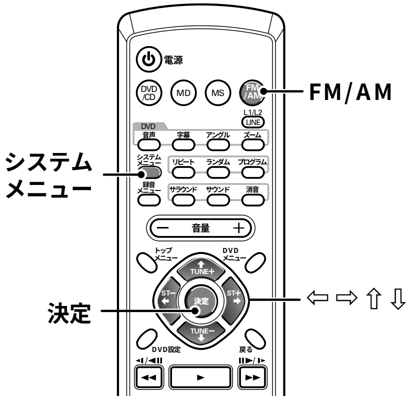
▼ 長時間録音の設定は、一度設定すると次に切り換えるまで変更されません。

注意

◆ 本機でLP2、LP4モードで録音した曲は、MDLP対応機器以外では再生できません。
◆ LP4モードでの録音は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。
音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2モードでの録音をおすすめします。

FM/AM 放送を聞きましょう





アンテナが接続されていないと、FM/AM 放送を聞くことはできません。10～13ページを参照して、アンテナを接続してください。

1. FM/AM ボタンを押します

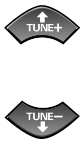


ラジオが聞ける状態になり、押すごとに、FM と AM が切りかわります。
本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2ボタンを押します。押すごとに、FM → AM → LINE 1 → LINE 2 の順に切りかわります。

FM 76.00 MHz

FM 放送を聞くときは FM を、AM 放送を聞くときは AM を選択してください。

2. ⇧ ⇩ を押して、聞きたい放送局に周波数を合わせます



周波数の合わせ方（チューニング）のしかたには、以下の 3 種類があります。

オートチューニング

⇧ ⇩ を押して、周波数が動きはじめたら指を離します。
周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると自動的に止まります。
途中で止めるときは、もう一度 ⇧ ⇩ を押すか、■ボタンを押します。

マニュアルチューニング

⇧ ⇩ を 1 回ずつ押します。
周波数が1ステップずつ変化します。

ハイスピードマニュアルチューニング

⇧ ⇩ を押し続けます。
ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

FM 放送に雑音が多いときは

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FM のステレオ放送に雑音が多いときは、強制的にモノラルにして放送を聞きやすくします。
お買い上げ時は、放送局側に合わせて自動的にステレオとモノラルを切りかえる"**AUTO**"に設定されています。

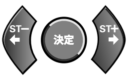
1.


FM/AM ボタンを押して、FM 放送にします

本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2 ボタンを押して、FM 放送にします。

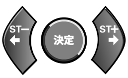
2.


システムメニューボタンを押します

3.


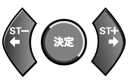
⇦ ⇨ で "TUNER MENU" を選んでから、決定ボタンを押します

TUNER MENU

4.


⇦ ⇨ で "FM MODE" を選んでから、決定ボタンを押します

FM MODE

5.


⇦ ⇨ で "MONO" を選んでから、決定ボタンを押します

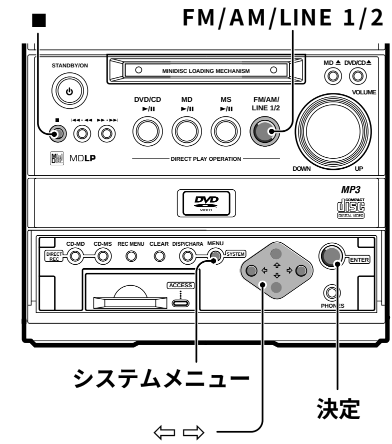
表示部に、"MONO" と点灯します。
"**AUTO**" に設定する場合は、
"**AUTO**" にします。

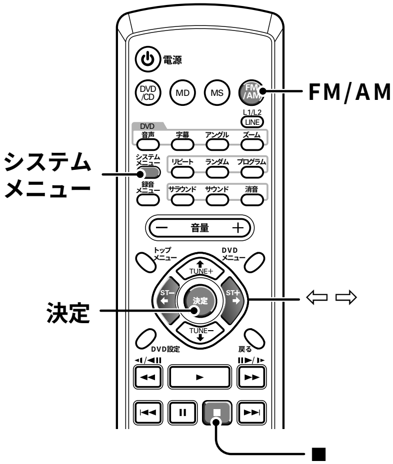
メ モ

▼ 放送局を受信すると、表示部に TUNED が点灯します。FM ステレオ放送のときは STEREO も一緒に点灯します。
▼ 本機はテレビ放送の 1～3 チャンネルの音声を受信できます。
各チャンネルの周波数は次のとおりです。
1ch： 95.75MHz
2ch： 101.75MHz
3ch： 107.75MHz
音声はモノラルになります。2ヶ国語放送は主音声のみとなります。
▼ 1ステップの周波数は切り換えることができます。詳しくは 147 ページを参照してください。

注 意

◆ FM 放送の 90MHz～108MHz はテレビ信号が影響して、正しくオートチューニングできないことがあります。この場合はマニュアルチューニングで周波数を合わせてください。
◆ 本機の FM 放送受信回路とテレビ音声受信回路とは兼用回路のため、地域によってはテレビの音声受信時に FM 放送が混信することがあります。
◆ ステレオ受信の場合でも、モノラル放送の場合や電波の弱い場合は、STEREO は点灯しません。





放送局を自動的に記憶させましょう

受信できるFMとAMの放送局を自動的に受信しながら、30局までステーション（記憶番号）に記憶させていきます。
FM局を記憶してからAM局の記憶をはじめます。

1. FM/AMボタンを押します

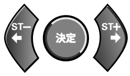


ラジオが聞ける状態にします。
本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2ボタンを押して、ラジオが聞ける状態にします。

2. システムメニューボタンを押します

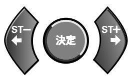


3. ⇦ ⇨ で"TUNER MENU"を選んでから、決定ボタンを押します



TUNER MENU

4. ⇦ ⇨ で"AUTO PRESET"を選んでから、決定ボタンを押します



AUTO PRESET

FM/AM放送の受信を開始します。
はじめにFM局を受信してステーション1から順に記憶し、その後AM局を受信して記憶を開始します。

5. 放送局を受信すると、記憶させるかどうかの確認表示になります

ST– 1 SET ?

6. 決定

記憶させる場合は、決定ボタンを押します

記憶させない場合はクリアボタンを押します。ボタンを押すと、次の放送局の受信を開始します。

■

途中で終了する場合は、■ボタンを押します

30局まで記憶した場合や周波数が一巡した場合は、自動的に終了します。

放送局を手動で記憶させましょう

FM/AM 放送あわせて 30 局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。

例）FM82.5MHzをステーション 3 へ記憶させます

1.

記憶したい放送局を受信します

46 ページを参照して受信します。

例の場合は、FM 82.5MHzを受信します。

FM 82.50 MHz

2. システムメニュー

システムメニューボタンを押します

3. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で "TUNER MENU" を選んでから、決定ボタンを押します

TUNER MENU

4. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で "ST.MEMORY" を選んでから、決定ボタンを押します

ST． MEMORY

5. ST− ST+

⇦ ⇨ で記憶するステーションを選びます

記憶するためのステーションは1～30 まであります。

ST– 3 ⇦⇨

6. 決定

決定ボタンを押して記憶させます

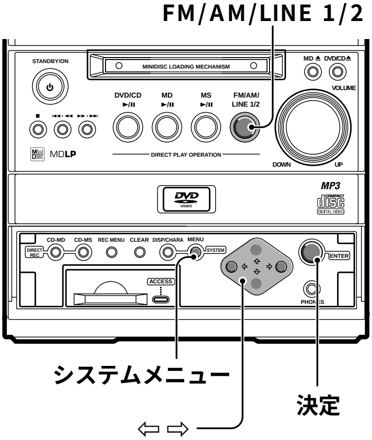
FM 82.5MHz がステーション 3 に記憶されました。

メ モ

▼ 放送局をステーション（記憶番号）に記憶すると、"AUTO" と "MONO" の設定まで記憶されます。

注 意

◆ すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。
◆ 停電や電源プラグを抜いた状態が長時間続くと、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。
◆ ステーションに自動で放送局を記憶させる場合、FM の受信範囲は 76MHz から 90MHz の範囲内だけです。



記憶させた放送局を呼び出しましょう

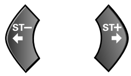
各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。48～49 ページを参照してください。

1. FM/AM ボタンを押します

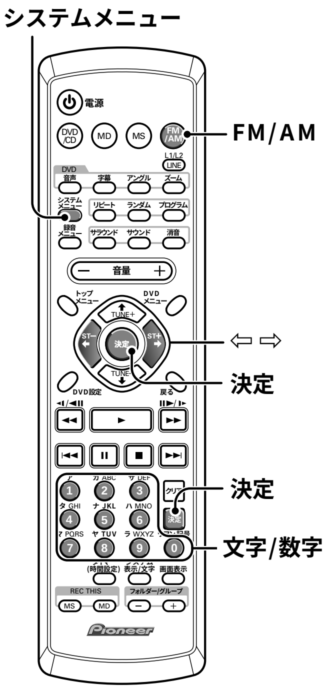


ラジオが聞ける状態にします。
本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2ボタンを押して、ラジオが聞ける状態にします。

2. ⇦ ⇨ を押して、記憶したステーションを選びます




```
ST –   3
FM      82.50   MHz
```



リモコンの文字 / 数字ボタンで選ぶことができます

ダイレクトにステーションを選ぶことができます。

1. ステーション番号と同じ文字 / 数字ボタンを押します

（例）ステーション 25 ： 2 5

ステーション 18 ： 1 8

番号入力後2秒以上経過すると、自動的に選ぶことができます。

2. 決定ボタンを押します



すぐに選びたいときに押します。

記憶させた放送局に名前をつけましょう

記憶させた放送局（ステーション）に、13 文字以内で名前をつけることができます。
文字の入力方法については、96 〜 97 ページを参照してください。

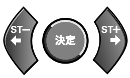
1. **名前をつけたいステーションを選びます**

46 ページを参照して操作します。

2. **システムメニューボタンを押します**

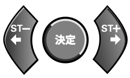


3. **⇦ ⇨ で "TUNER MENU" を選んでから、決定ボタンを押します**



TUNER　MENU

4. **⇦ ⇨ で "ST. NAME" を選んでから、決定ボタンを押します**



ST．NAME

5. **文字を入力して、ステーションに名前をつけます**

文字の入力は、96〜97 ページを参照します。

6. **システムメニューボタンを押して終了します**



メ モ

▼ 記憶した放送局に名前がついている場合は、名前が表示されます。受信周波数を確認したいときは、システム表示 / 文字ボタンを押すと、選ばれているステーションの周波数を約 2 秒間表示します。

DVDやビデオCDのスロー再生をする

1. **再生中に、IIボタンを押して、一時停止します**

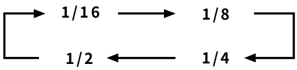
2. **II▶/I▶ ボタンを押し続けます**

[**スロー 1/16 I▶**]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

スロー再生の速さを変えるには･･･

スロー再生中に II▶/I▶ ボタンを押します

押すたびに下記のように速さが変わります。



通常の再生に戻すには･･･

リモコンの▶ボタンを押します

本体で操作する場合は、DVD/CDボタンを押します。

DVDにて、逆方向にスロー再生するには･･･

DVDディスクではさらに、逆方向にスロー再生をすることができます

DVDの一時停止中に、◀I/◀II ボタンを押し続けます

DVDにて、逆方向のスロー再生の速さを変えるには･･･

スロー再生中に、◀I/◀II ボタンを押します

押すごとに、[**スロー1**] ⟷ [**スロー 2**]が切りかわります。

注 意

- ◆ スロー再生中は音声が出力されません。
- ◆ スロー再生できないディスクもあります。
- ◆ ビデオCDでは、逆方向のスロー再生はできません。

DVDやビデオCDのコマ送り再生をする

1. 

再生中に、リモコンのⅡボタンを押して、一時停止します

2. 

II►/I► ボタンを押します

押すごとに、コマ送りします。

通常の再生に戻すには･･･



リモコンの►ボタンを押します

本体で操作する場合は、DVD/CDボタンを押します。

DVDにて、逆方向にコマ送り再生するには･･･

DVDディスクではさらに、逆方向にコマ送り再生をすることができます



DVDの一時停止中に、◄I/◄II ボタンを押します

押すごとに、逆方向へコマ送りをします。

注 意

- ◆ コマ送り再生中は、音声が出力されません。
- ◆ コマ送り再生できないディスクもあります。
- ◆ 逆方向のコマ送り再生中、映像が揺れることがあります。
- ◆ 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- ◆ ビデオCDでは、逆方向のコマ送り再生はできません。

MP3のフォルダーのスキップ(頭出し)をする

押した回数だけスキップします。

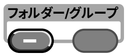
次のフォルダーに進むには･･･



再生中に、フォルダーサーチボタンの＋を押します

1回押すと、次のフォルダーに進みます。

前のフォルダーに戻るには･･･



再生中に、フォルダーサーチボタンの－を押します

1回押すと再生中のフォルダーの始めに戻ります。
続けてフォルダーサーチボタンの－を押すと、前のフォルダーの始めに戻ります。

DVD /ビデオ CD /CD/ MP3 を繰り返し再生する（リピート再生）

DVD のタイトル / チャプター(場面)、ビデオCD/CD のトラック(曲)、MP3 のフォルダー / トラック(曲)を繰り返し再生します。



リピートボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

DVD

→ チャプターリピート
↓
タイトルリピート
↓
リピートオフ（解除）

ビデオCD/ CD

→ トラックリピート（再生中の1曲）
↓
ディスクリピート（ディスクの全曲）
↓
リピートオフ（解除）

MP3

→ トラックリピート
↓
フォルダーリピート
↓
ディスクリピート（ディスクの全曲）
↓
リピートオフ（解除）

リピート再生を止めるには



■ボタンを押します

メ モ

▼ プログラム再生中(56,62 ページ)にリピートボタンを押すと、プログラム再生を繰り返します。

注 意

◆ DVD ではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。
◆ ビデオ CD の PBC 再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を数字ボタンで入力し、それからリピートボタンを押します。
◆ リピート再生中にアングルを切りかえる(57 ページ)と、リピート再生は解除されます。

DVD /ビデオ CD /CD/ MP3 を順不同に再生する（ランダム再生）

DVD を順不同に再生するには

DVD のタイトルやチャプターを順不同に再生します。

1.



チャプターをランダム再生する場合は、再生中にランダムボタンを 1 回押します

タイトルをランダム再生する場合は、再生中にランダムボタンを 2 回押します

2.



決定ボタンを押します

再生しているタイトル内のチャプターかタイトルを順不同に再生します。

ビデオ CD、CD、MP3 を順不同に再生するには

ビデオ CD や CD のディスク内のトラック（曲）を順不同に再生します。MP3 の場合は、フォルダー内のトラック（曲）を順不同に再生します。



ランダムボタンを押します

- MP3 では、現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生します。
- ビデオCD CD(-R/-RW) では、トラックを順不同に再生します。

ランダム再生を止めるには



■ ボタンを押します

メ モ

▼ ランダム再生中に ►►I ボタンを押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
▼ ランダム再生中に I◄◄ ボタンを押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。

注 意

◆ ビデオ CD の PBC 再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクの停止中に、トラック番号を数字ボタンで入力し、それからランダムボタンを押します。
◆ DVD の場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
◆ ランダム再生を繰り返してリピートすることはできません。

CDやMP3の聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム再生）

CDやMP3の聞きたい曲を最大24曲まで、好きな順番に登録することができます。

1. **停止中に、プログラムボタンを押します**

PGM00

CDでは、プログラム総再生時間を表示します。

2. **MP3は、聞きたい曲のフォルダー番号の文字 / 数字ボタンを押してから、⇨を押します**

フォルダー7を選んだときは、文字 / 数字ボタンの 7 を押してから、⇨を押します。

PGM01　7: – – –

3. **聞きたい曲の番号の文字 / 数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します**

15曲目を選んだときは、文字 / 数字ボタンの 1 と 5 を押してから、決定ボタンを押します。

MP3のフォルダー7の15曲目を入力した例

PGM01　7: 15

CDの15曲目を入力した例

PGM01　15

4. **手順 2 と 3 を繰り返して、聞きたい曲のフォルダーや曲番号を登録します**

CDのときは、手順3だけを繰り返します。

5. **► ボタンを押します**

プログラムした順に再生を開始します。

登録を間違えたとき

手順 3 のあとにクリアボタンを押します

押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます。

- 停止中にクリアボタンを押したとき
- DVD/CD ⏏ボタンを押して、ディスクを取り出したとき
- 電源をオフしたとき
- プログラム再生中にランダムボタンを押したとき
- MDやメモリースティック、FM/AM放送、外部機器の操作をしたとき

メ モ

▼ 手順2で⇨の代わりに決定ボタンを押すと、選んだフォルダーごとプログラム登録することができます。

▼ プログラム再生中に、⏮ ⏭ ボタンを押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。

▼ プログラム再生中に全曲リピート再生(54ページ) を選択すると、プログラムした内容を繰り返し再生します。**（プログラムリピート再生）**

ＤＶＤの映像のアングルを切りかえる（マルチアングル）

1.



アングルボタンを押します

現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すごとにアングルが切りかわります。

アングル	現在/総数 2/4

メ モ

- ▼ 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。
- ▼ マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
- ▼ メニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。
- ▼ マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします。(140 ページ)

ＤＶＤの映像を拡大して見る（ズーム）

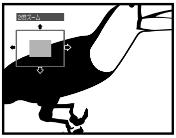
1.



ズームボタンを押す

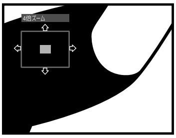
ズームエリア(拡大する場所)が左上に表示されます。

1 回押すと・・・



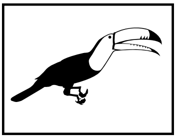
・・・2 倍に拡大！

2 回押すと・・・



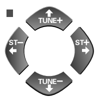
・・・4 倍に拡大！

3 回押すと・・・



・・・通常の映像に戻る

2.



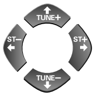
ズームエリア表示中に ⇧ ⇩ ⇦ ⇨ でズームエリアを移動する

メ モ

- ▼ 約5秒間ボタン操作がないと、左上のズームエリアが消えます。さらに倍率を変えたいときは、もう一度ズームボタンを押してズームエリア表示してください。
- ▼ ズーム中は字幕が表示されません。
- ▼ ＤＶＤのメニュー画面を表示中に映像をズームすると、項目を選択することができません。通常の映像に戻してから、選択してください。

プレイモード画面でいろいろな操作をする

プレイモード画面などのテレビに表示された設定画面の操作は、以下のボタンを使用します。

ボタン	操作内容
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。
	設定画面を表示します。設定中は、設定画面をオフにします。



Q&A

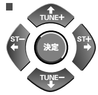
Q ：設定画面が表示できない

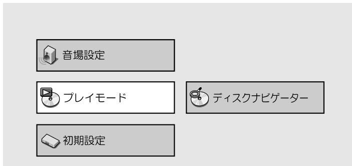
→ ビデオCDのPBC再生中はプレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してください。

1. DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます

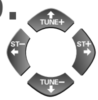


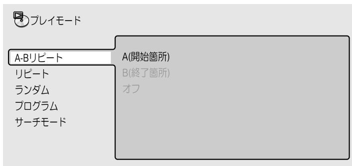
2. [プレイモード]を選んでから、決定ボタンを押します





3. 項目を選択します



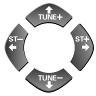


- **A-B リピート(59 ページ)**
  再生中のタイトル内の指定した範囲を繰り返し再生する。
- **リピート(59 ～ 60 ページ)**
  タイトルやチャプターを繰り返し再生する。
- **ランダム(61 ページ)**
  タイトルやチャプターを順不同に再生する。
- **プログラム(62 ～ 64 ページ)**
  タイトルやチャプターの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(65 ～ 66 ページ)**
  タイトル、チャプター、または時間を指定して再生する。

選んだ項目についての操作方法は、それぞれのページを参照して操作してください。

指定した箇所を繰り返し再生する(A-B リピート再生)

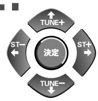
1.



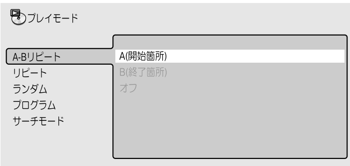
再生中に、プレイモード画面から、[A-Bリピート]を選択します

58 ページを参照してください。

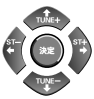
2.



A-B リピートを開始したい箇所で、[A(開始箇所)]を選んでから、決定ボタンを押します



3.



A-B リピートを終了したい箇所で、[B(終了箇所)]を選択して決定します

- B(終了箇所)は、A(開始箇所)から 2 秒以上経過した箇所を指定してください。2秒以下の箇所を指定すると、自動的にAとBの間隔が2秒になります。
- A-B リピート再生を開始します。

A-B リピート再生を解除するには･･･



[オフ]を選択して決定します

A-B リピート再生中に**クリアボタン**を押しても解除することができます。

注 意

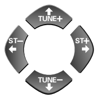
◆ MP3 は A-B リピート再生ができません。

DVD を繰り返し再生する(リピート再生)

DVDのタイトル/チャプター(場面)を繰り返し再生します。

1. **繰り返したいタイトル / チャプター(場面)を再生します**

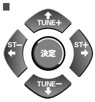
2.



プレイモード画面から、[リピート]を選択します

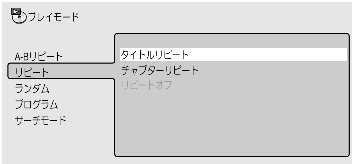
58 ページを参照してください。

3.



リピート再生の種類を選択して決定します

- リピート再生を開始します。



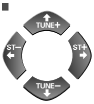
- タイトルリピート
  現在再生中のタイトルを繰り返し再生します。
- チャプターリピート
  現在再生中のチャプターを繰り返し再生します。
- リピートオフ
  通常の再生に戻ります(リピート再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

ビデオCD、CD、MP3を繰り返し再生する（リピート再生）

ビデオCD/CDのトラック(曲)、MP3のフォルダー / トラック(曲)を繰り返し再生します。

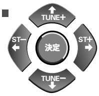
1. 繰り返したい曲を再生します

2. 再生中に 、*プレイモード画面*から、[リピート]を選択します



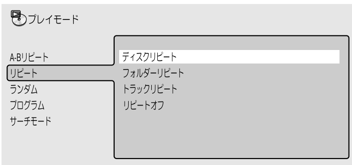
58 ページを参照してください。

3. リピート再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します



リピート再生を開始します。

MP3 のリピート画面



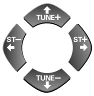
- ディスクリピート
  - 現在再生中のディスクを繰り返し再生します。
- フォルダーリピート(MP3 のみ)
  - 現在再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
- トラックリピート
  - MP3 では、現在再生中のフォルダー内のトラックを繰り返し再生します。
  - ビデオCD CD(-R/-RW) では、現在再生中のトラックを繰り返し再生します。
- リピートオフ
  通常の再生に戻ります(リピート再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

注 意

- ◆ DVDではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。
- ◆ ビデオCDのPBC再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を数字ボタンで入力し、それからリピートボタンを押します。
- ◆ リピート再生中にアングルを切りかえる(57ページ)と、リピート再生は解除されます。

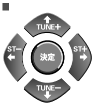
DVDを順不同に再生する（ランダム再生）

DVDのタイトルやチャプターを順不同に再生することができます。

1. 

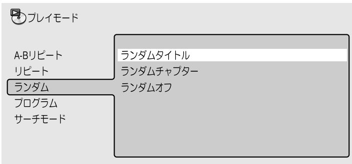
プレイモード画面から、[ランダム]を選択します

58ページを参照してください。

2. 

ランダム再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します

- ランダム再生を開始します。
- 本体表示窓に**[RDM]**と点灯します。



- ランダムタイトル
  タイトルを順不同に再生します。
- ランダムチャプター
  現在再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
- ランダムオフ
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

メモ

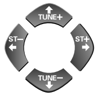
▼ ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
▼ ランダム再生中に|◀◀ボタンを押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。

注意

◆ DVDの場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
◆ ランダム再生を繰り返すことはできません。

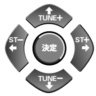
ビデオCD、CD、MP3を順不同に再生する（ランダム再生）

ビデオCDまたはCDのトラックを順不同に再生することができます。

1. 

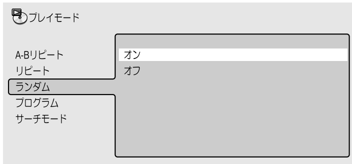
プレイモード画面から、[ランダム]を選択します

58ページを参照してください。

2. 

[オン]を選んでから、決定ボタンを押します

ランダム再生を開始します。



- **オン**
  - MP3 では、現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生します。
  - ビデオCD CD(-R/-RW)では、トラックを順不同に再生します。

- **オフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

順番を変えて再生する (プログラム再生)

24 ステップまでプログラム登録をすることができます。

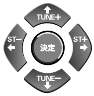
DVD のタイトルやチャプターの順番を変えて再生するには

1. ***プレイモード画面から､「プログラム」を選択します***

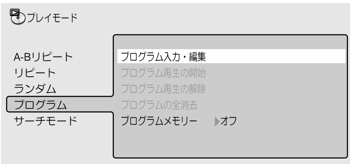


58 ページを参照してください。リモコンの**プログラムボタン**を押しても操作することができます。その場合は、手順 2 の操作は必要ありません。

2. **[プログラム入力・編集]を選んでから、決定ボタンを押します**

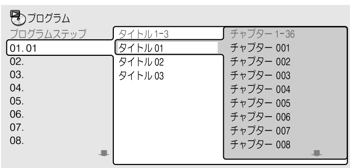


[プログラムメモリー]はDVD のときのみ選択することができます。(64 ページ)



3. **プログラムしたいタイトル / チャプターを選択して決定します**





- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

4. **手順 3 を繰り返して他のタイトル / チャプターをプログラムします**

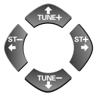
5. **► ボタンを押します**



- プログラムした順に再生を開始します。

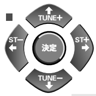
CD、ビデオ CD、MP3 のトラックやフォルダーの順番を変えて再生するには

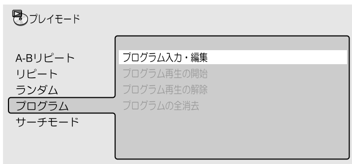
1. ***プレイモード画面から､[プログラム]を選択します***



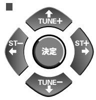
58 ページを参照してください。

2. **[プログラム入力・編集]を選んでから、決定ボタンを押します**





3. **プログラムしたいフォルダー / トラックを選んでから、決定ボタンを押します**



ディスクによってプログラム入力・編集画面が異なります。

- MP3 では、フォルダーとトラックを選択します。
- ビデオCD CD(-R/-RW) では、トラックのみを選択します。

- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

4. **手順 3 を繰り返して他のフォルダー / トラックをプログラムします**

5. **► ボタンを押します**

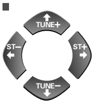


- プログラムした順に再生を開始します。

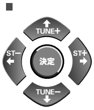
ステップの間にプログラムを追加するには･･･

例) ステップ 0 2 の前にタイトル 1 のチャプター 7 を追加する場合

1. **カーソルをステップ 02 に合わせます**



2. **タイトル 1 のチャプター 7 を選んでから、決定ボタンを押します**

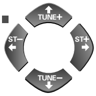


ステップ02にタイトル1のチャプター7が追加されます。もともとステップ02にあったプログラムは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには･･･

例) ステップ 02 のプログラムを削除する場合

1. **カーソルをステップ 02 に合わせます**

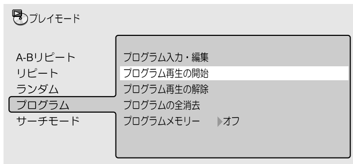


2. **クリアボタンを押します**



ステップ02のプログラムが削除され、その後ろにあったプログラムが 1 つ前に繰り上がります。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには･･･

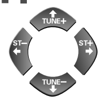


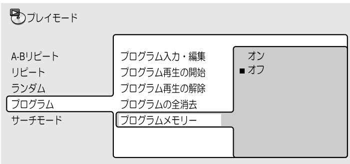
- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

DVDにてプログラムした内容を記憶するには・・・(プログラムメモリー)

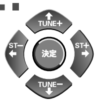
DVDディスクを取り出してもプログラムした内容を記憶するように設定します。プログラムメモリーしたディスクをセットすると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。最大24枚まで記憶させることができます。24枚を超えると、古い記憶から消去されます。

1. [プログラムメモリー]を選択して、カーソルを 右へ移動します





2. [オン]を選んでから、決定ボタンを押します



プログラムメモリーを解除するときは**[オフ]**を選択して、決定します。

メ モ

▼ プログラムメモリー機能を使うと、(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のタイトル/チャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

▼ プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の[リピート]から[プログラムリピート]を選択します(59、60ページ)。

▼ プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。

▼ プログラム再生中に►►|を押すと、次のプログラムステップのタイトル/チャプターを再生します。

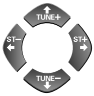
注 意

◆ タイトル/チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル/チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。

見たい場面を探す (サーチモード)

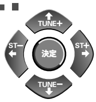
DVD の見たい場面を探すには

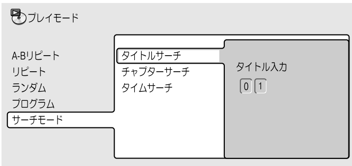
1. プレイモード画面から、[サーチモード]を選択します



58 ページを参照してください。

2. サーチモードの種類を選んでから、決定ボタンを押します





- **タイトルサーチ**
  タイトルを指定して再生する。
- **チャプターサーチ**
  チャプターを指定して再生する。
- **タイムサーチ**
  時間を指定して再生する。

3. 数字(0～9)ボタンで再生したいタイトル、チャプター、または時間を入力します

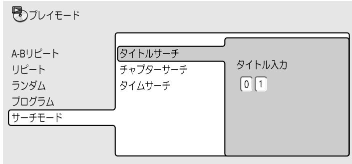


指定したタイトル、チャプター、または時間から再生を開始します。

4. 決定ボタンを押します

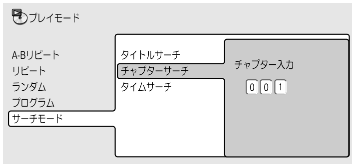


タイトルサーチを選択したとき･･･



例えば、タイトル 3 を再生するには、3 を押してから決定ボタンを押します。

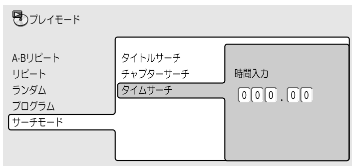
チャプターサーチを選択したとき･･･



例えば、チャプター 12 を選択するには、1, 2 を押してから決定ボタンを押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

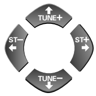
再生中だけの操作となります。



例えば、

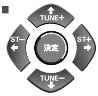
・ 21 分 43 秒を選ぶには、2, 1, 4, 3 を押して決定ボタンを押します。
・ 1時間04分(64分00秒)を選ぶには、6, 4, 0, 0 を押して決定ボタンを押します。

CD、ビデオCD、MP3の再生したい曲を探すには

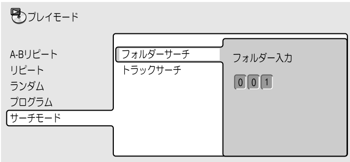
1. 

プレイモード画面から、[サーチモード]を選択します

58ページを参照してください。

2. 

サーチモードの種類を選んでから、決定ボタンを押します



- **フォルダーサーチ(MP3のみ)**
  フォルダーを指定して再生する。
- **タイムサーチ(ビデオCDのみ)**
  現在再生中のトラック内の時間を指定して再生する。
- **トラックサーチ**
  トラックを指定して再生する。

3. 

数字(0〜9)ボタンで再生したいフォルダー/トラック、または時間を入力します

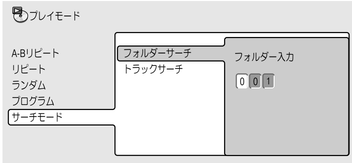
指定したフォルダー、トラック、または時間から再生を開始します。

4. 

決定ボタンを押します

フォルダーサーチを選択したとき･･･

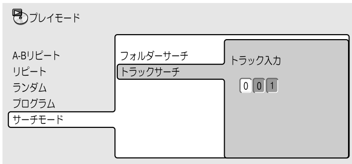
MP3だけの機能となります。



例えば、フォルダー3を再生するには、3を押してから決定ボタンを押します。

トラックサーチを選択したとき･･･

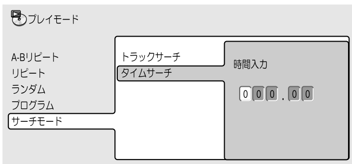
MP3のトラックサーチ画面



例えば、トラック12を選択するには、1, 2を押してから決定ボタンを押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

ビデオCDだけの機能となります。



例えば、
- 21分43秒を選ぶには、2, 1, 4, 3を押して決定ボタンを押します。
- 1時間04分(64分00秒)を選ぶには、6, 4, 0, 0を押して決定ボタンを押します。

Q&A

Q：タイムサーチができない
→ MP3、またはCD(CD-R/RW)ではタイムサーチができません。

ディスクナビゲーターを使って再生する

見たいタイトルやチャプターを、テレビ画面から簡単に指定して見ることができます。

DVDを再生するには

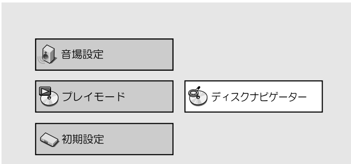
1. **DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます**



DVD設定

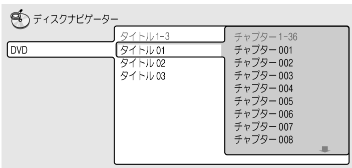
2. **[ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します**



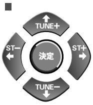


3. **カーソルをタイトル、またはチャプターに移動します**





4. **再生したいタイトル、またはチャプターをを選んでから、決定ボタンを押します**



選択したタイトル、またはチャプターから再生を開始します。

注 意

◆ DVDのタイトルによっては、選択できない項目があります。

CD、ビデオCD、MP3を再生するには

1. **DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます**

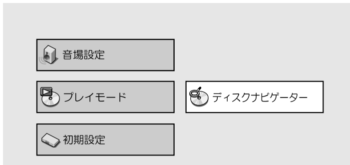


DVD設定

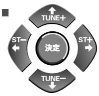
メニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。

2. **[ディスクナビゲーター]を選択して決定します**



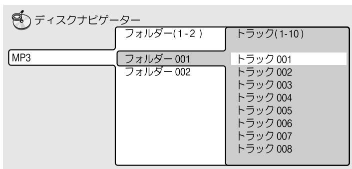


3. **再生したいフォルダー / トラックを選んでから、決定ボタンを押します**



再生を開始します。

MP3 のディスクナビゲーター画面



17番目以降のフォルダーでは、フォルダー名が「F_033」、トラック名「T_035」のように表示されることがあります。また、ディスクナビゲーター画面を終了するときは、DVD設定ボタンを押します。

Q&A

Q ：設定ができない

→ ビデオCDのPBC再生中は、設定をすることができません。PBC再生を解除してください。

ディスクの情報を見る

テレビ画面にて、DVD のディスクの情報を見るには



再生中に、画面表示ボタンを押します

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1 回押すと･･･

現在再生中のタイトルの情報が表示されます。

例)

再生	► DVD		チャプターリピート	
タイトル	現在/総数 1/3	経過時間 0.12	残り時間 138.47	総時間 138.59
音声 1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕 2. 日本語			アングル 1

2 回押すと･･･

現在再生中のチャプターの情報と転送レートが表示されます。

例)

再生	► DVD		チャプターリピート	
チャプター	現在/総数 1/36	経過時間 0.15	残り時間 1.53	総時間 2.08
転送レート	▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮	8.1Mbps		

3 回押すと･･･

表示が消えます。

テレビ画面にて CD、ビデオ CD、MP3 の情報を見るには



再生中に、画面表示ボタンを押します

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1 回押すと･･･

- MP3 CD(-R/-RW) では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- ビデオCDでは、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

例) MP3 のトラックの情報画面

再 生 ►	MP3			
トラック	現在/総数 1/17	経過時間 0:06	残り時間 3:26	総時間 3:32
トラック名	YESTERDAY			

2 回押すと･･･

- MP3では、現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。
- ビデオCDでは、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- CD(-R/-RW)では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

例) MP3 のフォルダーの情報画面

再 生 ►	MP3
フォルダー	現在/総数 1/17
フォルダー名	MUSIC BOX

3 回押すと･･･

表示が消えます。

Q&A

Q ：時間情報などが表示されない

→ ファイナライズしていない CD-R/RWディスクでは一部の時間情報が表示されないことがあります。

→ ビデオ CD の PBC 再生中は一部の情報が表示されません。PBC 再生を解除してください。

本体表示部にて、DVD の情報を見るには



再生中に、画面表示ボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

再生経過時間
↓
タイトルの残り時間
↓
チャプターの残り時間

本体表示部にて、CD の情報を見るには



再生中に、画面表示ボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

再生経過時間
↓
再生中の曲の残り時間
↓
ディスクの残り時間

本体表示部にて、ビデオ CD の情報を見るには



再生中に、画面表示ボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

再生経過時間
↓
ディスクの残り時間
↓
再生中の曲の残り時間

本体表示部にて、MP3 の情報を見るには



再生中に、画面表示ボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

再生経過時間
↓
曲名（トラックネーム）
↓
フォルダー名
(フォルダーネーム)

注 意

◆ ビデオ CD の PBC 再生中は一部の情報が表示されません。PBC 再生を解除してください。

注 意

◆ REC THIS ボタンにて、いま聞いている曲の録音（39、43 ページ）中は、MP3 の情報を見ることはできません。

メモリースティック応用編

メモリースティックの曲を順不同に再生する（ランダム再生）

すべての曲から順不同に選んで、各曲を１回ずつ再生します。



ランダムボタンを押します

ランダム再生を開始します。
RDM と点灯します。
すべての曲の再生を終了すると、自動的に停止します。



ランダム再生をやめるには....

■ボタンを押します。
ランダム再生は解除されます。

メ モ

▼ ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと、別の曲を順不同に選んで再生します。
▼ ランダム再生中に全曲リピート再生を選択すると、ランダム再生を繰り返します。**（ランダムリピート再生）**

注 意

◆ 再生制限付きの曲の場合は、再生可能な場合でも強制的に停止します。

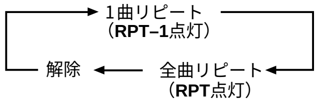
メモリースティックの曲を繰り返し再生する（リピート再生）

再生している１曲だけを繰り返す１曲リピートとメモリースティックの全曲を繰り返す全曲リピートとがあります。



リピートボタンを押します

押すごとに､以下の様に切り替わります。





リピート再生をやめるには....

■ボタンを押します。

メ モ

▼１曲リピート中に|◀◀ ▶▶|ボタンを操作して別の曲に移ったときは､その曲を繰り返し再生します。

注 意

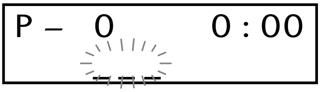
◆ ランダム再生中またはプログラム再生中は、１曲リピートを選ぶことはできません。
◆ 再生制限付きの曲の場合は､再生可能な場合でも強制的に停止します。

メモリースティックの聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム再生）

聞きたい曲を最大 30 曲まで、好きな順番に登録することができます。

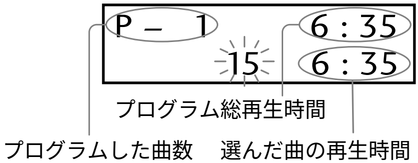
1. **メモリースティックが停止中に、プログラムボタンを 2 回押します**





2. **聞きたい曲の番号の文字 / 数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します**

15 曲目を選ぶときは、文字 / 数字ボタンの 1 と 5 を押してから、決定ボタンを押します。



3. **手順 2 を繰り返して、聞きたい曲の曲番号を登録します**

入力を間違えたときは、クリアボタンを押すと、手順 1 に戻ります。

4. **► ボタンを押します**



プログラムした順に再生を開始します。

登録を間違えたとき



メモリースティックが停止中にクリアーボタンを押します

押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます

- メモリースティックが停止中に、■ボタンを 2 回押したとき
- メモリースティックを取り出したとき
- 電源をオフしたとき
- ランダムボタンを押したとき

メ モ

▼ プログラム再生中に、⏮ ⏭ ボタンを押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。

▼ プログラム再生中に全曲リピート再生(70 ページ参照) を選択すると、プログラムした内容を繰り返し再生します。**(プログラムリピート再生)**

▼ プログラムが設定されているときに、もう一度手順 1 から操作を行なうと、プログラムしている内容に新たに曲を追加することができます。

注 意

◆ プログラムのトータル時間が、999'59" 以上の場合は、プログラムのトータル時間は表示されません。

◆ 再生制限付きの曲の場合は、再生可能な場合でも強制的に停止します。

再生回数制限付き曲の再生の設定（スキップ機能）

再生回数制限付きの曲がメモリースティック内にあるとき、再生しないでそのままスキップするのか、再生可能ならそのまま再生をするのか、そのつど再生するかしないのかのメッセージを表示するようにするか（お買い上げ時の設定）を設定することができます。

1. **MSボタンを押してから、■ボタンを押します**

2. **システムメニューボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で"MS MENU"を選んでから、決定ボタンを押します**

MS　MENU

4. **⇦ ⇨ で"RESTRICT"を選んでから、決定ボタンを押します**

RESTRICT

5. **⇦ ⇨ で再生回数制限付きの曲の再生設定を選びます**

- 再生するかしないのかのメッセージをそのつど表示する。（37 ページ）

SKIP CHECK

- 再生回数制限付きの曲は、全て再生しないでスキップする

SKIP ON

- 再生可能なら、そのまま再生をする。

SKIP OFF

6. **決定ボタンを押して決定します**

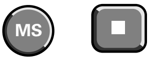
メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

メモリースティックに録音するときのビットレートを設定する

本機では、メモリースティックに録音するときのビットレート(168ページ)を、132kbps(お買い上げ時の設定)、105kbps、66kbpsの中から選ぶことができます。ビットレートを変更すると、音質と録音可能時間も変更されます。お買い上げ時の設定である132kbpsの場合、66kbpsよりも音質は良くなりますが、録音できる時間が短くなります。(メモ参照)

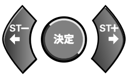
1. MSボタンを押してから、■ボタンを押します



2. システムメニューボタンを押します

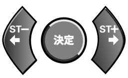


3. ⇦ ⇨ で"MS MENU"を選んでから、決定ボタンを押します



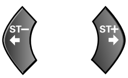
MS MENU

4. ⇦ ⇨ で"REC MODE"を選んでから、決定ボタンを押します



REC MODE

5. ⇦ ⇨ で録音時のビットレートを選びます



- ビットレートが132kbps

132kbps

- ビットレートが105kbps

105kbps

- ビットレートが66kbps

66 kbps

6. 決定ボタンを押して決定します



メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

▼ 64MBのメモリースティックを使用したときの最大録音時間

132kbps ：約60分
105kbps ：約80分
66kbps ：約120分

ただし132kbpsの方が66kbpsよりも、より高音質で録音することができます。

MDを順不同に再生する（ランダム再生）

すべての曲から順不同に選んで、各曲を１回ずつ再生します。



ランダムボタンを押します

ランダム再生を開始します。
RDMと点灯します。
すべての曲の再生を終了すると、自動的に停止します。



ランダム再生をやめるには....

■ボタンを押します。
ランダム再生は解除されます。

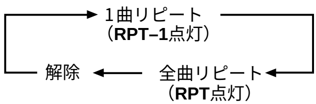
MDを繰り返し再生する（リピート再生）

再生している１曲だけを繰り返す１曲リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲リピートとがあります。



リピートボタンを押します

押すごとに、以下の様に切り替わります。





リピート再生をやめるには....

■ボタンを押します。

メ モ

- ▼ ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと、別の曲を順不同に選んで再生します。
- ▼ ランダム再生中に全曲リピート再生を選択すると、ランダム再生を繰り返します。**（ランダムリピート再生）**

メ モ

- ▼１曲リピート中に|◀◀ ▶▶|ボタンを操作して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し再生します。

注 意

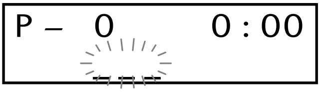
- ◆ ランダム再生中またはプログラム再生中は、１曲リピートを選ぶことはできません。

MDの聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム再生）

聞きたい曲を最大30曲まで、好きな順番に登録することができます。

1. MDが停止中に、プログラムボタンを押します



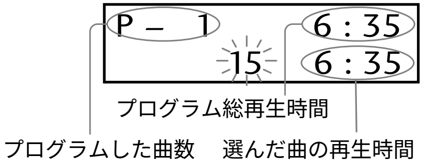


2. 聞きたい曲の番号の文字/数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します





15曲目を選ぶときは、文字/数字ボタンの1と5を押してから、決定ボタンを押します。



3. 手順2を繰り返して、聞きたい曲の曲番号を登録します

入力を間違えたときは、クリアボタンを押すと、手順1に戻ります。

4. ► ボタンを押します



プログラムした順に再生を開始します。

登録を間違えたとき



MDが停止中にクリアボタンを押します

押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容を確認する

プログラム再生中に■ボタンを押して再生を停止させてから、⏮ または⏭ ボタンを押します。

プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます

- MD停止中に■ボタンを2回押したとき
- MD取り出し(⏏)ボタンを押して、MDを取り出したとき
- 電源をオフしたとき
- プログラム再生中にランダムボタンを押したとき

メ モ

▼ プログラム再生中に、⏮ ⏭ ボタンを押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。

▼ プログラム再生中に全曲リピート再生(74ページ参照)を選択すると、プログラムした内容を繰り返し再生します。**(プログラムリピート再生)**

▼ プログラムが設定されているときに、もう一度手順1から操作を行なうと、プログラムしている内容に新たに曲を追加することができます。

注 意

◆ プログラムのトータル時間が、512'00"以上の場合は、プログラムのトータル時間は表示されません。

いろいろな録音について

メモリースティックに録音する

MD に録音する

メモリースティックと MD に同時録音する

MDの全曲をメモリースティックに自動録音する

録音のメニュー機能を使って、MDの全曲をメモリースティックへ簡単に自動録音することができます。

1. **メモリースティック挿入部に、録音用メモリースティックをセットします**

2. **録音元のMDを、本体にセットします**

3. 

MDボタンを押してから、■ボタンを押します

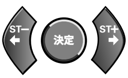
4. 

録音メニューボタンを押します

5. 

"MS REC"が表示されてから、決定ボタンを押します

```
MS  REC
```

6. 

⇦⇨で"SYNCHRO REC"を選んでから、決定ボタンを押します

```
SYNCHRO  REC
```

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。

録音を途中で止めたいときは



■ボタンを押します

メモ

▼ お買い上げ時の録音ビットレートは、132kbpsに設定されています。より長く録音したい場合は、73ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。

注意

◆ MDから録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。
◆ 曲間に切れ目のないMDから録音した場合、曲番号が変更されないことがあります。

MDの好きな曲だけをメモリースティックに自動録音する

プログラム再生機能と録音のメニュー機能を使って、MDの好きな曲だけを好きな順番で、メモリースティックへ簡単に自動録音することができます。

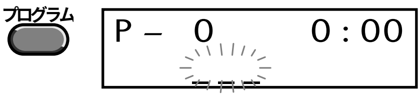
1. メモリースティック挿入部に、録音用メモリースティックをセットします

2. 録音元のMDを、本体にセットします

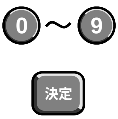
3. MDボタンを押してから、■ボタンを押します



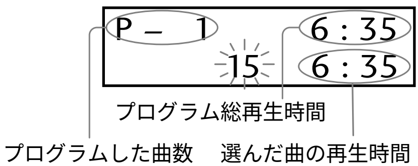
4. プログラムボタンを押します



5. 録音したい曲の番号の文字/数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します



15曲目を選んだときは、文字/数字ボタンの1と5を押してから、決定ボタンを押します。



6. 手順5を繰り返して、録音したい曲の曲番号を登録します

入力を間違えたときは、クリアボタンを押すと、手順4に戻ります。

7. 録音メニューボタンを押します

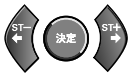


8. "MS REC"が表示されてから、決定ボタンを押します



MS　REC

9. ⇦ ⇨ で"SYNCHRO REC"を選んでから、決定ボタンを押します



SYNCHRO　REC

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。

録音を途中で止めたいときは

■ボタンを押します



メモ

▼ プログラムの設定については、75ページも合わせてご覧ください。
▼ お買い上げ時の録音ビットレートは、132kbpsに設定されています。より長く録音したい場合は、73ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。

注 意

◆ MDから録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。
◆ 曲間に切れ目のないMDから録音した場合、曲番号が変更されないことがあります。

CDやMP3の好きな曲だけをメモリースティックに自動録音する

プログラム再生機能とダイレクト録音ボタンを使って、CDやMP3の好きな曲だけを好きな順番で、メモリースティックへ簡単に自動録音することができます。

1. **メモリースティック挿入部に、録音用メモリースティックをセットします**

2. **録音元のCDまたはMP3ディスクをセットします**

3. **DVD/CDボタンを押して再生を開始してから、■ボタンを押します**

DVD /CD

4. **プログラムボタンを押します**

プログラム

PGM00

CDでは、プログラム総再生時間を表示します。

5. **MP3では、録音したい曲のフォルダー番号の文字/数字ボタンを押してから、⇨ボタンを押します**

0〜9

ST+

フォルダー7を選んだときは、文字/数字ボタンの7を押してから、⇨ボタンを押します。

PGM01 7:–––

6. **録音したい曲の番号の文字/数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します**

0〜9

決定

15曲目を選んだときは、文字/数字ボタンの1と5を押してから、決定ボタンを押します。

MP3のフォルダー7の15曲目を入力した例

PGM01 7: 15

CDの15曲目を入力した例

PGM01 15

7. **手順5と6を繰り返して、録音したい曲のフォルダーや曲番号を登録します**

CDのときは、手順6だけを繰り返します。

8. **本体のCD-MSダイレクト録音ボタンを押します**

CD-MS

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。

録音を途中で止めたいときは

■ボタンを押します

メモ

▼ プログラムの設定については、56ページも合わせてご覧ください。
▼ お買い上げ時の録音ビットレートは、132kbpsに設定されています。より長く録音したい場合は、73ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。

ディスクの好きな部分をメモリースティックに録音する

本機にて再生できるディスクを、メモリースティックに録音することができます。DVDやビデオCDから録音する場合は、このマニュアルによる録音だけの操作となります。

例）DVDをメモリースティックに録音するとき

1. **メモリースティック挿入部に、録音用メモリースティックをセットします**

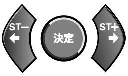
2. **録音したいディスクを、本機にセットします**

3. 

DVD/CDボタンを押して再生を開始し、録音したい部分の頭で、もう一度DVD/CDボタンを押して一時停止させます

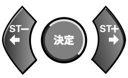
4. 

録音メニューボタンを押します

5. 

⇦ ⇨ で"MS REC"を選んでから、決定ボタンを押します

MS　REC

6. 

⇦ ⇨ で"MANUAL REC"を選んでから、決定ボタンを押します

MANUAL　REC

録音が開始されます。

7. 

DVD/CDボタンを押して再生を開始します

ラジオ放送をメモリースティックに録音する

ラジオ放送をメモリースティックに録音します。

1. **メモリースティック挿入部に、録音用メモリースティックをセットします**

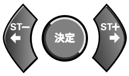
2. 

FM/AMボタンを押してから、録音したい放送局を受信します

本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2ボタンで、FMかAM放送にしてから、録音したい放送局を受信します。

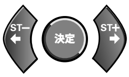
3. 

録音メニューボタンを押します

4. 

⇦ ⇨ で"MS REC"を選んでから、決定ボタンを押します

MS　REC

5. 

⇦ ⇨ で"MANUAL REC"を選んでから、決定ボタンを押します

MANUAL　REC

録音が開始されます。

録音を止めたいときは



■ボタンを押します

メ モ

▼ お買い上げ時の録音ビットレートは、132kbpsに設定されています。より長く録音したい場合は、73ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。

注 意

◆ DVDやビデオCD、MDから録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。
またアナログでの録音の場合、曲間に切れ目がないと、曲番号が変更されないことがあります。（164ページ）

◆ ラジオ放送を録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。

◆ ラジオ放送を録音する場合は、ひとつづきの録音になります。（曲番号は変更されません。）

MDの1曲だけをメモリースティックに録音する（いま聞いている曲を録音する）

再生中の曲を簡単に録音できます。
リモコンで操作します。

1. **メモリースティック挿入部に、録音用メモリースティックをセットします**

2. **MDの録音したい曲の再生中に、MS REC THISボタンを押します**



曲のはじめから録音を開始し、録音が終了するとメモリースティックは停止します。MDは、そのまま再生を続けます。
途中で録音を停止する場合は、■ボタンを押します。

メモ

▼ お買い上げ時の録音ビットレートは、132kbpsに設定されています。より長く録音したい場合は、73ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。

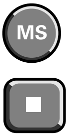
メモリースティックの全曲をMDに自動録音する

録音のメニュー機能を使って、メモリースティックの全曲をMDへ簡単に自動録音することができます。

1. 録音用MDを、本機にセットします

2. 録音元のメモリースティックを、メモリースティック挿入部にセットします

3. MSボタンを押してから、■ボタンを押します



4. 録音メニューボタンを押します

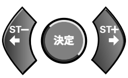


5. "MD REC"が表示されてから、決定ボタンを押します



MD REC

6. ⇦ ⇨ で"SYNCHRO REC"を選んでから、決定ボタンを押します



SYNCHRO REC

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。

録音を途中で止めたいときは



■ボタンを押します

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4またはLP2モード（44ページ）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ メモリースティックの全曲を録音すると、メモリースティックの一枚ごとに自動でグループ登録（115ページ）されます。

注 意

◆ メモリースティックから録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。
◆ 曲間に切れ目のないメモリースティックから録音した場合、曲番号が変更されないことがあります。

メモリースティックの好きな曲だけを MD に自動録音する

プログラム再生機能と録音のメニュー機能を使って、メモリースティックの好きな曲だけを好きな順番で、MD へ簡単に自動録音することができます。

1. **録音用 MD を、本機にセットします**

2. **録音元のメモリースティックを、メモリースティック挿入部にセットします**

3. **MS ボタンを押してから、■ ボタンを押します**

MS

■

4. **プログラムボタンを押します**

プログラム

P – 0　　0 : 00

5. **録音したい曲の番号の文字 / 数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します**

0 〜 9

決定

15 曲目を選んだときは、文字 / 数字ボタンの 1 と 5 を押してから、決定ボタンを押します。

P – 1　　6 : 35

15　　6 : 35

プログラム総再生時間

プログラムした曲数　選んだ曲の再生時間

6. **手順 5 を繰り返して、録音したい曲の曲番号を登録します**

入力を間違えたときは、クリアボタンを押すと、手順 4 に戻ります。

7. **録音メニューボタンを押されます**

録音メニュー

8. **"MD REC" が表示されてから、決定ボタンを押します**

決定

MD REC

9. **⇦ ⇨ で "SYNCHRO REC" を選んでから、決定ボタンを押します**

ST– ← 決定 ST+ →

SYNCHRO REC

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。

録音を途中で止めたいときは

■ ボタンを押します

■

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4 または LP2 モード（44 ページ）に設定すると、より長時間録音できます。

▼ プログラム設定については、71 ページも合わせてご覧ください。

注 意

◆ メモリースティックから録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。

◆ 曲間に切れ目のないメモリースティックから録音した場合、曲番号が変更されないことがあります。

◆ 好きな曲だけをプログラムして録音した場合、グループ登録は行いません。

CD や MP3 の好きな曲だけを MD に自動録音する

プログラム再生機能とダイレクト録音ボタンを使って、CDやMP3の好きな曲だけを好きな順番で、MD へ録音することができます。

1. **録音用 MD を、本機にセットします**

2. **録音元の CD または MP3 ディスクをセットします**

3. **DVD/CD ボタンを押して再生を開始してから、■ボタンを押します**



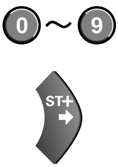
4. **プログラムボタンを押します**



PGM00

CD では、プログラム総再生時間を表示します。

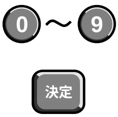
5. **MP3 では、録音したい曲のフォルダー番号の文字 / 数字ボタンを押してから、⇨ ボタンを押します**



フォルダー 7 を選んだときは、文字 / 数字ボタンの 7 を押してから、⇨ ボタンを押します。

PGM01 7:– – –

6. **録音したい曲の番号の文字 / 数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します**



15 曲目を選んだときは、文字 / 数字ボタンの 1 と 5 を押してから、決定ボタンを押します。

MP3のフォルダー7の15曲目を入力した例

PGM01 7:15

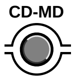
CDの15曲目を入力した例

PGM01 15

7. **手順 5 と 6 を繰り返して、録音したい曲のフォルダーや曲番号を登録します**

CD のときは、手順 6 だけを繰り返します。

8. **本体の CD-MD ダイレクト録音ボタンを押します**



録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。

録音を途中で止めたいときは

■ボタンを押します



メ モ

▼ プログラム設定については、56 ページも合わせてご覧ください。
▼ この方法で録音するときに、LP4 または LP2 モード（44 ページ）に設定すると、より長時間録音できます。

注 意

◆ 好きな曲だけをプログラムして録音した場合、グループ登録は行いません。

ディスクやメモリースティックの好きな部分をMDに録音する

本機にて再生できるディスクやメモリースティックを、MDに録音することができます。DVDやビデオCDから録音する場合は、このマニュアルによる録音だけの操作となります。

例）DVDをメモリースティックに録音するとき

1. **録音用MDを、本機にセットします**

2. **録音したいディスクを、本機にセットします**

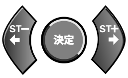
3. **DVD/CDボタンを押して再生を開始し、録音したい部分の頭で、もう一度DVD/CDボタンを押して一時停止させます**



4. **録音メニューボタンを押します**

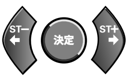


5. **⇦⇨で"MD REC"を選んでから、決定ボタンを押します**



MD REC

6. **⇦⇨で"MANUAL REC"を選んでから、決定ボタンを押します**



MANUAL REC

録音が開始されます。

7. **DVD/CDボタンを押して再生を開始します**



録音を止めたいときは



■ボタンを押します

メモ

▼ この方法で録音するときに、LP4またはLP2モード（44ページ）に設定すると、より長時間録音できます。

注意

◆ DVDやビデオCD、メモリースティックから録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。
またアナログでの録音の場合、曲間に切れ目がないと、曲番号が変更されないことがあります。（164ページ）

ラジオ放送を MD に録音する

ラジオ放送を MD へ録音します。

1. **録音用 MD をセットします**

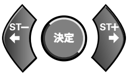
2. 

FM/AM ボタンを押してから、録音したい放送局を受信します

本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2 ボタンで、FM か AM 放送にしてから、録音したい放送局を受信します。

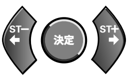
3. 

録音メニューボタンを押します

4. 

⇦ ⇨ で "MD REC" を選んでから、決定ボタンを押します

MD REC

5. 

⇦ ⇨ で "MANUAL REC" を選んでから、決定ボタンを押します

MANUAL REC

録音が開始されます。

録音を止めたいときは



■ボタンを押します

メモリースティックの 1 曲だけを MD に録音する（いま聞いている曲を録音する）

再生中の曲を簡単に録音できます。
リモコンで操作します。

1. **録音用 MD をセットします**

2. 

メモリースティックの録音したい曲の再生中に、MD REC THIS ボタンを押します

曲のはじめから録音を開始し、録音が終了すると MD は停止します。メモリースティックは、そのまま再生を続けます。
途中で録音を停止する場合は、■ボタンを押します。

メモ

▼ この方法で録音するときに、LP4 または LP2 モード（44 ページ）に設定すると、より長時間録音できます。

注 意

◆ ラジオ放送を録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。
◆ ラジオ放送を録音する場合は、ひとつづきの録音になります。（曲番号は変更されません。）
◆ メモリースティックの 1 曲だけを録音した場合、グループ登録は行いません。

CDやMP3の全曲を、メモリースティックとMDへ同時に自動録音する

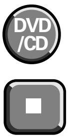
録音のメニュー機能を使って、CDの全曲をメモリースティックとMDに同時に自動録音をすることができます。

1. **録音用MDを、本機にセットします**

2. **メモリースティック挿入部に、録音用メモリースティックをセットします**

3. **録音もとのCDまたはMP3ディスクをセットします**

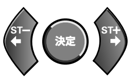
4. **DVD/CDボタンを押して再生を開始してから、■ボタンを押します**



5. **録音メニューボタンを押します**

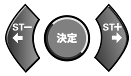


6. **⇦⇨で"MD&MS REC"を選んでから、決定ボタンを押します**



MD&MS　REC

7. **⇦⇨で"SYNCHRO REC"を選んでから、決定ボタンを押します**



SYNCHRO　REC

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。

録音を止めたいときは



■ボタンを押します

メ モ

- ▼ この方法でMDに録音するとき、LP4またはLP2モード（44ページ）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ メモリースティックに録音するときの録音ビットレートは、お買い上げ時は132kbpsに設定されています。より長く録音したい場合は、73ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。
- ▼ MDまたはメモリースティックのどちらか一方の録音が停止した場合でも、もう一方の録音はそのまま継続されます。

Q&A

Q ：録音が開始しない！

→ MDまたはメモリースティックのどちらか一方でも録音不可な状態であると、録音は開始しません。

CD や MP3 の好きな曲だけを、MD とメモリースティックへ同時に自動録音する

プログラム再生機能と録音のメニュー機能を使って、CDやMP3の好きな曲だけを好きな順番で、メモリースティックと MD に同時に自動録音をすることができます。

1. **録音用 MD を、本機にセットします**

2. **メモリースティック挿入部に、録音用メモリースティックをセットします**

3. **録音元の CD または MP3 ディスクをセットします**

4. **DVD/CD ボタンを押して再生を開始してから、■ ボタンを押します**

5. **プログラムボタンを押します**

PGM00

CDでは、プログラム総再生時間を表示します。

6. **MP3 では、録音したい曲のフォルダー番号の文字 / 数字ボタンを押してから、⇨ ボタンを押します**

フォルダー7を選んだときは、文字 / 数字ボタンの 7 を押してから、⇨ ボタンを押します。

PGM01　　7:---

7. **録音したい曲の番号の文字 / 数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します**

15 曲目を選んだときは、文字 / 数字ボタンの 1 と 5 を押してから、決定ボタンを押します。

MP3のフォルダー7の15曲目を入力した例

PGM01　　7: 15

CDの15曲目を入力した例

PGM01　　15

8. **手順 6 と 7 を繰り返して、録音したい曲のフォルダーや曲番号を登録します**

CD のときは、手順 7 だけを繰り返します。

9. **録音メニューボタンを押します**

10. **⇦ ⇨ で "MD&MC REC" を選んでから、決定ボタンを押します**

MD&MS REC

11. **⇦ ⇨ で "SYNCHRO REC" を選んでから、決定ボタンを押します**

SYNCHRO REC

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。

録音を止めたいときは

■ボタンを押します



メ モ

- ▼ プログラム登録については、56ページも合わせてご覧ください。
- ▼ この方法でMDに録音するとき、LP4またはLP2モード（44ページ）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ メモリースティックに録音するときの録音ビットレートは、お買い上げ時は132kbpsに設定されています。より長く録音したい場合は、73ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。
- ▼ MDまたはメモリースティックのどちらか一方の録音が停止した場合でも、もう一方の録音はそのまま継続されます。

Q&A

Q ：録音が開始しない！

→ MDまたはメモリースティックのどちらか一方でも録音不可な状態であると、録音は開始しません。

ディスクの好きな部分をメモリースティックとMDへ同時に録音する

本機にて再生できるディスクを、メモリースティックとMDに同時に録音することができます。DVDやビデオCDから録音する場合は、このマニュアルによる録音だけの操作となります。

1. **録音用MDを、本機にセットします**

2. **メモリースティック挿入部に、録音用メモリースティックをセットします**

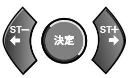
3. **録音したいディスクを、本機にセットします**

4. 

DVD/CDボタンを押して再生を開始し、録音したい部分の頭で、もう一度DVD/CDボタンを押して一時停止させます

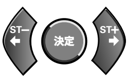
5. 

録音メニューボタンを押します

6. 

⇦⇨で"MD&MS REC"を選んでから、決定ボタンを押します

MD&MS REC

7. 

⇦⇨で"MANUAL REC"を選んでから、決定ボタンを押します

MANUAL REC

録音が開始されます。

8. 

DVD/CDボタンを押して再生を開始します

録音を止めたいときは


■ボタンを押します

メ モ

▼ この方法でMDに録音するとき、LP4またはLP2モード（44ページ）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ メモリースティックに録音するときの録音ビットレートは、お買い上げ時は132kbpsに設定されています。より長く録音したい場合は、73ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。
▼ MDまたはメモリースティックのどちらか一方の録音が停止した場合でも、もう一方の録音はそのまま継続されます。

注 意

◆ DVDやビデオCDから録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。
またアナログでの録音の場合、曲間に切れ目がないと、曲番号が変更されないことがあります。（164ページ）

ラジオ放送をメモリースティックと MD へ同時に録音する

ラジオ放送を、メモリースティックと MD に同時に録音します。

1. **録音用 MD を、本機にセットします**

2. **メモリースティック挿入部に、録音用メモリースティックをセットします**

3. **FM/AM ボタンを押してから、録音したい放送局を受信します**

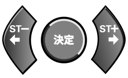


本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2 ボタンで、FM か AM 放送にしてから、録音したい放送局を受信します。

4. **録音メニューボタンを押します**



5. **⇦ ⇨ で "MD&MS REC" を選んでから、決定ボタンを押します**



MD&MS REC

6. **"MANUAL REC" が表示されてから、決定ボタンを押します**



MANUAL REC

録音が開始されます。

録音を止めたいときは



■ボタンを押します

メ モ

▼ この方法で MD に録音するとき、LP4 または LP2 モード（44 ページ）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ メモリースティックに録音するときの録音ビットレートは、お買い上げ時は 132kbps に設定されています。より長く録音したい場合は、73 ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。
▼ MD またはメモリースティックのどちらか一方の録音が停止した場合でも、もう一方の録音はそのまま継続されます。

注 意

◆ ラジオ放送を録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。
◆ ラジオ放送を録音する場合は、ひとつづきの録音になります。（曲番号は変更されません。）

MD のデジタル録音レベルを調整する

デジタル録音の場合、通常はデジタル入力の録音レベルを調整する必要はありませんが、本機ではCDからのデジタル録音時に調整することができます。
例えば、複数のCDから1枚のMDに録音する場合に、ディスク間の音量レベルをあわせるときに調整します。

1. **録音用MDをセットします**

本機にMDがセットされていないと、デジタル録音レベルを調整することはできません。

2. **DVD/CDボタンを押して、CDの再生を開始します**



あらかじめ録音したい曲の準備をしておきます。

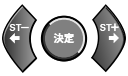
3. **165ページを参照して、デジタル録音に切りかえます**

お買い上げ時は、デジタル録音に設定されていますので、操作は必要ありません。

4. **システムメニューボタンを押します**

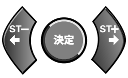


5. **⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します**



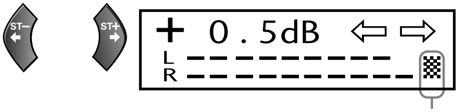
MD MENU

6. **⇦ ⇨ で"D.VOL"を選んでから、決定ボタンを押します**



D.VOL

7. **⇦ ⇨ を押して、デジタル録音レベルを調整します**



この部分（12番目）のレベルが点灯しないように調整します。

8. **決定ボタンを押します**



メ モ

- ▼ 調整範囲は、MIN(−∞) ～ +18dBの範囲内です。0dBが初期値となります。
- ▼ 音量レベルが初期値である0dB以外に調整されると、表示部に D.VOL が点灯します。
- ▼ メモリースティックでデジタル録音レベルを調整することはできません。

メモリースティックの編集機能について

曲順を変えたり、1曲を2曲に分けるなどの編集をして、自分だけのオリジナルの曲づくりができます。ただし、誤消去防止スイッチを「LOCK」にしたメモリースティック（159ページ）では編集機能は使うことはできません。編集機能を使用する場合は誤消去防止スイッチを「LOCK」にしないでください。編集機能には次のようなものがあります。

メモリースティック（アルバムネーム）や曲（トラックネーム）に名前を付ける（ネーム機能）－ 94ページ

録音した曲に曲名、メモリースティックにアルバム名を付けることができます。

メモリースティックに名前をつける機能をアルバムネーム機能、曲に名前をつける機能をトラックネーム機能といいます。

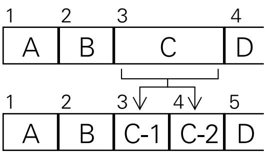
本機では、カタカナ、アルファベット（A～Z、a～z）数字、記号（93ページ）を入力したり表示したりすることができます。本機以外の機器で入力されたその他の文字については、本機ではスペース（空白）表示となったり、"NO NAME" と表示されることがあります。

また本機で入力した文字が、他の機器やパソコンのアプリケーションなどで表示されないこともあります。

アルバム名は100文字まで、曲名は1曲につき100文字まで入力できます。

1つの曲を2つの曲に分ける（デバイド機能）－ 97ページ

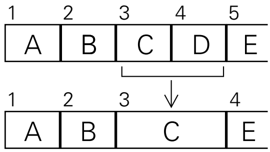
1曲を途中から2つの曲に分けます。分けた曲以降の曲番は自動的に付けかえられます。



Cを2つに分けて新しくC-1、C-2の2曲にした例

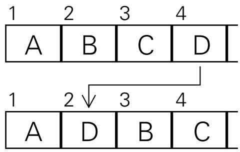
連続している2つの曲をつないで1つの曲にする（コンバイン機能）－ 99ページ

C、Dの2曲を1曲にして新しくCとします。つないだ曲以降の曲番は、自動的に付けかえられます。



曲を移動する（ムーブ機能）－ 100ページ

ある曲を好きな位置に移動して曲順をかえることができます。並べ変えた後の曲番は自動的に付けかえられます。



4曲目のDを2曲目に移動した例

1曲だけ消す（トラックイレース機能）－ 101ページ

消したい曲を指定して、1曲をまるごと消すことができます。消した曲は曲名ごと消えます。また、消した曲以降の曲番は自動的に付けかえられます。

すべての曲を消す（オールイレース機能）－ 102ページ

メモリースティック内のすべての曲を消すことができます。ただしアルバム名は、消去されません。

メモリースティックの全てのデータを消す（フォーマット機能）－ 103ページ

メモリースティック内にあるすべてのデータを消すことができます。初期化ともいいます。この場合は、アルバム名も消えます。

メモリースティックに、アルバム名や曲名をつける（ネーム機能）

メモリースティックにアルバム名をつけるには

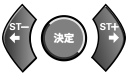
1. MS ボタンを押してから、■ ボタンを押します



2. システムメニューボタンを押します

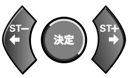


3. ⇦ ⇨ で "MS MENU" を選んでから、決定ボタンを押します



MS MENU

4. ⇦ ⇨ で "ALBUM NAME" を選んでから、決定ボタンを押します



ALBUM NAME

5. 文字を入力して、メモリースティックに名前をつけます

文字の入力は、96～97 ページを参照してください。

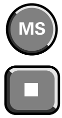
6. システムメニューボタンを押して終了します



途中で文字の入力を止める場合は、■ボタンを押します。ただしそれまで入力した文字も、すべてクリアされます。

曲に名前をつけるには

1. MS ボタンを押してから、■ ボタンを押します



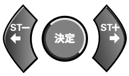
2. ⏮ ⏭ ボタンで名前をつけたい曲を選びます



3. システムメニューボタンを押します

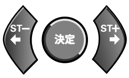


4. ⇦ ⇨ で "MS MENU" を選んでから、決定ボタンを押します



MS MENU

5. ⇦ ⇨ で "TRACK NAME" を選んでから、決定ボタンを押します



TRACK NAME

"TRACK NAME" が表示されないときは、手順 1 から操作し直してください。

6. 文字を入力して、曲に名前をつけます

文字の入力は、96～97 ページを参照してください。

7. システムメニューボタンを押して終了します



途中で文字の入力を止める場合は、■ボタンを押します。ただしそれまで入力した文字も、すべてクリアされます。

注 意

◆ 誤消去防止スイッチを「LOCK」にしたメモリースティックには、アルバム名や曲名をつけることはできません。

◆ 本機で入力した文字が、他の機器やパソコンのアプリケーションなどで表示されないことがあります。

ネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）：

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ.,'/
□（空白）

アルファベット（小文字）：

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz.,'/
□（空白）

数字、記号：

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! ” # ＄ % & ’ ( )
＊ + , ー . / : ; < = > ? @ _ ` □（空白）

カタカナ：

アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリ
ルレロワヲンァィゥェォャュョッ゛゜ー□
（空白）

Q&A

Q ：アルバム名や曲名が入力できない！

→ 再生中や録音中には名前をつけることはできません。■ボタンを押して、停止させてください。

→ プログラム再生が設定されていると名前をつけることはできません。71ページを参照して、解除してください。

文字を入力する

文字が入力できるモードのときに操作します。

リモコンでの入力のしかた

文字入力を終了する場合は、システムメニューボタンを押します。

1. 入力する文字が表記されている文字 / 数字ボタンを押します

例えば、大文字アルファベットが設定されているときに ハMNO 6 を押すと、押すごとにＭ→Ｎ→Ｏ→と切りかわります。



ＭＤのディスクネームにて、"N" を入力したときの例

システム表示/文字

文字の種類をかえる場合はシステム表示 / 文字ボタンを押します

A-Z（大文字）[A] → a-z（小文字）[a] → 数字、記号 [0] → カタカナ [ア] → A-Z（大文字）[A]

2. 決定ボタンを押して決定します

決定

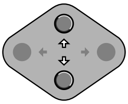
次に入力する文字の文字/数字ボタンが、いま押した文字/数字ボタンと違う場合は、この操作は必要ありません。

文字の種類 / ボタン	アルファベット（大文字）	アルファベット（小文字）	数　字	カタカナ
ア 1	―――	―――	1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
カ ABC 2	A B C	a b c	2	カ キ ク ケ コ
サ DEF 3	D E F	d e f	3	サ シ ス セ ソ
タ GHI 4	G H I	g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ
ナ JKL 5	J K L	j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ
ハ MNO 6	M N O	m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ
マ PQRS 7	P Q R S	p q r s	7	マ ミ ム メ モ
ヤ TUV 8	T U V	t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
ラ WXYZ 9	W X Y Z	w x y z	9	ラ リ ル レ ロ
ワヲン 記号 0	空白（スペース） . , ' /	空白（スペース） . , ' /	0 空白（スペース） ! " # $ % & ' ( ) * + , – . / : ; < = > ? @ _ `	ワ ヲ ン ゛ ゜ ー 空白（スペース）

本体での入力のしかた

文字入力を終了する場合は、システムメニューボタンを押します。

1. **⇧⇩ を押して、入力する文字を選びます**



入力できる文字の種類



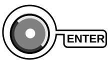
ＭＤのディスクネームにて、"N" を入力したときの例


DISP/CHARA

文字の種類をかえる場合はシステム表示 / 文字ボタンを押します

A-Z（大文字）[A] → a-z（小文字）[a] → 数字、記号 [0] → カタカナ [ア] → A-Z（大文字）[A]

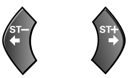
2. **決定ボタンを押して決定します**



手順１と２を繰り返して、すべての文字を入力します

文字を挿入するには

1. **文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を挿入する文字位置まで移動させます**



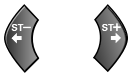
2. **挿入する文字を入力します**

3. **決定ボタンを押します**



文字を削除するには

1. **文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を削除する文字位置まで移動させます**



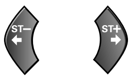
2. **クリアボタンを押します**



文字が削除されます。

文字を変更するには

1. **文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を変更する文字位置まで移動させます**



2. **新しく文字を入力します**

3. **⇨ を押します**



曲を 2 つに分ける（デバイド機能）

録音後に 1 つの曲を 2 つに分けます。これにより、新たに頭出しのための曲番号を記録することができます。
この編集をすると、以下のようにメモリースティックの内容が変更されます。

- 分けた曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。
- 分ける曲に曲名がついていた場合は、両方に同じ名前がつきます。

例）　3 曲目を 2 つに分ける場合

1.



再生中に曲を分ける位置で MS ボタンを押します

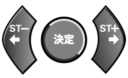
再生が一時停止します。

2.



システムメニューボタンを押します

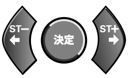
3.



⇦ ⇨ で "MS MENU" を選んでから、決定ボタンを押します

MS　MENU

4.



⇦ ⇨ で "DIVIDE" を選んでから、決定ボタンを押します

DIVIDE

5.



もう一度、決定ボタンを押します

TRACK　　3?

"？"が消えて、デバイド機能を実行します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 1枚のメモリースティックで最大400曲 になるまで曲を分けることができます。
▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

注 意

◆ 次の場合は、デバイド機能を行うことはできません。
- ・プログラム再生が設定されているとき（71 ページ）
- ・ランダム再生が設定されているとき（70 ページ）
- ・チェックアウトされた曲（168 ページ）
- ・一時停止中以外のとき

◆ リピート再生が設定されている場合、リピート設定は解除されます。（70 ページ）

連続している2つの曲をつなぐ（コンバイン機能）

連続したとなり同士の曲をつないで、1曲にまとめます。
この編集をすると、以下のようにメモリースティックの内容が変更されます。

- つないだ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。
- つなぐ曲に曲名がついている場合は、前の曲の曲名がつきます。

例） 4曲目と5曲目をつなぐ場合

1.



停止中に |◀◀ ▶▶| ボタンで、つなぐ曲の曲番号が大きい曲を選びます

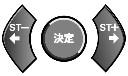
例の場合は、5曲目を選びます。

2.



システムメニューボタンを押します

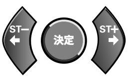
3.



⇦ ⇨ で"MS MENU"を選んでから、決定ボタンを押します

MS MENU

4.



⇦ ⇨ で"COMBINE"を選んでから、決定ボタンを押します

COMBINE

5.



もう一度、決定ボタンを押します

TRK 4+ 5?

コンバイン機能を実行します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メモ

▼ 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能（100ページ参照）で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。

注意

◆ デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなぐことができません。
◆ 違うビットレートで録音した曲同士は、つなぐことができません。
◆ 次の場合、コンバイン機能を行うことはできません。
- ・プログラム再生が設定されているとき（71ページ）
- ・チェックアウトされた曲（168ページ）
- ・停止中以外のとき
（ただし曲が選ばれていないときや、選ばれている曲が1曲目のときは、コンバイン機能を行うことはできません。）

曲を移動する（ムーブ機能）

あるひとつの曲を好きな位置に移動して、曲順をかえることができます。

例）　8 曲目を 6 曲目に移動する場合

1. 停止中に |◀◀ ▶▶| ボタンで、移動したい曲を選びます

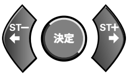


例の場合は、8 曲目を選びます。

2. システムメニューボタンを押します

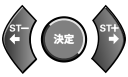


3. ⇦ ⇨ で "MS MENU" を選んでから、決定ボタンを押します



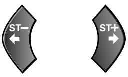
MS　MENU

4. ⇦ ⇨ で "MOVE" を選んでから、決定ボタンを押します



MOVE

5. ⇦ ⇨ を押して、移動先の曲番号を選びます



例の場合は、6 を選びます。

TRK　　8⇨　1?

6. 決定ボタンを押します



TRK　　8⇨　6?

"？"が消えて、ムーブ機能を実行します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

注 意

◆ 次の場合、ムーブ機能を行うことはできません。
- ・プログラム再生が設定されているとき（71 ページ参照）
- ・停止中以外のとき
（ただし曲が選ばれていないときは、ムーブ機能を行うことはできません。）

1 曲だけ消す（トラックイレース機能）

選択した一つの曲とその曲の名前を消します。消した曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

例） 6 曲目を消去する場合

1. **停止中に |◀◀ ▶▶| ボタンで、消したい曲を選びます**

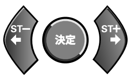


例の場合は、6 曲目を選びます。

2. **システムメニューボタンを押します**

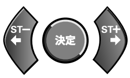


3. **⇦ ⇨ で "MS MENU" を選んでから、決定ボタンを押します**



MS MENU

4. **⇦ ⇨ で "TRACK ERASE " を選んでから、決定ボタンを押します**



TRACK ERASE

5. **もう一度、決定ボタンを押します**



TRACK 6?

" ? "が消えて、選んだ曲を消します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

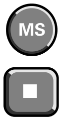
注 意

◆ 次の場合､トラックイレース機能を行うことはできません。
- プログラム再生が設定されているとき（71 ページ参照）
- 停止中以外のとき（ただし曲が選ばれていないときは、トラックイレース機能を行うことはできません。）

すべての曲を消す（オールイレース機能）

メモリースティック内のすべての曲を消すことができます。

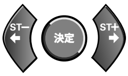
1. **MS ボタンを押してから、■ ボタンを押します**



2. **システムメニューボタンを押します**

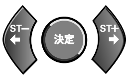


3. **⇦ ⇨ で "MS MENU" を選んでから、決定ボタンを押します**



MS　MENU

4. **⇦ ⇨ で "ALL ERASE " を選んでから、決定ボタンを押します**



ALL　ERASE

5. **もう一度、決定ボタンを押します**



OK?

"？"が消えて、すべての曲を消去します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。
また操作終了後は、"NO AUDIO" と表示されます。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

注 意

◆ 次の場合、オールイレース機能を行うことはできません。
- プログラム再生が設定されているとき（71 ページ参照）
- 停止中以外のとき（ただし曲が選ばれているときは、オールイレース機能を行うことはできません。）

メモリースティックのすべてのデータを消す（フォーマット機能）

メモリースティック中にあるすべてのデータを消すことができます。この場合は、アルバム名も消えます。

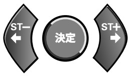
1. **MS ボタンを押してから、停止(■)ボタンを押します**



2. **システムメニューボタンを押します**

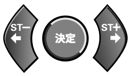


3. **⇦ ⇨ で "MS MENU" を選んでから、決定ボタンを押します**



MS MENU

4. **⇦ ⇨ で "FORMAT" を選んでから、決定ボタンを押します**



FORMAT

5. **もう一度、決定ボタンを押します**



OK?

"？"が消えて、メモリースティック内にあるすべてのデータを消去します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。
また操作終了後は、"NO AUDIO" と "NO NAME" が表示されます。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

注意

◆ 次の場合、フォーマット機能を行うことはできません。
- プログラム再生が設定されているとき（71 ページ参照）
- 停止中以外のとき

◆ リピート再生が設定されている場合、リピート設定は解除されます。（70 ページ参照）

メモリースティックの情報を見る

停止中に、メモリースティックの情報を見るには



停止中に、システム表示 / 文字ボタンを押します

押すごとに表示内容が切りかわります。

● 曲番の指定がないとき(■ボタンを押した状態)

アルバム名 * (HIT SONGS)
メモリースティックの全曲数(16)/ 総再生時間 (61'34")

```
HIT SONGS
      16    61 : 34
```

アルバム名 * (HIT SONGS)
録音可能時間 **（42'07"）

```
HIT SONGS
    REC    42: 07
```

● 停止中に⏮ ⏭ ボタンを押すと、以下の表示になります。

曲名表示 *（TOMORROW）
選んだ曲の曲番号 (8)/ 再生時間 (3'01")

```
TOMORROW
          8    3: 01
```

再生中に、メモリースティックの情報を見るには



再生中に、システム表示 / 文字ボタンを押します

押すごとに表示内容が切りかわります。

曲名表示 *（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/ 曲の再生経過時間 (0'48")

```
TOMORROW
          8    0: 48
```

曲名表示 *（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/ 曲の残り時間 (2'13")

```
TOMORROW
          8    2: 13
```

曲名表示 *（TOMORROW）
メモリースティックの全残り時間 (28'59")

```
TOMORROW
        ALL   28:59
```

メ モ

▼ 録音中にシステム表示 / 文字ボタンを押すと、表示内容が切りかわりますが、録音しているファンクションによって表示内容は異なります。

* アルバム名や曲名が入力されていない場合は、"NO NAME" と表示されます。

ＭＤの編集機能について

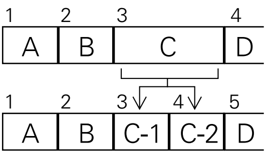
曲順を変えたり、１曲を２曲に分けるなどの編集をして、自分だけのオリジナルディスクづくりができます。ただし、誤消去防止つまみが開いたＭＤ（159ページ）では編集機能は使うことはできません。編集機能を使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。
編集機能には次のようなものがあります。

ディスクや曲、グループに名前を付ける（ネーム機能） − 106〜107ページ

録音した曲に曲名、録音したディスクにディスク名、登録したグループにグループ名を付けることができます。
ディスクに名前を付ける機能をディスクネーム機能、曲に名前を付ける機能をトラックネーム機能、グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
カタカナ、アルファベット（A〜Z、a〜z）数字、記号を使用できます。
曲名は１曲につき、100文字まで入力できます。ディスク名と曲名、グループ名を合わせて、１枚のディスクに約1700文字まで入力することができます。
（ただしカタカナを入力すると、入力できる文字数は半分以下となります。）

１つの曲を２つの曲に分ける（デバイド機能） − 108ページ

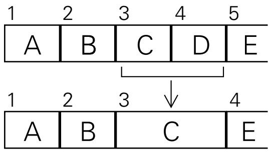
１曲を途中から２つの曲に分けます。分けた曲以降の曲番は自動的に付けかえられます。



Cを２つに分けて新しくC-1、C-2の２曲にした例

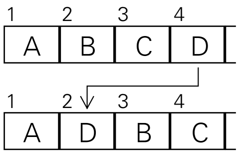
連続している２つの曲をつないで１つの曲にする（コンバイン機能） − 109ページ

C、Dの２曲を１曲にして新しくCとします。つないだ曲以降の曲番は、自動的に付けかえられます。



曲を移動する(ムーブ機能)− 110ページ

ある曲を好きな位置に移動して曲順をかえることができます。並べ変えた後の曲番は自動的に付けかえられます。



４曲目のＤを２曲目に移動する例

１曲だけ消す（トラックイレース機能） − 111ページ

消したい曲を指定するだけで、１曲をまるごと消すことができます。消した曲は曲名ごと消えます。また、消した曲以降の曲番は自動的に付けかえられます。

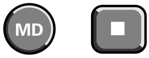
ディスクの全曲を消す（オールイレース機能） − 112ページ

一度にディスク中の全曲を消すことができます。この場合は、ディスク名も消えます。

ディスクや曲、グループに名前をつける（ネーム機能）

ディスクに名前をつけるには

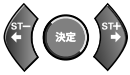
1. **MD ボタンを押してから、■ ボタンを押します**



2. **システムメニューボタンを押します**

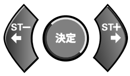


3. **⇦ ⇨ で "MD MENU" を選んでから、決定ボタンを押します**



MD MENU

4. **⇦ ⇨ で " DISC NAME" を選んでから、決定ボタンを押します**



DISC NAME

5. **文字を入力して、ディスクに名前をつけます**

文字の入力は、96～97 ページを参照してください。
入力できる文字数については、105 ページを参照してください。

6. **システムメニューボタンを押して終了します**



途中で文字の入力を止める場合は、■ ボタンを押します。

曲に名前をつけるには

1. **⏮ ⏭ ボタンで名前をつけたい曲を選びます**

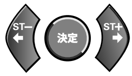


再生中または録音中でも名前をつけることができます。

2. **システムメニューボタンを押します**

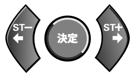


3. **⇦ ⇨ で "MD MENU" を選んでから、決定ボタンを押します**



MD MENU

4. **⇦ ⇨ で " TRACK NAME" を選んでから、決定ボタンを押します**



TRACK NAME

"TRACK NAME" が表示されないときは、手順1から操作し直してください。

5. **文字を入力して、曲に名前をつけます**

文字の入力は、96～97 ページを参照してください。
入力できる文字数については、105 ページを参照してください。

6. **システムメニューボタンを押して終了します**



途中で文字の入力を止める場合は、■ ボタンを押します。

グループに名前をつけるには

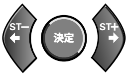
1. 

■ボタンを押してから116ページを参照して、名前をつけたいグループを選びます

ただし、再生中または、録音中に名前をつけることはできません。

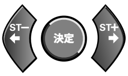
2. 

システムメニューボタンを押します

3. 

⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します

MD MENU

4. 

⇦ ⇨ で" GROUP NAME"を選んでから、決定ボタンを押します

GROUP NAME

5.

文字を入力して、グループに名前をつけます

文字の入力は、96～97ページを参照してください。
入力できる文字数については、105ページを参照してください。

6. 

システムメニューボタンを押して終了します

途中で文字の入力を止める場合は、■ボタンを押します。

メ モ

▼ 再生中または録音中に曲に名前を入力してい途中で次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効です。再生または録音が終ってからつづきを入力してください。

注 意

◆ 誤消去防止つまみが開いている MD には、ディスクや曲、グループに名前をつけることはできません。

ネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）：

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ.,'/
□（空白）

アルファベット（小文字）：

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz.,'/
□（空白）

数字、記号：

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! ” # $ % & ’ ( )
＊ + , ー . / : ; < = > ? @ _ ` □（空白）

カタカナ：

アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリ
ルレロワヲンァィゥェォャュョッ゛ ゜ ー□
（空白）

曲を 2 つに分ける（デバイド機能）

録音後に 1 つの曲を 2 つに分けます。これにより、新たに頭出しのための曲番号を記録することができます。
この編集をすると、以下のようにディスクの内容が変更されます。

- 分けた曲以降の曲番号は､自動的に新しい曲番号に変更されます。
- 分ける曲に曲名がついていた場合は､前の曲に名前がつきます。

例） 3 曲目を 2 つに分ける場合

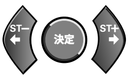
1. 

再生中に曲を分ける位置で MD ボタンを押します

再生が一時停止します。

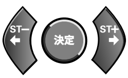
2. 

システムメニューボタンを押します

3. 

⇦ ⇨ で "MD MENU" を選んでから、決定ボタンを押します

MD MENU

4. 

⇦ ⇨ で "DIVIDE" を選んでから、決定ボタンを押します

DIVIDE

5. 

もう一度、決定ボタンを押します

TRACK 3?

デバイド機能を実行します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。
▼ 1 枚の MD で最大 254 曲まで曲を分けることができますが、MD の状態によってはそれ以下になる場合もあります。（163 ページ）

注 意

◆ 次の場合はデバイドの操作はできません。
・プログラム再生が設定されているとき（75 ページ）
・ランダム再生が設定されているとき（74 ページ）
◆ LP4モードで長時間録音した曲を分けると、分けた部分でノイズが発生する場合があります。

連続している2つの曲をつなぐ（コンバイン機能）

連続したとなり同士の曲をつないで、1曲にまとめます。
この編集をすると、以下のようにディスクの内容が変更されます。

- つなぐ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。
- つなぐ曲に曲名がついている場合は、前の曲の曲名がつきます。

例）　4曲目と5曲目をつなぐ場合

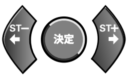
1. 

つなぐ曲の曲番号が大きい曲の再生中に、MDボタンを押します

再生が一時停止します。
例の場合は、5曲目で再生一時停止させます。
MD停止中に⏮ ⏭ボタンで曲番号を選んでから操作することもできます。

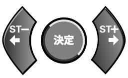
2. 

システムメニューボタンを押します

3. 

⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します

MD　MENU

4. 

⇦ ⇨ で"COMBINE"を選んでから、決定ボタンを押します

COMBINE

5. 

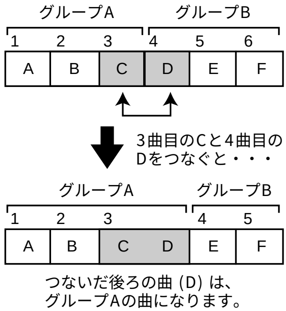
もう一度、決定ボタンを押します

TRK　　4+　5?

コンバイン機能を実行します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。
▼ 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能（110ページ）で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。
▼ グループ登録されているディスクで、グループをまたいで曲をつないだ場合、つないだ後ろの曲は前の曲のグループに登録されます。



注 意

◆ デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなぐことができません。
◆ 違う録音モードで録音した曲同士は、つなぐことができません。
◆ 各録音モードで、ある一定の秒数以下の短い曲は、つながらないことがあります。
・通常のステレオ録音 8秒以下
・モノラル録音またはLP2録音 ... 16秒以下
・LP4録音 32秒以下
◆ 次の場合、コンバインの操作はできません。
・プログラム再生が設定されているとき（75ページ）
・ランダム再生が設定されているとき（74ページ）

曲を移動する（ムーブ機能）

あるひとつの曲を好きな位置に移動して、曲順をかえることができます。

例）　8 曲目を 6 曲目に移動する場合

1. 移動したい曲が再生中に、MD ボタンを押します

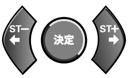


再生が一時停止します。
例の場合は、8 曲目を再生中に M D ボタンを押して再生一時停止にします。
M D 停止中に |◀◀ ▶▶| ボタンで移動したい曲の曲番号を選んでから操作することもできます。

2. システムメニューボタンを押します

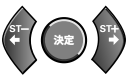


3. ⇦ ⇨ で "MD MENU" を選んでから、決定ボタンを押します



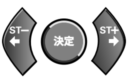
MD　MENU

4. ⇦ ⇨ で "MOVE" を選んでから、決定ボタンを押します



MOVE

5. ⇦ ⇨ で移動先の曲番号を選んでから、決定ボタンを押します



例の場合は、6 を選びます。

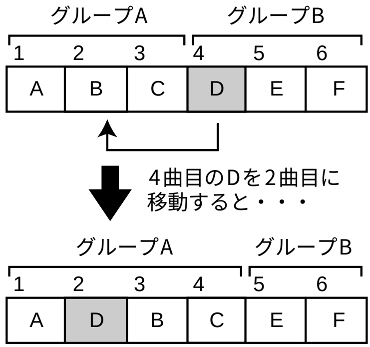
TRK　8⇨　6?

ムーブ機能を実行します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

▼ グループ登録しているディスクの場合、移動した曲は移動先の曲のグループとなります。例えば、グループ B に登録されている曲をグループ A の範囲の曲番号に移動すると、その曲はグループ A の曲になります。



Dはグループ Aの曲になります。

注 意

◆ 次の場合、ムーブの操作はできません。
- プログラム再生が設定されているとき（75 ページ）
- ランダム再生が設定されているとき（74 ページ）

1 曲だけ消す（トラックイレース機能）

選択した一つの曲とその曲の名前を消します。消した曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

例）　6 曲目を消去する場合

1. **消したい曲の再生中に、MD ボタンを押します**

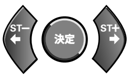


再生が一時停止します。
MD 停止中に ⏮ ⏭ ボタンで移動したい曲の曲番号を選んでから操作することもできます。

2. **システムメニューボタンを押します**

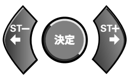


3. **⇦ ⇨ で "MD MENU" を選んでから、決定ボタンを押します**



MD MENU

4. **⇦ ⇨ で "TRACK ERASE " を選んでから、決定ボタンを押します**



TRACK ERASE

5. **もう一度、決定ボタンを押します**



TRACK 6?

選んだ曲を消します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

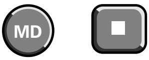
注 意

◆ 次の場合、トラックイレースの操作はできません。
- ・プログラム再生が設定されているとき （75 ページ）
- ・ランダム再生が設定されているとき （74 ページ）

すべての曲を消す（オールイレース機能）

ディスクの全曲を消します。
ディスク名や曲名、グループ名も、すべて消えてしまいます。

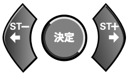
1. **MD ボタンを押してから、■ボタンを押します**



2. **システムメニューボタンを押します**

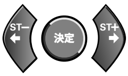


3. **⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します**



MD MENU

4. **⇦ ⇨ で"ALL ERASE "を選んでから、決定ボタンを押します**



ALL ERASE

5. **もう一度、決定ボタンを押します**



OK?

すべての曲とディスクネームが消えます。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

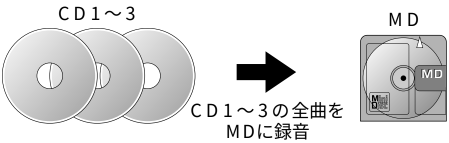
注 意

◆ 次の場合はオールイレースの操作はできません。
- ・プログラム再生が設定されているとき（75 ページ）
- ・ランダム再生が設定されているとき（74 ページ）

ＭＤのグループ機能について

グループ機能とは

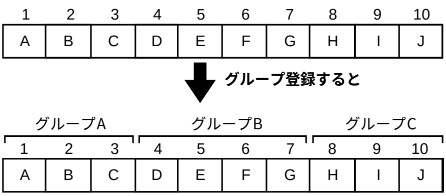
長時間録音モード（LP2またはLP4モード）で録音すると、複数のCDを１枚のMDに録音できたり、１００曲以上録音できたりして便利です。



しかし・・・
「録音した３枚目のCDはMDの何曲目からなの？」というように曲を見つけるのが大変です。
そこで・・・
本機では、MDに収録されている曲をグループ機能を使って簡単に操作できます。

グループディスクを作成する（グループ登録）－ 115ページ

● グループを登録する
ＭＤディスクに収録されている複数の曲をグループとして登録したディスク（グループディスク）を作成します。なお、本機でMD1枚に登録できるグループ数は、最大９９個です。

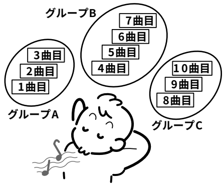


一度グループ登録したあとでも、以下の編集ができます。

- グループを変更する（116ページ）
- 登録したグループを一部解除する（117ページ）
- 登録したグループをすべて解除する（117ページ）

聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）－ 118ページ

指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。



グループA ➡ グループB ➡ グループC の先頭曲（1曲目 ➡ 4曲目 ➡ 8曲目）というように、各グループの先頭曲の頭出しが簡単に行えます。

選択したグループだけ再生するよう設定する（グループ再生機能）－119ページ

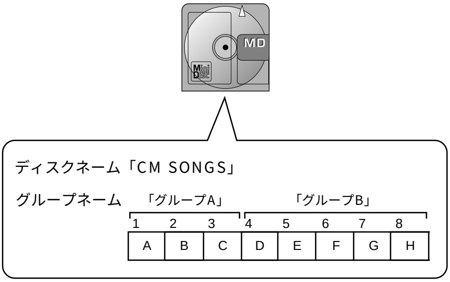
グループ登録されているMDにおいて、ディスク全体の再生を行なうオールトラックプレイモードと、選択したグループの再生だけを行なうグループプレイモードとに切りかえることができます。

グループに名前を付ける（グループネーム機能）－ 107ページ

登録したグループにグループ名を付けることができます。
グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
入力できる文字の種類は、107ページを参照してください。最大文字数は、１枚のディスクには約1700文字まで（ディスク名、曲名、グループ名を合わせて）入力することができます。
（ただしカタカナを入力すると､入力できる文字数は半分以下となります。）

グループ登録した MD ディスクについて

グループ機能はＭＤ規格の推奨方法にもとづいています。
本機でグループ編集したＭＤディスクは、ほかのグループ機能搭載機器でもグループ編集ができます。



上図のようなグループ登録したＭＤディスクのグループ情報は、実際はディスクネームの情報を格納する場所に書かれています。
そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスクネームを表示させると、以下のまま表示されますが故障ではありません。

0; CM SONGS ／／ 1 － 3; グループ A ／／ 4 － 8; グループ B

グループディスクをグループ機能を搭載していない機器で編集を行った場合

グループ登録したグループディスクを、グループ機能を搭載していない機器で編集しないでください。
例えば、ムーブ機能やトラックイレース機能の編集を行うと、グループとして登録していた曲番号が編集前と異なってしまいます。

本機のグループ機能の制限

パイオニア製以外の機器でグループ登録されたＭＤディスクのなかには、グループネームはあるのに、曲番号の範囲が無いグループもあります。その場合、本機ではグループとして認識されません。これらのグループは以下の編集をすると消去されますのでご注意ください。

- ＭＤの編集（１０８～１１２ページの操作）
- グループの登録、変更、解除（１１５～１１７ページの操作）

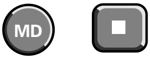
グループディスクを作成する（グループ登録）

MDに収録されている複数の曲をグループ登録します。ただしグループ登録は、曲番号が1～3のように連続している曲でしか行なうことはできません。
曲番号が離れている場合は、ムーブ機能（110ページ）を使用して、あらかじめ連続した曲番号になるようにしておきます。
1枚のMDディスクに登録できるグループは、最大で99個です。

グループを登録する

例）12～15曲目を新しいグループに設定します。

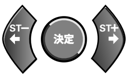
1. **MDボタンを押し、停止(■)ボタンを押します**



2. **システムメニューボタンを押します**

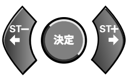


3. **⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します**



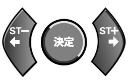
MD　MENU

4. **⇦ ⇨ で"NEW GROUP"を選んでから、決定ボタンを押します**



NEW　GROUP

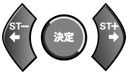
5. **⇦ ⇨ でグループの先頭曲を選んでから、決定ボタンを押します**



文字/数字ボタンでダイレクトに曲を選ぶこともできます。

TRK　12−　1?

6. **⇦ ⇨ でグループの最終曲を選んでから、決定ボタンを押します**



文字/数字ボタンでダイレクトに曲を選ぶこともできます。

TRK　12−　15?

12～15曲目が新しいグループに登録されました。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ **「CDをまるごとMDに録音しましょう」**（42ページ）、**「メモリースティックの全曲をMDに録音する」**（82ページ）の手順で録音すると、CDやメモリースティックの一枚ごとに自動でグループ登録されます。

注 意

◆ 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。例えば、1～3曲目をグループAに3～5曲目をグループBにというように3曲目を2つのグループに登録することはできません。
◆ 曲を飛び越えてグループ登録することはできません。例えば1、3、5曲目というような飛び飛びの曲番号を1つのグループとして登録することはできません。
◆ すでに登録されているグループと登録しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合、登録することはできません。
◆ 本機でグループ登録したMDディスクでも、グループ機能のないMDプレーヤーではグループ再生をすることはできません。またその場合、ディスクネームに入力していない文字列が表示されます。これは、グループ登録した情報をディスクネームで管理しているためで、MDプレーヤーの故障ではありません。
◆ グループプレイ（119ページ）が設定されているときは、グループ登録をすることはできません。

グループディスクを変更する

グループを変更する

例）12～15曲目のグループを10～13曲目に変更します。

1.



MDの停止中にグループサーチボタンを押して変更するグループの先頭曲を選びます

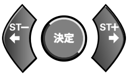
118ページを参照してください。

2.



システムメニューボタンを押します

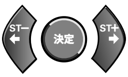
3.



⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します

MD MENU

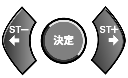
4.



⇦ ⇨ で"GROUP EDIT"を選んでから、決定ボタンを押します

GROUP EDIT

5.

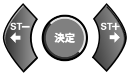


⇦ ⇨ でグループの先頭曲を選んでから、決定ボタンを押します

リモコンの数字ボタンでダイレクトに選ぶこともできます。

TRK 10– 15?

6.



⇦ ⇨ で押して、グループの最終曲を選んでから、決定ボタンを押します

リモコンの数字ボタンでダイレクトに選ぶこともできます。

TRK 10– 13?

グループ変更が実行されました。"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 1つの曲を複数のグループに登録できません。

注 意

◆ すでに登録されているグループと、変更しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合は、変更ができません。

◆ グループプレイモード（119ページ参照）が設定されているときは、変更することはできません。

登録したグループを解除する

1. **MD の停止中にグループサーチボタンを押して解除するグループの先頭曲を選びます**

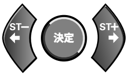


118 ページを参照してください。

2. **システムメニューボタンを押します**

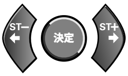


3. **⇦ ⇨ で "MD MENU" を選んでから、決定ボタンを押します**



MD　MENU

4. **⇦ ⇨ で "GROUP CANCEL" を選んでから、決定ボタンを押します**



GROUP　CANCEL

5. **もう一度、決定ボタンを押します**



TRK　　12－　15?

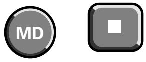
グループ解除が実行されました。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

注 意

◆ グループプレイ（119 ページ）が設定されいるときは、グループ解除をすることはできません。

登録したグループをすべて解除する

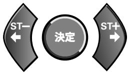
1. **MD ボタンを押し、■ ボタンを押します**



2. **システムメニューボタンを押します**

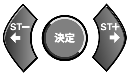


3. **⇦ ⇨ で "MD MENU" を選んでから、決定ボタンを押します**



MD　MENU

4. **⇦ ⇨ で "GROUP CANCEL" を選んでから、決定ボタンを押します**



GROUP　CANCEL

5. **もう一度、決定ボタンを押します**



ALL?

すべてのグループの解除が実行されました。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）

グループ登録されているMDの場合、指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。
グループ登録されていない場合は、115ページを参照してグループ登録をしてください。

次のグループに進むには･･･

1. **グループ登録されたMDをセットします**

2. **グループサーチボタンの＋を押します**

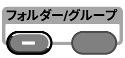


一回押すと次のグループに進み、押した回数だけグループをスキップします。
⇧でも同様に操作できます。

前のグループに戻るには･･･

1. **グループ登録されたMDをセットします**

2. **グループサーチボタンの－を押します**



一回押すと、前のグループの始めに戻ります。
⇩でも同様に操作できます。

注 意

◆ プログラム再生が設定されている場合は、グループを選ぶことはできません。
◆ グループに名前が入力されていない場合は、"NO NAME"と表示されます。

選択したグループだけ再生するように設定する(グループ再生機能)

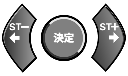
グループ登録されているMDにおいて、選択したグループだけを再生するよう、次の2つの再生モードが設定できます。

- グループプレイ
  グループサーチ機能(118ページ)で選択したグループ内の曲だけ再生します。
- オールトラックプレイ
  グループに関係なく、ディスク全体の再生を行ないます。

1. **MDの停止中にシステムメニューボタンを押します**

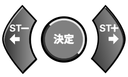


2. **⇦⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します**



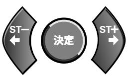
MD　MENU

3. **⇦⇨ で"PLAY AREA"を選んでから、決定ボタンを押します**



PLAY　AREA

4. **⇦⇨ でオールトラックプレイかグループプレイかを選んでから、決定ボタンを押します**



- グループプレイ

GROUP

- オールトラックプレイ

ALL

グループプレイを設定した場合は、"**GROUP**"が点灯します。

メモ

▼ お買い上げ時は、オールトラックプレイが設定されています。
▼ 再生モードがグループプレイのときに全曲リピート再生を設定すると、繰り返し再生される曲は、選択されているグループ内の全曲です。
▼ 再生モードがグループプレイのときにランダム再生を設定すると、無作為に再生される曲は、選択されているグループ内の全曲です。

注意

◆ グループプレイに設定されていると、MDの編集作業(108～112ページ)、グループディスクの編集/作成(115～117ページ)はできません。グループ再生の設定を解除してから操作をしてください。

ＭＤのディスク情報を見る

停止中、本体表示部にてＭＤのディスク情報を見るには



停止中に、システム表示 / 文字ボタンを押します

押すごとに表示内容が切りかわります。

- オールプレイモードで、曲番の指定がないとき（■ボタンを押した状態）

ディスク名 * (HIT SONGS)
ディスクの全曲数(16)/ 総再生時間(61'34")

```
HIT SONGS
      16    61:34
```

ディスク名 * (HIT SONGS)
録音可能時間 **（42'07")

```
HIT SONGS
    REC    42:07
```

- グループプレイモードで、曲番の指定がないとき（■ボタンを押した状態）

グループの先頭曲－最終曲(24-35)
選択しているグループ内の全曲数 (12)/ 選択しているグループの総再生時間 (20'56")

```
GROUP  24– 35
      12   20:56
```

グループ名 * (ALBUM BEST)
グループの先頭曲－最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GROUP  24– 35
```

グループ名 * (ALBUM BEST)
録音可能時間 **（22'26")

```
ALBUM  BEST
    REC    22:26
```

- 停止中に⏮ ⏭ ボタンを押すと、以下の表示になります。

曲名表示 *（TOMORROW）
選んだ曲の曲番号 (8)/ 再生時間 (3'01")

```
TOMORROW
         8    3:01
```

選んだ曲がグループ登録されている場合
グループ名 * (ALBUM BEST)
グループの先頭曲－最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GROUP  24– 35
```

再生中、本体表示部にて MD のディスク情報を見るには



再生中に、システム表示 / 文字ボタンを押します

押すごとに表示内容が切りかわります。

曲名表示 *（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/ 曲の再生経過時間 (0'48")

```
TOMORROW
        8   0:48
```

曲名表示 *（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/ 曲の残り時間 (2'13")

```
TOMORROW
        8   2:13
```

選んだ曲がグループ登録されている場合
グループ名 * (ALBUM BEST)
グループの先頭曲ー最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GROUP  24– 35
```

メ モ

▼ 録音中にシステム表示 / 文字ボタンを押すと、表示内容が切りかわりますが、録音しているファンクションによって表示内容は異なります。

注 意

◆ 停止中の表示で曲番号を指定した場合は、その曲がグループ登録されていないと画面表示ボタンを押しても表示は切りかわりません。

* ディスク名や曲名、グループ名が入力されていない場合は、"NO NAME"と表示されます。

** 再生専用の MD の場合は表示されません。

臨場感のある立体音場を再現する（バーチャルサラウンド）

本機のような左右のフロントスピーカーだけで、臨場感のある立体音場を楽しむときに使用します。
はじめに **DVD/CD ボタン**を押してから、以下の操作をしてください。



リモコンのサラウンドボタンを押します

押すごとに、バーチャルサラウンドの[□□V/TruSurround]と、[オフ]とが切りかわります。

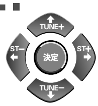
応用編

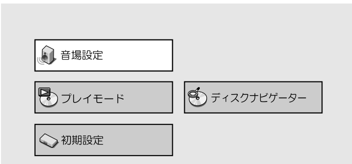
設定画面で切りかえるには

1. **DVD 設定ボタンを押して、設定画面を表示させます**

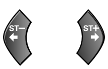


2. **[音場設定]を選んでから、決定ボタンを押します**





3. **⇦ ⇨ で[バーチャルサラウンド]の[□□V/TruSurround]、または[オフ]を選択します**





オフ
働きません(お買い上げ時の設定)。
□□V/TruSurround
立体音場(サラウンド)になります。

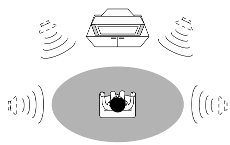
4. **決定ボタンを押します**



メ モ

▼ TruSurround*とバーチャルドルビーデジタルについて
バーチャルサラウンドをオンにすると、2本のスピーカーのみで臨場感のあるサラウンド効果を楽しむことができます。特にドルビーデジタル音声を再生しているときは、SRS社のTruSurround技術によるバーチャルドルビーデジタルが働き、より広がりのある立体音場(3D サラウンド)が再現されます。
▼ バーチャルサラウンド機能は、MP3やMD、メモリースティックの再生音、またはラジオ放送や外部入力の音声には効果がありません。
▼ ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。
▼ バーチャルサラウンドをオンに設定していると、聞こえている効果音のままMDに録音されます。

* *TruSurround と(●)®記号は SRS Labs,Inc. の商標です。TruSurround 技術は SRS Labs,Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。*



TruSurround™ by SRS(●)®

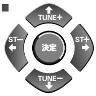
音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整する

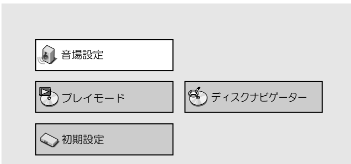
オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、映画の台詞などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。
はじめに **DVD/CD ボタン**を押してから、以下の操作をしてください。

1. DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます

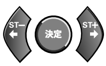


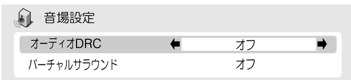
2. [音場設定]を選んでから、決定ボタンを押します





3. ⇦ ⇨ で[オーディオ DRC]の圧縮率を選んでから、決定ボタンを押します





オフ
ダイナミックレンジを圧縮せずに、ソフトに収録されたまま再生します。

マックス
ダイナミックレンジを最も圧縮します。

ミディアム
ダイナミックレンジを少し圧縮します。

メモ

▼ オーディオDRCは、ドルビーデジタル音声だけに働きます。
▼ ディスクによっては効果の少ないものがあります。
▼ オーディオDRCはデジタル音声出力端子から出力される音声にも効果があります。
この場合は、**[DD Digital 出力]**を**[DD Digital > PCM]**(132ページ)に設定してください。
▼ オーディオDRCの効果は、音量設定などによっても変わります。実際に設定を切りかえながら、一番効果的な設定を選択してください。

注意

◆ マナーモード（125ページ）がオンに設定されていると、操作をすることはできません。
◆ ラジオ放送や外部入力の音声には効果がありません。

応用編

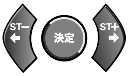
音質を変えて再生する

音楽ライブが収録されたDVDや映画が収録されているDVDなど､収録されている内容によって音質を変え、よりよいサウンドを楽しむことができます。
お買い上げ時は、"**POP**"が設定されています。

1. **サウンドボタンを押します**

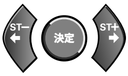


2. **⇦⇨で"SFC MODE"を選んでから、決定ボタンを押します**



SFC　MODE

3. **⇦⇨でお好きな音質を選んでから、決定ボタンを押します**



- 低音、高音を強調したメリハリのある音質

POP

- 中音を強調した音質

VOCAL

- 広がり感のある音質

LIVE

- 音の迫力が増して、セリフが明瞭になる音質

THEATER

- 通常の音質

FLAT

注 意

◆ FLAT以外の音質を設定すると、表示部に"SOUND"が点灯します。
また、125ページにて設定されていた低音や高音の設定は強制的に0になり、マナーモードもオフになります。

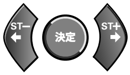
高音と低音を調整する

再生する曲の高音（TREBLE）と低音（BASS）の音質を、それぞれ調整することができます。

1. **サウンドボタンを押します**

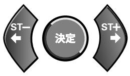


2. **⇦ ⇨ で"TONE"を選んでから、決定ボタンを押します**



TONE

3. **⇦ ⇨ で"BASS"か"TREBLE"を選んでから、決定ボタンを押します**



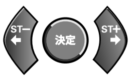
- 低音の音質を調整します

BASS

- 高音の音質を調整します

TREBLE

4. **⇦ ⇨ で音質のレベルを調整してから、決定ボタンを押します**



調整範囲は、± 5 までです。

注 意

◆ 高音または低音を調整すると、前ページで選んだ音質の設定は、FLAT になります。

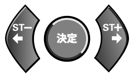
小さい音で他人に迷惑をかけずに音楽を楽しむ（マナーモード）

夜間に音楽を楽しむとき、小音量で再生している場合でも、突然の爆発音などで低音が大きく出ることがあり、隣室などへ音もれといった迷惑をかけることがあります。この機能は、セリフ帯域の音量感をあまり下げることなく、低域と一部高域の音量感をダウンさせることで、隣室などへ音もれといった迷惑を防止するモードです。小音量で他人に迷惑をかけないで、自分の世界を楽しむことができます。

1. **サウンドボタンを押します**

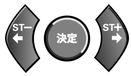


2. **⇦ ⇨ で"MANNER MODE"を選んでから、決定ボタンを押します**



MANNER　MODE

3. **⇦ ⇨ で"ON"または”OFF”選んでから、決定ボタンを押します**



ON

OFF

注 意

◆ マナーモードをオンに設定すると、１２４ページで設定した音質の設定は、FLATになります。
◆ マナーモードをオンに設定すると、接続したサブウーファーからは、音は出力されません。

決めた時刻に再生する（目覚ましタイマー）

本機の時計機能を使うと、毎日同じ時刻に再生を開始して終了させることができます。
例えば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生させることができます。

例）午前7時40分に再生がスタートし、午前8時15分に再生が終わるようにタイマーをセットするとき

応用編

1. 再生させたい機器の準備をします

ラジオ放送で目覚めるには....



FM/AMボタン（本体では、FM/AM/LINE 1/2ボタン）を押してから、好きな放送局を受信します。

CDやMP3で目覚めるには....



ディスクをセットし、DVD/CDボタンを押します。

メモリースティックで目覚めるには....



メモリースティックをセットし、MSボタンを押します。

MDで目覚めるには....



ディスクをセットし、MDボタンを押します。

外部機器で目覚めるには....



LINEボタン（本体では、FM/AM/LINE 1/2ボタン）を押して、LINE1かLINE2を選び、外部機器の準備しておきます。

2. 音量の調整を行ないます

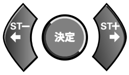
設定した音量でタイマーがオンします。



3. タイマー（時間設定）ボタンを押します

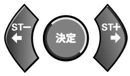


4. ⇦ ⇨ で"WAKE – UP"を選んでから、決定ボタンを押します



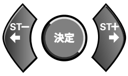
WAKE–UP

5. ⇦ ⇨ で"TIMER EDIT"を選んでから、決定ボタンを押します



TIMER　EDIT

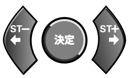
6. ⇦ ⇨ で開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します



例の場合は、"7 am"にします。

ON　7 : 00 am

7. ⇦ ⇨ で開始時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

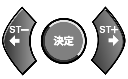


再生開始時刻が設定されます。

例の場合は、"40"にします。

ON　7 : 40 am

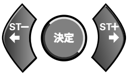
8. ⇦ ⇨ で終了時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します



例の場合は、8 amにします。

OFF　8 : 00 am

9. ⇦ ⇨ で終了時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します



例の場合は、15 にします

OFF　8：15 am

設定内容を表示し、"**TIMER**" と "**WAKE–UP**" が点灯します。

10 ⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします



途中で設定を中止にするには

■ボタンを押します



再度、目覚ましタイマーを設定するときは、はじめから設定し直してください。

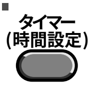
設定を解除 / 再設定するには

例えば週末だけ目覚ましタイマーを解除して、月曜日からは先週と同じ内容で、目覚ましタイマーを再設定することができます。

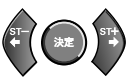
1. ⏻ 電源ボタンを押して、電源をオンにします



2. タイマー（時間設定）ボタンを押します

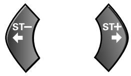


3. ⇦ ⇨ で"WAKE – UP" を選んでから、決定ボタンを押します



WAKE–UP

4. 設定を解除する場合は、⇦ ⇨ で "TIMER OFF" にします



目覚ましタイマーが解除されます。

TIMER　OFF

再設定する場合は、⇦ ⇨ で "TIMER ON" にします

TIMER　ON

5. 決定ボタンを押します



設定内容を確認するには

1. ⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします



2. タイマー（時間設定）ボタンを押します



電源が入り、設定内容を表示します。

メ モ

▼ 再生させたい機器や音量ボリュームなどの設定した内容は、解除しない限り毎日同時刻に実行されます。

注 意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定ができません。（22 ページ参照）
◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示は点滅します。この場合は目覚ましタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためて目覚ましタイマーを設定し直してください。
◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、目覚ましタイマーは動作しません。

決めた時刻に録音する（タイマー録音）

本機の時計機能を使うと、決めた時刻にラジオ放送、または本機に接続した外部機器の録音を開始して終了させることができます。
例えば、お出かけするときや深夜のラジオ放送をタイマー録音を使ってＭＤやメモリースティックに録音することができます。

例）午前７時40分から午前８時15分までタイマー録音する場合

1. 録音する機器の準備をします

メモリースティックに録音するには....

メモリースティック挿入部に、録音可能なメモリースティックをセットします。

MDに録音するには....

録音可能なMDを、本機にセットします。

2. 録音もとの機器の準備をします

ラジオ放送をタイマー録音するには....



FM/AMボタン（本体では、FM/AM/LINE 1/2ボタン）を押してから、録音したい放送局を受信します。

外部機器をタイマー録音するには....

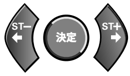


LINEボタン（本体では、FM/AM/LINE 1/2ボタン）を押して、LINE1かLINE2を選び、外部機器の準備しておきます。

3. タイマー（時間設定）ボタンを押します

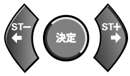


4. ⇦ ⇨ で"TIMER REC"を選んでから、決定ボタンを押します



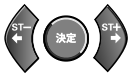


5. ⇦ ⇨ で"TIMER EDIT"を選んでから、決定ボタンを押します

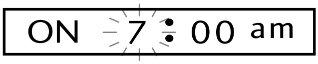




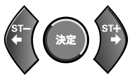
6. ⇦ ⇨ で開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します



例の場合は、"7 am"にします。

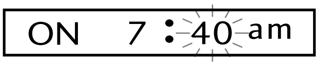


7. ⇦ ⇨ で開始時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

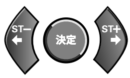


再生開始時刻が設定されます。

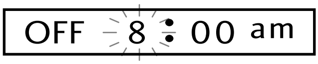
例の場合は、"40"にします。



8. ⇦ ⇨ で終了時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します



例の場合は、8 amにします。



9. ⇦ ⇨ で終了時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、15 にします

OFF　8：15 am

10 ⇦ ⇨ で録音する機器を選んでから、決定ボタンを押します

MDに録音する場合は、"**MD**" を、メモリースティックに録音する場合は、"**MS**" をそれぞれ選びます。
その後、設定内容を表示し、"**TIMER**" と "**REC**" が点灯します。

11 ⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします

電源

途中で設定を中止にするには

■ ボタンを押します

再度タイマー録音を設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定を解除 / 再設定するには

1. ⏻ 電源ボタンを押して、電源をオンにします

電源

2. タイマー（時間設定）ボタンを押します

タイマー
(時間設定)

3. ⇦ ⇨ で "TIMER REC" を選んでから、決定ボタンを押します

TIMER　REC

4. 設定を解除する場合は、⇦ ⇨ で "TIMER OFF" にします

タイマー録音が解除されます。

TIMER　OFF

再設定する場合は、⇦ ⇨ で "TIMER ON" にします

TIMER　ON

5. 決定ボタンを押します

応用編

次ページに続く

設定内容を確認するには

1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします**



2. **タイマー（時間設定）ボタンを押します**



電源が入り、設定内容を表示します。

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4またはLP2モード（44 ページ）に設定すると、より長時間録音できます。

▼ お買い上げ時の録音ビットレートは、132kbps に設定されています。より長く録音したい場合は、73 ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。

注 意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定をすることはできません。（22 ページ）

◆ タイマー録音中は音量はMIN（最小）になり、音は出ません。なお、タイマー録音終了後も音量は MIN（最小）になります。タイマー録音開始後の音声を聞く場合は、音量を調整してください。

◆ タイマー録音は 1 度行うと、設定はオフになります。そのつど設定してください。

◆ タイマー録音では録音準備のため、開始時刻の約 30 秒前に電源が入りますので、1〜10 の手順を開始時刻の1分以上前に行ってください。1分以上前に手順を行わなかった場合、録音ができない場合があります。

◆ タイマー録音動作中の表示の明るさは、"DARK" の設定になります。（146 ページ）

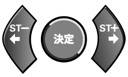
決めた時間後に電源を切る（スリープタイマー）

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら眠ったり、録音したまま外出したりするときに便利です。
設定できる時間は、30 分、60 分、90 分の 3 種類と、スリープオートです。
時計を合わせていないと、スリープタイマーを使用することはできません。

1. **タイマー（時間設定）ボタンを押します**

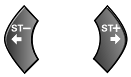


2. **⇦⇨で"SLEEP TIMER"を選んでから、決定ボタンを押します**



SLEEP TIMER

3. **⇦⇨で終了するまでの時間を設定します**



→ AUTO* → OFF → 30分 → 60分 → 90分 → (AUTO)

4. **決定ボタンを押します**



スリープタイマーを設定すると、表示部の "**SLEEP**" が点灯します。

* **スリープオート(SLEEP AUTO)**
CD、MD などのディスクやメモリースティックの再生中、またはMDやメモリースティックの録音中に選ぶことができます。
再生または録音が終了して本機が停止してから約 1 分後に自動的に電源が切れます。

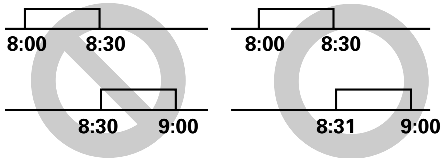
注 意

◆ スリープ動作中の表示の明るさは、"DARK" の設定になります。（146 ページ）
◆ リピート再生中（54ページ）や、ビデオCDのPBC再生中には、スリープオートは動作しません。

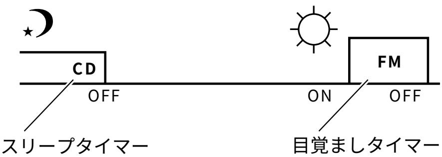
タイマーを同時に使ったとき

目覚ましタイマーとタイマー録音を組み合わせて使う場合、以下の注意が必要です。

◆ 目覚ましタイマーとタイマー録音が連続する設定をするときは、設定時刻が重ならないように設定間隔を1分以上あけてください。設定時間に間隔があいていないと、あとに動作予定のタイマー録音が動作しません。



◆ タイマー録音、目覚ましタイマー、スリープタイマーのタイマー動作が重なったときは、先に動作する方が優先します。
また、開始時刻が重なったときはタイマー録音が優先されます。
◆ スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。
例えば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFMで目覚めるといったことができます。



応用編

デジタル音声出力の設定を変更する

応用編

本機をAVアンプと接続することで、DVDなどの音声をマルチチャンネルサラウンドで楽しむことができるようになります。
使用するAVアンプにあわせて設定してください。
はじめに**DVD/CDボタン**を押してから、以下の操作をしてください。

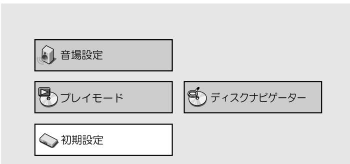
1. DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます



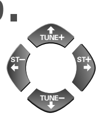
2. [初期設定]を選んでから決定ボタンを押します。

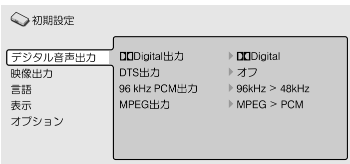


ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。



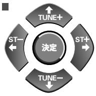
3. [デジタル音声出力]を選んでから、カーソルを右へ移動します

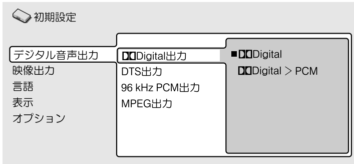




接続する外部機器がドルビーデジタルに対応しているとき

4. [DD Digital出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します





DD Digital(お買い上げ時の設定)

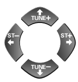
ドルビーデジタル対応機器、またはデコーダーと接続したときに選択します。

DD Digital > PCM

ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していない機器と接続したときに選択します。

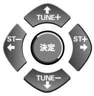
メモ

よく使うボタン

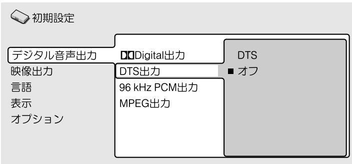
 DVD設定	設定画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
 戻る	一つ前の画面に戻る。

接続する外部機器が DTS に対応しているとき

はじめから操作する場合は、132ページの手順1 から 3 の操作をしてください。



[DTS 出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



DTS

DTS 対応機器、またはデコーダーと接続したときに選択します。

オフ(お買い上げ時の設定)

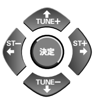
DTS に対応していない機器と接続したときに選択します。

注 意

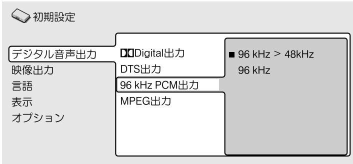
◆ DTS に対応していない機器に接続しているときに[DTS]を選択するとノイズが発生することがあります。

接続する外部機器が 96kHz に対応しているとき

はじめから操作する場合は、132ページの手順1 から 3 の操作をしてください。



[96kHz PCM 出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



96kHz > 48kHz(お買い上げ時の設定)

96kHz の信号を 48kHz に変換して出力します。96kHz に対応していない機器と接続したときに選択します。

96kHz

96kHz対応機器またはデコーダーと接続したときに選択します。

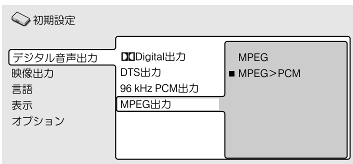
応用編

接続する外部機器が MPEG に対応しているとき

はじめから操作する場合は、132ページの手順1 から 3 の操作をしてください。



[MPEG 出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



MPEG

MPEG 対応機器またはデコーダーと接続したときに選択します。

MPEG > PCM(お買い上げ時の設定)

MPEG 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。MPEG に対応していない機器と接続したときに選択します。

映像出力の設定を変更する

はじめに **DVD/CD ボタン**を押してから、以下の操作をしてください。

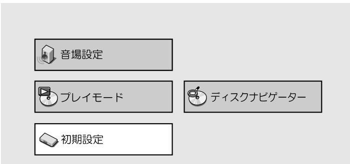
1. DVD 設定ボタンを押して、設定画面を表示させます



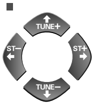
2. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します。

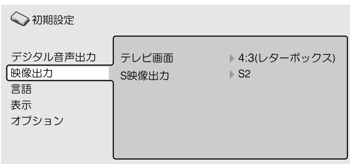


ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。



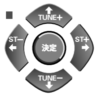
3. [映像出力]を選んでから、カーソルを右へ移動します

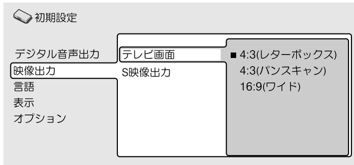




接続したテレビのサイズは、
ワイドサイズ(16:9)ですか？
従来サイズ(4:3)ですか？

4. [テレビ画面]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します





4:3(レターボックス)(お買い上げ時の設定)
従来サイズのテレビと接続して、レターボックス方式(135 ページ)で見たいときに選択します。

4:3(パンスキャン)
従来サイズのテレビと接続して、パンスキャン方式(135 ページ)で見たいときに選択します。この設定はディスクが対応していないとできません。

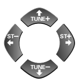
16:9(ワイド)
ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します。

メモ

よく使うボタン



設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする（設定は保存されません）。



項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。



項目を決定する。



一つ前の画面に戻る。

お使いのテレビに合わせた[テレビ画面]の設定は・・・

お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の[テレビ画面]の設定をしてください。

<table>
<tr><td colspan="2">お使いのテレビが従来
サイズ(4:3)のとき </td><td colspan="2">お使いのテレビがワイド
テレビ(16:9)のとき </td></tr>
<tr><td>本機の設定</td><td>映像の見えかた</td><td>本機の設定</td><td>映像の見えかた</td></tr>
<tr><td>4:3
(レターボックス)</td><td>16:9の映像

4:3の映像
</td><td rowspan="2">16:9(ワイド)</td><td rowspan="2">16:9の映像

4:3の映像
</td></tr>
<tr><td>4:3
(パンスキャン)</td><td>16:9の映像

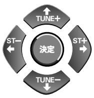
4:3の映像
</td></tr>
</table>

メ モ

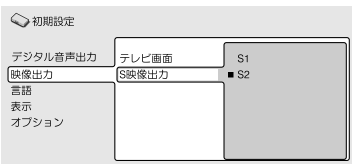
▼ 画面の比率(アスペクト比)の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

S 映像端子から出力される映像信号を S 1 に切りかえるとき

はじめから操作する場合は、134ページの手順 1 から 3 の操作をしてください。



[S 映像出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



S 1

S 1 映像信号が出力されます。

S 2(お買い上げ時の設定)

S 2 映像信号が出力されます。

注 意

◆ 本機とテレビを S 映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは**[S 1]**を選択してください。

言語の設定を変更する

応用編

はじめに **DVD/CD ボタン**を押してから、以下の操作をしてください。

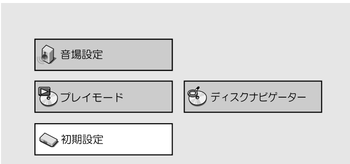
1. DVD 設定ボタンを押して、設定画面を表示させます



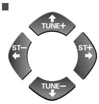
2. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します



ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。



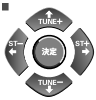
3. [言語]を選んでから、カーソルを右へ移動します

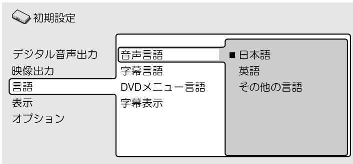




音声言語を変更する

4. [音声言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します





日本語(お買い上げ時の設定)

音声言語が日本語になります。

英語

音声言語が英語になります。

その他の言語

136 言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは 138 ページの『*字幕言語 / 音声言語/DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

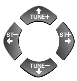
メ モ

▼ 音声言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。

よく使うボタン



設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする（ この場合、設定は保存されません)。



項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。



項目を決定する。



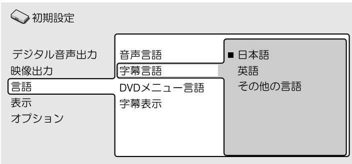
一つ前の画面に戻る。

字幕言語を変更する

はじめから操作する場合は、136ページの手順1から3の操作をしてください。



[字幕言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



日本語(お買い上げ時の設定)

日本語の字幕を表示します。

英語

英語の字幕を表示します。

その他の言語

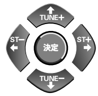
136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは138ページの『*字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

メ モ

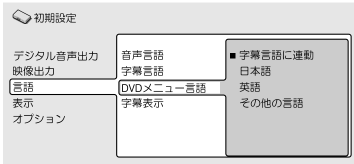
▼ 字幕言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。

DVDのメニューに表示する言語を変更する(DVDメニュー言語)

はじめから操作する場合は、136ページの手順1から3の操作をしてください。



[DVDメニュー言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



字幕言語に連動(お買い上げ時の設定)

[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。

日本語

日本語でメニュー画面が表示されます。

英語

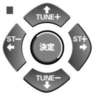
英語でメニュー画面が表示されます。

その他の言語

136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは138ページの『*字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

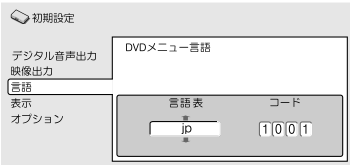
字幕言語 / 音声言語 / DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき

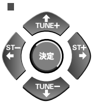
177ページの言語コード表を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1. 

[その他の言語]を選んでから、決定ボタンを押します

例）DVD メニュー言語の場合



2. 

[言語表]、または[コード]を選んでから、決定ボタンを押します

言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(177 ページ)をご覧ください。

[言語表]で言語を選ぶとき

例えばフランス語を選ぶ場合は、⇧ を 2 回押します。

[コード]で言語を選ぶとき

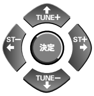
下記のいずれかの操作をします。

例えばフランス語を選ぶ場合は、

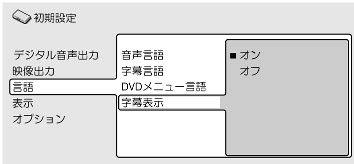
- 数字ボタンの 0、6、1、8 を押します。
- 1ケタごとに⇧ ⇩ で数字を選択します(⇦⇨ でケタを移動します。)

字幕を表示しないようにするには(字幕表示)

はじめから操作する場合は、136ページの手順 1 から 3 の操作をしてください。



[字幕表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



オン(お買い上げ時の設定)

字幕を表示します。

オフ

字幕を表示しません。ただし、DVD の中には強制的に字幕を表示するものがあります。

表示の設定を変更したいとき

はじめに **DVD/CD ボタン**を押してから、以下の操作をしてください。

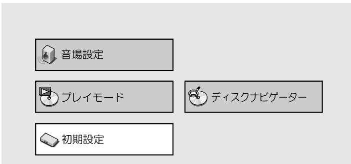
1. DVD 設定ボタンを押して、設定画面を表示させます



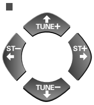
2. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

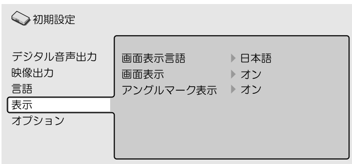


ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。



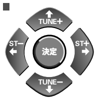
3. [表示]を選んでから、カーソルを右へ移動します

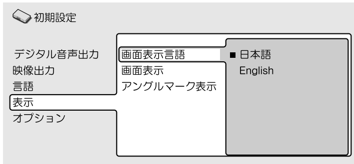




画面に表示される言語を英語にする（画面表示言語）

4. [画面表示言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します





日本語(お買い上げ時の設定)

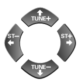
画面に表示される言語が日本語になります。

English

画面に表示される言語が英語になります。

メモ

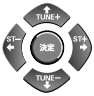
よく使うボタン

	設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする（この場合、設定は保存されません）。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

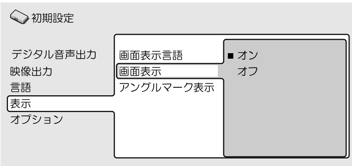
応用編

画面に操作表示([再生]、[停止]など)を出さないようにする（画面表示）

はじめから操作する場合は、139ページの手順1から3の操作をしてください。



[画面表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



オン(お買い上げ時の設定)

画面に操作表示をします。

オフ

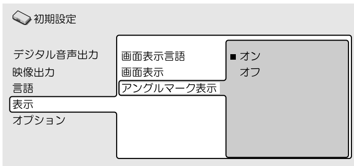
画面に操作表示をしません。

アングルマーク( )を表示しないようにする(アングルマーク表示)

はじめから操作する場合は、139ページの手順1から3の操作をしてください。



[アングルマーク表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



オン(お買い上げ時の設定)

画面に マークを表示します。

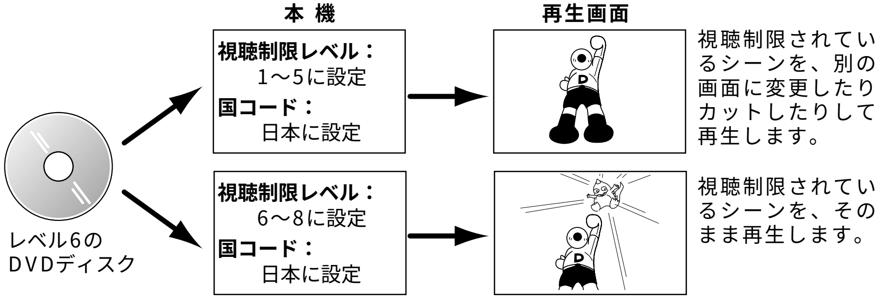
オフ

画面に マークを表示しません。

オプションの設定

視聴制限を設定する

暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば本機のレベルを５に設定しておくと、レベル６のディスク（またはシーン）を再生することはできません。レベル６のディスクを再生するには、あらじめ登録してある暗証番号を入力して、本機のレベルを６以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能で、国コード*をあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。



＊国コードについて

国コードは、ディスクに指定されている国コードを指定します。

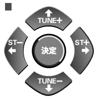
一般的な視聴制限レベルの設定（各レベルと再生できる内容について）

レベル	再生内容	
レベル1に設定すると	子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R指定含む）は再生できません。	レベル１のディスクは、大人から子供まで誰でも楽しめる内容。
レベル2～3に設定すると	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R 指定）ディスクは再生できません。	
レベル4～7に設定すると	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。	レベル ４ ～ ７ のディスクは中学生以下が見ることができない内容。
レベル8に設定すると	すべてのディスクを制限無しで再生することができます。	レベル８のディスクは成人しか見ることのできない内容。
「切」に設定すると	パレンタルレベルを「切」にします。	

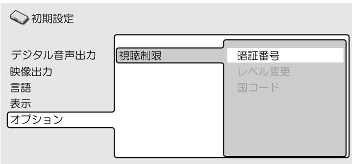
暗証番号を登録するには･･･

本機で設定した視聴制限レベルを容易に変更できないようにするため、暗証番号を設定します。暗証番号は次のようなときに必要となります。

- 本機で設定した視聴制限レベルを変更するとき
- ディスクを再生中に視聴制限が働いたとき（視聴制限レベル一時変更）

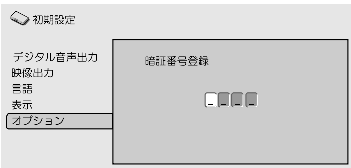
1. 

[オプション]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選んでから、決定ボタンを押します



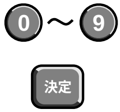
2. 

数字(0 〜 9)ボタンで 4 桁の暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します



視聴制限できる DVD を再生するには･･･

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。

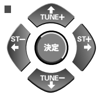


数字(0 〜 9)ボタンで 4 桁の暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

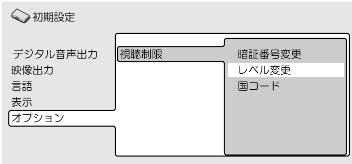
メ モ

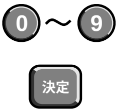
- ▼ 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- ▼ 暗証番号を忘れてしまったときは、お買い上げ時の設定に戻して、再度設定してください。（145 ページ）
- ▼ ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

本機のレベルを設定するには・・・

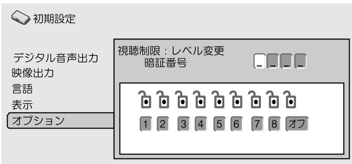
1. 

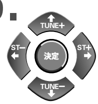
[レベル変更]を選んでから、決定ボタンを押します



2. 

数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

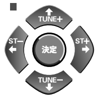


3. 

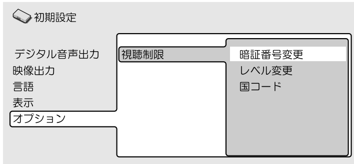
レベルを選んでから、決定ボタンを押します



暗証番号を変更するには・・・

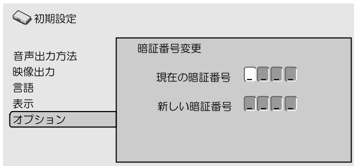
1. 

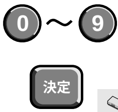
[暗証番号変更]を選んでから、決定ボタンを押します



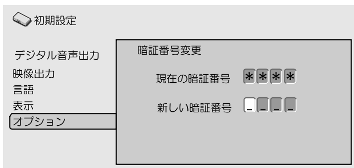
2. 

数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します



3. 

数字(0 ～ 9)ボタンで新しい暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

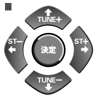


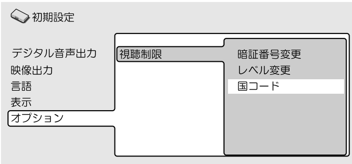
応用編

国コードを変更するには･･･

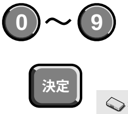
177 ページの国コード表を見ながら操作します。

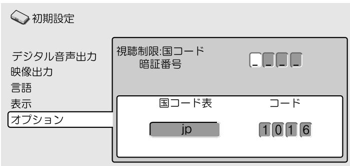
1. [国コード]を選んでから、決定ボタンを押します



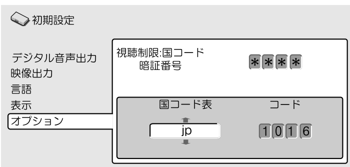


2. 数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

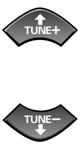




3. 数字(0 ～ 9)ボタンで[コード]、または⇧⇩で[国コード表]を入力してから、決定ボタンを押します



[国コード表]で変更するとき



例えば日本を選ぶ場合は、⇧⇩で[jp]を選択します。

[コード]で変更するとき

下記のいずれかの操作をします。

例えば日本を選ぶ場合は、



- 数字ボタンの 1、0、1、6 を押します。(177 ページの国コード表参照)
- 1ケタごとに⇧⇩で数字を選択します(⇦⇨でケタを移動します。)

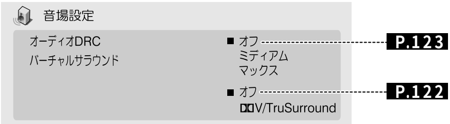
4. 本体の DVD/CD ▲ボタンを押して、ディスクを取り出します



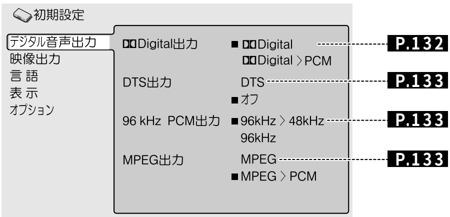
国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

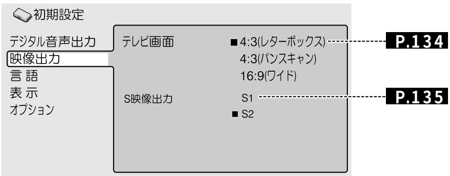
DVDの初期設定一覧

音場設定

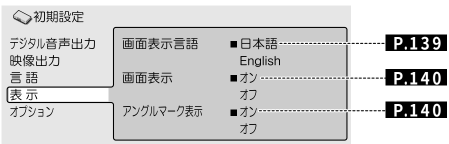


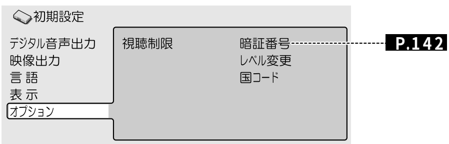
初期設定







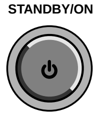




視聴制限のお買い上げ時の設定は、暗証番号未設定、レベル変更オフ、国コードは日本の設定となっています。

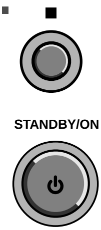
設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻す(初期化)

1. 電源をオフにして、スタンバイ状態にします



電源が入っているときは、⏻電源ボタンを押します。
あらかじめディスクは取り出しておきます。

2. ■ボタンを押しながら、本体の⏻電源ボタンを押します



設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります。

注 意

◆ 初期化すると、記憶していたすべてのメモリーが同時に消去されます。初期化する前は十分にご注意ください。

メ モ

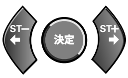
▼ 初期化すると、20ページの画面が最初に表示されます。

表示の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて表示の明るさを、明るい設定（LIGHT）と暗い設定（DARK）に切りかえることができます。ディマー機能といいます。お買い上げ時は、明るい設定（LIGHT）になっています。

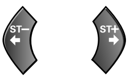
1. 

システムメニューボタンを押します

2. 

⇦ ⇨ で "DIMMER" を選んでから、決定ボタンを押します

DIMMER

3. 

⇦ ⇨ でお好みの明るさを選びます

明るくするときは、"LIGHT"を選びます。

LIGHT

暗くするときは、"DARK"を選びます。

DARK

4. 

決定ボタンを押します

ボリュームの設定をかえる

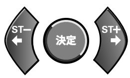
最小音量値から最大音量値までのボリュームの変化ステップ量が 30 ステップのノーマルポジションと、80 ステップのファインポジションとがあります。
お買い上げ時は、ノーマルポジションになっています。ファインポジションにすると、小さな音量のときに微調整がしやすくなります。

1. 

⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします

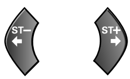
2. 

システムメニューボタンを押します

3. 

⇦ ⇨ で "VOLUME MODE" を選んでから、決定ボタンを押します

VOLUME　MODE

4. 

⇦ ⇨ でボリュームの設定を選びます

ノーマルポジションのときは、"NORMAL" を選びます。

NORMAL

ファインポジションのときは、"FINE" を選びます。

FINE

5. 

決定ボタンを押します

時計の表示モードをかえる

時計の表示を、12時間表示と24時間表示とに切りかえることができます。お買い上げ時は、12時間表示になっています。

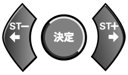
1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします**



2. **システムメニューボタンを押します**

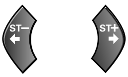


3. **⇦ ⇨ で"HOUR FORMAT"を選んでから、決定ボタンを押します**



HOUR　FORMAT

4. **⇦ ⇨　でお好きな表示を選択します**



12 時間表示

12–HOUR

24 時間表示

24–HOUR

5. **決定ボタンを押します**



周波数ステップを切りかえる

国内では通常、FM/AM 放送を受信するときの周波数ステップを、FM 放送は 50kHz ごとに、AM放送は9kHzごとに設定されています（本機お買い上げ時の設定）。本機ではこの周波数ステップを、FM放送は100kHzステップに、AM放送は 10kHz ステップに変えることができます。

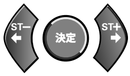
1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします**



2. **システムメニューボタンを押します**

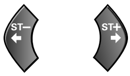


3. **⇦ ⇨ で"TUNER STEP"を選んでから、決定ボタンを押します**



TUNER　STEP

4. **⇦ ⇨　で 9kHz か 10kHz を選択します**



AM放送を9kHzステップにしたとき

AM9K /FM50K

AM 放送を 10kHz ステップにしたとき

AM10K /FM100K

5. **決定ボタンを押します**



外部機器の接続のしかた

応用編

本機には、外部機器の接続用の端子として、アナログ入出力端子と光デジタル入出力端子とがあります。

アナログ接続する場合

CD-R、MD、カセットデッキなどのアナログ入出力端子のある機器を、本機に接続することができます。接続した機器を本機で聞いたり、本機のMDやメモリースティックで録音したりすることもできます。また、接続した機器で本機のMDなどを録音することができます。

接続のしかた

本機の**ライン1入力(アナログ)端子**と接続機器の出力端子、本機の**ライン1出力(アナログ)端子**と接続機器の入力端子とを、それぞれ市販のピンプラグ付接続コードで接続します。

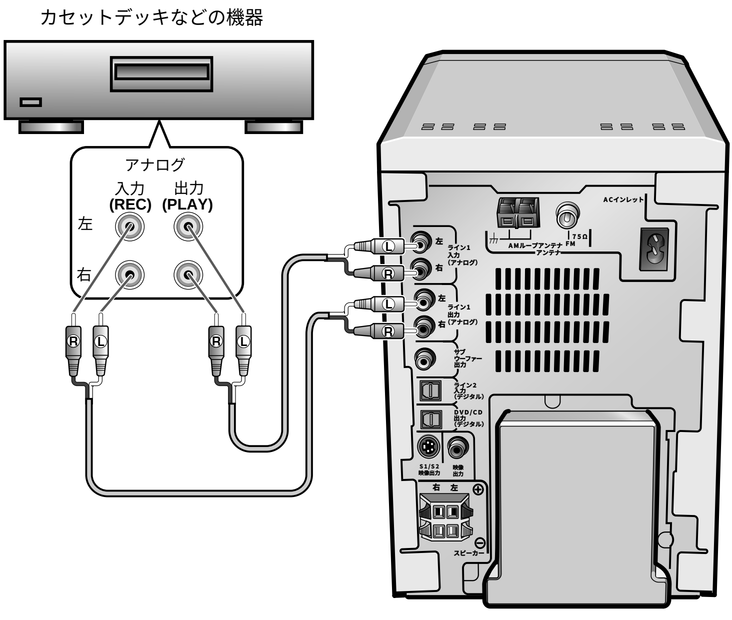
- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機で聞いたり録音したりするには

L1/L2
LINE

LINEボタンを押して、LINE1を選びます

押すごとに、LINE1とLINE2が切りかわります。
本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2ボタンを押すと、押すごとにFM→AM→LINE1→LINE2と切りかわります。



デジタル出力接続する場合

AVアンプと接続して、本機で再生しているDVDの音声をマルチチャンネルサラウンドで楽しんだり、CD-Rなどと接続して本機のCDを録音したりすることができます。

接続のしかた

市販の光ファイバーケーブルで、本機の**DVD/CD出力(デジタル)端子**と接続機器の光デジタル入力端子とを接続します。

- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル出力するには



DVD/CDボタンを押します

デジタル出力される音声は、DVD/ビデオCD/ CD/ MP3の再生音です。

Q&A

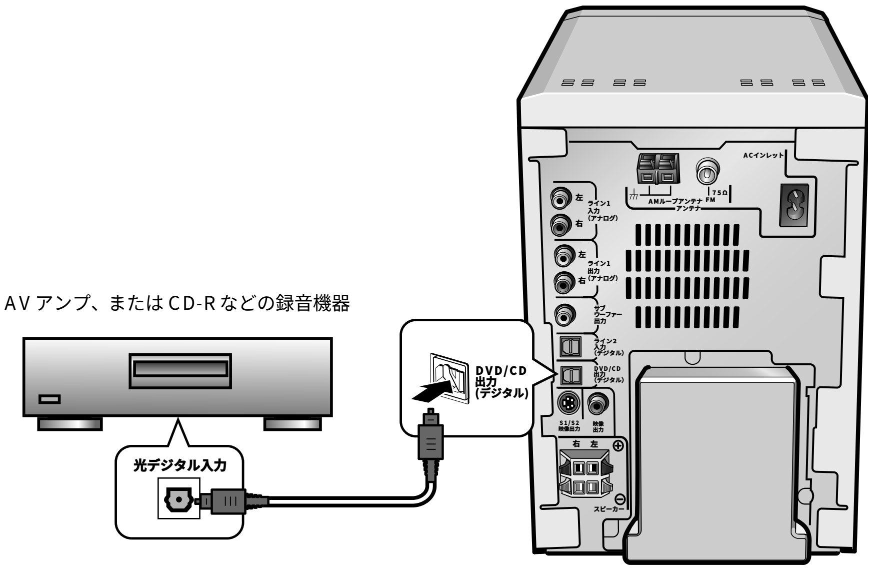
Q ：外部接続したデジタル機器にデジタル録音ができない！

→ デジタル録音されたCD-Rを、さらに別のデジタル機器に録音することはできません。（164ページ）

→ 本機では、MDやメモリースティックの音声はデジタル出力されません。本機で再生したMDやメモリースティックを録音する場合は、アナログ接続から録音してください。

注 意

◆ **ライン2入力(デジタル)端子**から入力したデジタル音声を、**DVD/CD出力(デジタル)端子**から出力することはできません。



デジタル入力接続する場合

BSチューナー、CSチューナー、ゲーム機などのデジタル光出力端子のある機器を本機と接続することができます。
接続した機器の音声を本機で聞いたり、本機のMDやメモリースティックで録音したりすることができます。

接続のしかた

市販の光ファイバーケーブルで、本機の**ライン2入力(デジタル)端子**と接続機器の光デジタル出力端子とを接続します。

● 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機で聞いたり録音したりするには



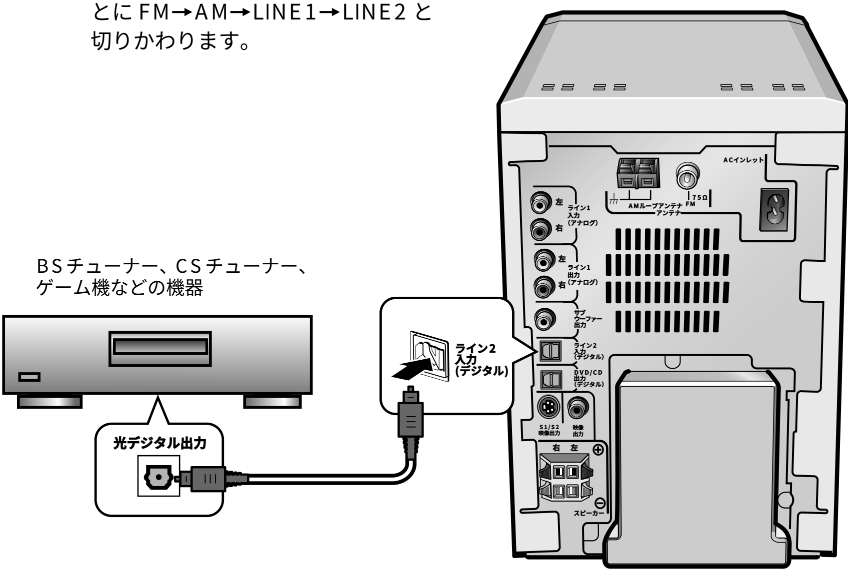
LINEボタンを押して、LINE2を選びます

押すごとに、LINE1とLINE2が切りかわります。
本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2ボタンを押すと、押すごとにFM→AM→LINE1→LINE2と切りかわります。

Q&A

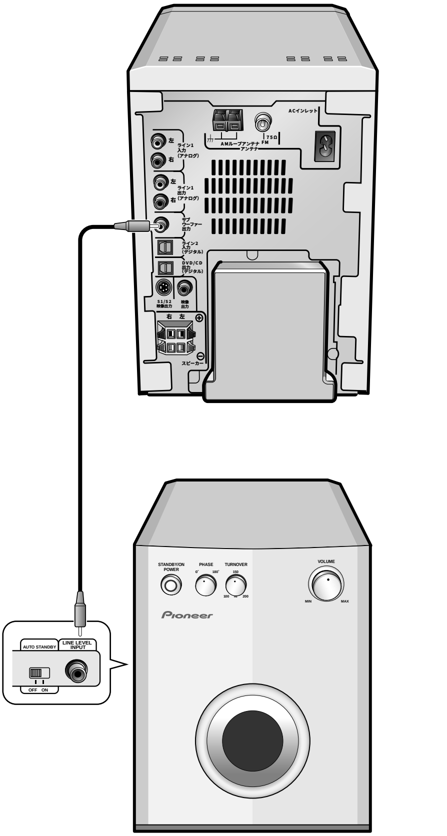
Q：BSデジタルやDVDからの音が出ない！

→ BSデジタル機器やDVDからの光デジタル出力の設定を、リニアPCM出力にする。
本機は、ドルビーデジタル、MPEG、DTSには対応していません。詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。



別売のサブウーファー（S-SW5-S、S-SW5-K）を接続する

別売のサブウーファーを接続すると、DVDのサラウンドの世界をより楽しむことができます。サブウーファーに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。



アンプ付きサブウーファー
(S-SW5-S、S-SW5-K)

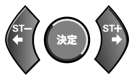
サブウーファーの設定をする

本機に接続したサブウーファーから、音を出力する / しないの設定をすることができます。お買い上げ時は、オン（サブウーファーから音を出力する）の設定になっています。

1. **サウンドボタンを押します**

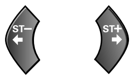


2. **⇦ ⇨ で "SW SETTING" を選んでから、決定ボタンを押します**



SW SETTING

3. **⇦ ⇨ で "ON" か "OFF" を選びます**



"ON" にすると、サブウーファーから音が出力されます。

ON

"OFF"にすると、サブウーファーから音が出力されません。

OFF

4. **決定ボタンを押します**



Q&A

Q ：サブウーファーから音が出ない！

→ 本機には、接続したサブウーファーから、音を出力する / しないの設定があります。オン（サブウーファーから音を出力する）の設定になっているか、確認してください。

→ マナーモードがオンに設定されていると、サブウーファーからは音は出ません。125ページにて、マナーモードの設定をオフにしてください。

外部機器をメモリースティックに録音する

外部機器をメモリースティックへ録音します。

1. **メモリースティック挿入部に、録音可能なメモリースティックを本機にセットします**

2. **LINEボタンを押して、録音したい外部機器を選びます**

本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2ボタンで、録音したい外部機器を選びます

3. **録音メニューボタンを押します**

4. **"MS REC"が表示してから、決定ボタンを押します**

MS REC

5. **"MANUAL REC"が表示してから、決定ボタンを押します**

MANUAL REC

録音が開始されます。

録音を止めたいときは

■ボタンを押します

メ モ

▼ お買い上げ時の録音ビットレートは、132kbpsに設定されています。より長く録音したい場合は、73ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。
▼ 曲や音声を録音すると自動的に曲番号がつけられます。164ページを参照してください。

外部機器をMDに録音する

外部機器をMDへ録音します。

1. **録音可能なMDをセットします**

2. **LINEボタンを押して、録音したい外部機器を選びます**

本体で操作する場合は、FM/AM/LINE 1/2ボタンで、録音したい外部機器を選びます

3. **録音メニューボタンを押します**

4. **"MD REC"が表示してから、決定ボタンを押します**

MD REC

5. **"MANUAL REC"が表示してから、決定ボタンを押します**

MANUAL REC

録音が開始されます。

録音を止めたいときは

■ボタンを押します

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4またはLP2モード（44ページ）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ 曲や音声を録音すると自動的に曲番号がつけられます。164ページを参照してください。

外部機器をメモリースティックとＭＤへ同時に録音する

外部機器をメモリースティックとＭＤへ同時に録音します。

1. **録音可能なＭＤを、本機にセットします**

2. **メモリースティック挿入部に、録音可能なメモリースティックをセットします**

3. **LINEボタンを押して、録音したい外部機器を選びます**

録音メニュー

本体で操作する場合は、ＦＭ/AM/LINE 1/2ボタンで、録音したい外部機器を選びます

4. **録音メニューボタンを押します**

録音メニュー

5. **"⇦ ⇨ で"MD&MS REC"を選んでから、決定ボタンを押します**

ST− 決定 ST+

MD&MS REC

6. **"MANUAL REC"が表示してから、決定ボタンを押します**

ST− 決定 ST+

MANUAL REC

録音が開始されます。

録音を止めたいときは

■ボタンを押します

メ モ

- ▼ この方法でＭＤに録音するとき、LP4またはLP2モード（44ページ）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ メモリースティックに録音するときの録音ビットレートは、お買い上げ時は132kbpsに設定されています。より長く録音したい場合は、73ページを参照して、録音ビットレートを変更してください。
- ▼ ＭＤまたはメモリースティックのどちらか一方の録音が停止した場合でも、もう一方の録音はそのまま継続されます。
- ▼ 曲や音声を録音すると自動的に曲番号がつけられます。164ページを参照してください。

外部機器音声の歪みを減らす

LINE 入力に接続した機器を本機で聞いたときや、アナログ録音して再生すると、歪みっぽく感じられる場合があります。これは入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター（減衰器）をオンにすると改善されることがあります。

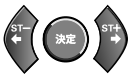
1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします**



2. **システムメニューボタンを押します**

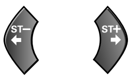


3. **⇦ ⇨ で"LINE1 ATT"を選んでから、決定ボタンを押します**



LINE1 ATT

4. **⇦ ⇨ で "ON" か "OFF" を選びます**



"ON" にすると、アッテネーター（減衰器）により、入力信号が − 6dB（半分に）減衰します。

"ON" を選んだときの例

ON

"OFF" を選んだときの例

OFF

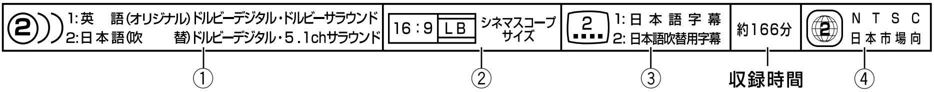
5. **決定ボタンを押します**



DVDのディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例



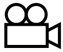
① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています(音声の切りかえは、29 ページをご覧ください)。
上記の場合本機では、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は 5.1ch サラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9 の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されており、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます。(134 ページ)

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています(字幕の切り切りかえは、29 ページをご覧ください)。
DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機（日本向け）の再生可能地域番号は 2 番で、ディスクに記載された地域番号が 2 番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク



舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVD ビデオでは、最大 9 つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いた DVD ビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(57 ページ)。

メ モ

▼ DVD ビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の 3 つが現在主流となっています。（166 ～ 167 ページの用語解説を参照）

DVD ディスクの基礎知識

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク		
DVD ビデオ		
ビデオ CD		
CD	CD-R	CD-RW
F-Disc(エフディスク)	(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです。	

本機で再生できないディスクの種類

DVD オーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、フォト CD、CD-G、リージョンが **「2」「ALL」** 以外の DVD ビデオなど

DVD-R/DVD-RW ディスクの再生について

- 本機ではDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクを再生することができます。
- **本機ではビデオレコーディングフォーマットで記録されたDVD-RWディスクは再生できません。**

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、または MP3 の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3 の再生について

- ISO9660CD-ROM ファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または 48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは **[このフォーマットは再生できません]** と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(166 ページ)には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 半角英数字で入力された文字のフォルダー/トラックの名前を表示することができます。半角英数字以外で入力されているフォルダー / トラックの名前には、「F_001」/「T_001」のようにMP3 ナビゲーター、またはプログラムの画面に表示されます。また、本体表示窓にも半角大文字英数字以外を表示できないことがあります。
- フォルダー / 総トラック数はそれぞれ 250 まで対応しています。251 以降のフォルダー / トラックを再生することはできません。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

注 意

◆ レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RW ディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。

◆ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。

◆ ファイナライズ*していないCD-R/CD-RWディスクでは、一部の時間情報が表示されないことがあります。

◆ 詳しいCD-R/CD-RW ディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

◆ ファイナライズ ** していない D V D - R / DVD-RWディスクを再生することはできません。

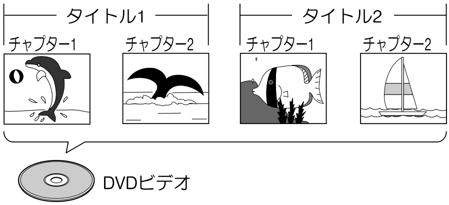
* 録音が終了したCD-Rディスクを一般のCDプレーヤーで再生できるようにしたり、CD-RWディスクをCD-RW対応のプレーヤーで再生できるようにするための最終処理。

** ビデオフォーマットで録画したディスクを、一般のDVDプレーヤーで再生できるようにするための最終処理。

タイトルとチャプターについて

DVD ではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。

DVDビデオの映画ソフトなどでは、一般的に1つの映画が 1 つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

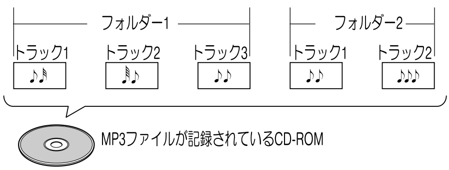


トラックについて

CDやビデオCDでは、ディスクをトラックという単位で分けています（一般的には、1 曲が 1 つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。

MP3 について

MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー 3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」、または「.MP3」という拡張子の付いたファイルを MP3 ファイルと呼びます。



応用編

その他

ディスクの取り扱いかた

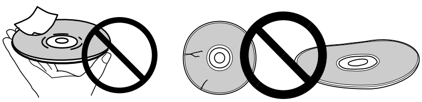
DVD/CD ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

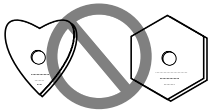
ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、再生ができなくなることがあります。その場合は、クリーニングクロスで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみだしている恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。
- ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。



特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



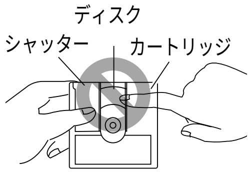
ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできない場合がありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

MD の取り扱いかた

⚠ 注意

・ディスクに直接触れないでください。
・シャッターを無理に開けるとこわれます。
・分解しないでください。



右記マークのディスクをお使いください。

MD とは

- 直径64mmのディスクをカートリッジに収めたもので、ホコリに強く、キズもつきにくいなど CD に比べ取り扱いが簡単です。
- 録音や再生はデジタル方式ですので、CDに迫る高音質を再現します。また、テープのようにからんだり、伸びたりすることがなく、音質も劣化せず耐久性に優れています。

MD の種類について

再生専用と録音・再生用があります。

■再生専用 MD（録音はできません）

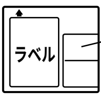
CD と同じ光ディスクを使っています。



シャッターが裏面にあり

■録音・再生用 MD

光磁気ディスクを使っているので、繰り返し録音することができます。



シャッターが両面にあり

保管

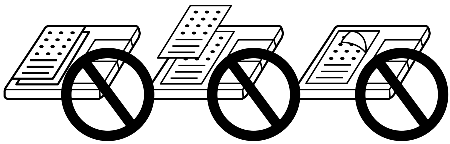
・ケースに入れて保管してください。
・次のようなところには保管しないでください。
ー高温多湿の場所
ー直射日光が当たる場所
ー砂やホコリの入りやすい場所

カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽く拭き取ってください。

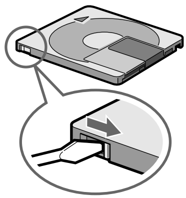
ラベルの貼付けについて

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MD が取出せなくなります。
・指定の場所(エリア内)に貼ってください。
・重ねて貼付けないでください。
・ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。

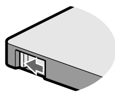


録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。



メモリースティックについて

メモリースティックとは？

メモリースティックは、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。メモリースティック対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの１つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

応用編

メモリースティックの種類

メモリースティックには、著作権保護技術（MagicGate）を搭載したマジックゲート メモリースティック（以下 MG メモリースティック）と、搭載していない汎用のメモリースティックの 2 種類があります。
（詳しくは、168 ページの「用語解説」をご覧ください。）
本機では、汎用メモリースティックはご使用できません。
メモリースティックをご購入の際は、MGのついたメモリースティックをお買い求めください。

本機で使用できるMGメモリースティック

MG

✕ **使用できない汎用メモリースティック**

注 意

◆ 本機で対応している MG メモリースティックの容量は 128MB までです。

MagicGate（マジックゲート）とは？

マジックゲートは、MG メモリースティックと対応機器（本機など）に搭載している著作権保護技術です。対応機器と MG メモリースティックの間でお互いが著作権保護に対応しているかどうかを判断する認証と、データの暗号化を行います。認証された機器以外では、著作権のあるデータは再生できません。

メモリースティック使用上のご注意

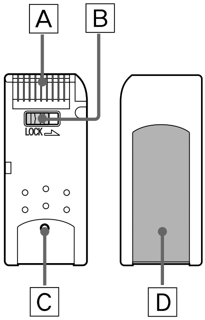
以下の場合、データが破壊されることがあります。

– 読み込み中や書き込み中にメモリースティックを抜いたり、電源を OFF にした場合。
– 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合。

フォーマット（初期化）についてのご注意

メモリースティックは、標準フォーマットとして専用の FAT フォーマットで出荷されています。フォーマット（初期化）が必要な場合は必ず、103ページ「メモリースティックのすべてのデータを消す（フォーマット機能）」の方法でフォーマットを行なってください。
Windows エクスプローラで初期化されたメモリースティックは、本機では使用することはできません。そのようなメモリースティックは、パソコンなどでメモリースティック用のアプリケーションを利用してメモリースティックの標準フォーマットを行なってから、本機で使用してください。

メモリースティックの取り扱いについて



64MB のメモリースティックの図です。

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去などができなくなります。(B)
- MG メモリースティックには、触っただけで一般のメモリースティックとの区別ができるように裏面に突起があります。(C)
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。(D)
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に、はみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。(A)
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。

- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

ＭＤ録音の基礎知識

TOC（トック）が記録されています

曲や音声と共に、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として（TOC:Table of Contents）が記録されています。
したがって、再生や編集をするときには、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報としてTOCを手がかりに動作しています。
ですからＭＤで曲の録音をしたり編集作業をした場合は、TOC情報もディスクに記録しますし、TOC情報を書き換えたりもしています。

ＭＤ録音とテープ録音の違い

- ＭＤは片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる残り時間が確認できます。

TOCを記録するときの注意

TOCの記録中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、正しく再生できない場合があります。

- TOC記録中は、以下の表示をします。

```
TOC WRITE
```

TOCはいつＭＤに記録される？

- ＭＤ取り出し(▲)ボタンを押したとき
- 電源を切ってスタンバイ状態になるとき
- 録音を停止したとき
- 編集後に再生を停止したとき

録音中に停電すると

ＭＤへの録音中に、電源スイッチを切ったり電源コンセントが抜けたり停電があった場合は、その時の録音内容は全て消えてしまうことがあります。
すでに録音しているＭＤに追加して録音していた場合は、追加していた部分が消えてしまいます。

ＭＤに録音できない場合

●再生専用ＭＤ（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき
●ＭＤが誤消去防止状態になっているとき
●ＭＤの録音可能時間が残っていないとき
●"DISC FULL" が表示されたとき
●TOCが異常のとき

ＬＰ２、ＬＰ４録音について

本機でＬＰ２、ＬＰ４モードで録音した曲は、MDLP対応機器以外では再生できません。
LP4モードでの録音は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。
音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2モードでの録音をおすすめします。

MD のシステム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT とは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。
これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MD の最大録音時間になっていないのに“ DISC（ディスク） FULL（フル） ”が表示されることがある。	MD では、TOC に MD 上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大（255曲）になっていなくても、TOC（トック）の情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 （このような MD は、不要なトラックを消去するか全曲イレース機能を行なえば、使用できます。） ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12 秒以下（通常のステレオ録音で録音時）の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MD に録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1 クラスタ(通常のステレオ録音で約 2 秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約 2 秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
残り再生時間や総再生時間が、実際の再生時間と一致しないことがある。	計算処理の制約により、誤差が生じる場合があります。
編集で曲と曲とをつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なった MD では、コンバイン機能を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なった MD では、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。

録音に関する基礎知識

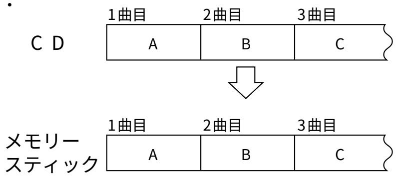
曲番号について

MDやメモリースティックに曲や音声を録音すると、自動的に曲番号がつけられます。
追加録音したときは、順に曲番号は大きくなります。

CDやMDをデジタル録音したとき

CDなどについている曲番号と同じ所に、1曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし4秒以下の曲がある場合などは、CDの曲番号と録音したMDやメモリースティックの曲番号が一致しないことがあります。

例：



CDをメモリースティックに録音したときの例

CDやMD以外の機器からデジタル録音した時やラジオ放送を録音したとき

1回の録音内容を1曲として曲番号がつきます。

テープなどの機器からアナログ録音したとき

MDに録音する場合は、2秒以上の無音部分があると曲間と判断し、次に音が入力されたときに曲番号が自動的につきます。

メモリースティックに録音する場合は、2秒の無音部分があると曲間と判断し曲番号が自動的につきます。

- 信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては、正しい位置に曲番号がつかないこともあります。

デジタル録音について

本機のデジタル録音のサンプリング周波数は44.1kHzです。他のサンプリング周波数の機器（BS/CSチューナー、DVD、DATの一部）でも32kHz、48kHzでのサンプリング周波数であれば自動的にその周波数に切り換わり、デジタル録音することができます。なお、DVDなどでデジタルコピーが禁止されている場合には、サンプリング周波数を変換してもデジタル録音はできません。また、本機では96kHzのサンプリング周波数は変換できません。このような場合にはアナログ録音に切りかえてください。

デジタル録音に関するご注意

デジタルオーディオ（CD、MD、CD-R、衛星デジタル音楽放送など）では、音声信号をデジタル信号にてやり取りすることができます。
アナログ信号と違いデジタル信号でのやり取りでは、音楽を劣化の少ない状態で録音することが可能なために、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要となりました。
それが、シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)で、デジタル信号による録音を「何世代まで」と規制している方式です。概要は、以下の通りです。

1 デジタル録音されたものを、さらに別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へデジタル録音することはできない。

2 アナログ録音されたものは、別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へ1度だけデジタル録音することができる。

注 意

◆ アナログ録音をする場合は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)は関係ありません。

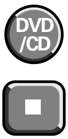
CD(CD-R/CD-RW)のアナログ録音とデジタル録音を切りかえる

CD(CD-R/CD-RW)から MD やメモリースティックへ録音する場合、デジタル録音とアナログ録音とを切りかえることができます。
例えば、CD-R からの録音で **"Can't REC"** と表示が出て録音できない場合は、アナログ録音に切りかえてから録音します。

1. **CD(CD-R/CD-RW)をセットします**

CD(CD-R/CD-RW)以外のディスクをセットするとアナログ録音固定となり操作することができません。

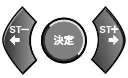
2. **DVD/CD ボタンを押して再生させてから、■ ボタンを押します**



3. **システムメニューボタンを押します**

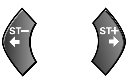


4. **⇦ ⇨ で "INPUT SEL." を選んでから、決定ボタンを押します**



INPUT SEL.

5. **⇦ ⇨ を押して、デジタルかアナログかを選びます**



- デジタル録音（お買い上げ時の設定）

DIGITAL

- アナログ録音

ANALOG

6. **決定ボタンを押します**



アナログ録音に設定すると、表示部から **"DIGITAL"** が消灯します。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは 4：3 ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して１本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

視聴制限
暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

ドルビーデジタル *1 DOLBY DIGITAL
DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）で記録されているソフトとは、5 つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。

**1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。*
「Dolby」、「ドルビー」及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオ CD(バージョン 2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高 / 標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の１つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。DVDではアングルを最大９つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大 8 言語(8 ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大 32 カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョン No.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニア PCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録した DVD ビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHz などの表示があることもあります。

DTS*²

DTS とはデジタルシアターシステム（Digital Theater Systems）の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。

**² DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。*

DVD ビデオフォーマット記録

、またはマークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)で DVD-R/DVD-RW ディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアの DVD レコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、「V1」とよばれる高画質で録画するモード(録画時間：1時間)と、「V2」とよばれる長時間で録画するモード(録画時間：2 時間)があります。

F-Disc（エフディスク）

8mm フィルムで撮った映像を DVD ディスクに記録したものです。

お問い合わせ先：
(株) フジカラーサービス
　コンシューマーフォト部
　電話：03-5571-5333

MP3

MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー 3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルを MP3 ファイルと呼びます。拡張子とは、OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと 3 文字のアルファベットで構成されています。

MPEG

Moving Picture Experts Group の略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVD の映像やビデオ CD の映像 / 音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1 映像出力

S1 とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)の識別信号の入った S 映像信号です。

S2 映像出力

S1 に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入った S 映像信号です。
S2 対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

3/2.1CH

3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表わしています。

例）5.1CH の場合

- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*¹ チャンネル[1CH × 0.1*² = 0.1CH]

***1**: 重低音強調効果の意
***2**: 音声全体に対して低音が占める割合

テレビ画面には下記のように表示されます。



応用編

メモリースティック
小型、軽量のIC記録メディア。著作権保護技術「マジックゲート」を搭載したマジックゲートメモリースティック（MG メモリースティック）と、搭載していない一般のメモリースティックがあります。メモリースティック対応のA/V機器で画像や音楽、音声データを記録したり、パソコンでデータを記録できます。1 枚のメモリースティックに異なる種類のデータを混在して記録することも可能です。（使用する機器によって、使える機能や扱えるデータの種類は異なります。）例えば、音楽データが入っているMG メモリースティックの空き部分に、画像を記録できる機器で画像データを記録することもできます。

マジックゲート　メモリースティック
IC記録メディアメモリースティックに著作権保護技術「MagicGate（マジックゲート）」を搭載したもの。音楽などの著作権保護が必要なデータは、マジックゲート　メモリースティックと「マジックゲート」対応機器の組み合わせでのみ記録や再生ができます。マジックゲート メモリースティックには、著作権保護が必要なデータだけでなく、その他のメモリースティック対応機器のデータを記録することもできます。マジックゲート　メモリースティックには「MG」「MAGIC GATE」のロゴがついています。

ビットレート（圧縮率）
1秒あたりの、情報量を数字で表したものです。単位はbps（bit per second）。読みかたは、「ビーピーエス」です。本機では、録音する際にビットレートを132kbps/105kbps/66kbpsから選べます。例えば、105kbpsは、1秒間に105000bitの情報を持っているということを表わします。この数字が大きい程、音楽を再現するために多くの情報を持っているということになるため、同じ符号化方式（ATRAC3 など）の比較では、一般的に66kbpsよりも105kbps、105kbpsよりも132kbpsの方が良い音で楽しめるということになります。（MP3等、他の符号化方式の音と単純な比較はできません。）

ATRAC3（アトラックスリー）
「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データをCDの約1/10以下に圧縮可能で、メディア容量の小型化が可能です。
本機では、チェックアウト / チェックインの操作をすることはできません。

CHECK OUT（チェックアウト）／ CHECK IN（チェックイン）
録音した音楽データを、外部機器／メディアに転送することを「チェックアウト」と言い、チェックアウトした音楽データを録音した機器に戻すことを「チェックイン」と言います。（チェックアウトしたデータを他のパソコンやハードディスクデスクトップオーディオシステムにチェックインすることはできません。）
特別に利用方法に関する条件が付加された音楽データを除き、SDMIの基本ルールでは音楽データは1回のコピーで4部まで作成可能なため、1部は録音した機器に保存され、残りの3部は外部機器／メディアへチェックアウトできます。
本機では、チェックアウト / チェックインの操作をすることはできません。

MagicGate*（マジックゲート）
マジックゲート メモリースティックに記録するデータの暗号化と、マジックゲート メモリースティック対応機器の相互認証の 2 つの技術により著作権を保護する技術。デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。機器とメモリースティックの両方にマジックゲートが搭載されている場合のみ働きます。マジックゲート対応機器とマジックゲート メモリースティックの間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認（認証）し、確認できた場合のみデータをマジックゲート メモリースティックへ記録できます。データは記録時に暗号化されます。記録されたデータを再生するときも同様に、マジックゲート メモリースティックと機器が相互に確認し、確認された場合のみ再生できます。

* MAGICGATE は、ソニーが考案する著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
すべてに共通		
音が出ない。	• 電源コードがはずれています。電源コードを正しく接続してください。 • すべてのコードが完全に接続されていません。接続のしかたを参照して、正しく接続してください。	12 10-12
音量を調節しても音がなかなか小さくならない、または大きくならない。	• ボリューム設定が“ FINE ”になっています。ボリューム設定を“ NORMAL ”にしてください。	146
DVD/CD 関係		
設定した内容が消えてしまった。	• 本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず⏻電源ボタンを押して、表示窓の[**See you!**]表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをおすすめします。	
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	• ■ボタンを押してから、もう一度再生してください。	
DTS音声が出力されない。	• DTS音声対応アンプ、またはデコーダーをお持ちでないときはDTS音声を再生することはできません。ディスクのメニュー画面、またはリモコンの音声ボタンでDTS 以外の音声を選んでください。 • 本機と DTS 音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは[DTS 出力]の設定を[オフ]にしてください。ノイズが発生することがあります。 • DTS音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときは、アンプの設定、およびデジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	29 133 149

症状	原因 / 対策	参照ページ
画面に[**本気のスピーカーからは、DTSの音声は出力されません**]と表示された。	• 本機ではスピーカーやヘッドホンカラハ、DTSの音声を出力することができません。DTS音声を再生するときは、ディスクの　メニュー画面、またはリモコンの音声ボタンでDTS以外の音声を選んでください。	29
スピーカーから音が出ない。	• ディスクが汚れていませんか？ • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？	158
外部機器として接続したAVアンプなどから音が出ない。	• 本機の音声出力端子、または接続したAVアンプなどの音声入力端子に音声ケーブルが正しく差し込まれていますか？または、外れていませんか？ • オーディオ・ビデオコード(赤/白)のプラグや本機の音声出力端子、または接続したAVアンプなどの音声入力端子が汚れていたら拭いてください。 • [デジタル音声出力]の設定により、音が出ないことがあります。 • [96kHz PCM出力]の設定が[96kHz]になっていませんか？リニアPCM音声の96kHzデジタル出力を禁止しているディスクがあります。 • 接続したAVアンプなどの音量が最小になっていませんか？	148-149 148-149 132-133 133
画面が縦または横に伸びている。	• 接続したテレビに合わせて[テレビ画面]の設定をしてください。 • 本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、テレビ側の信号処理により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは[**S映像出力**]の設定を[**S1**]にしてください。	134 135
DVDとCDで音量差を感じる。	• ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
DVD再生中に画像が乱れる、または暗い。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、画像の一部に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクをVTRを通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	11

症状	原因 / 対策	参照ページ
DVD/CD 関係		
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	• ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
テレビなどが誤動作する。	• ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
放送関係		
放送が聞こえない、聞き苦しい。	• アンテナが接続されていません。アンテナを正しく接続してください。 • アンテナの向き、位置が悪くなっています。アンテナの向きや位置を調整してください。 • 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用していませんか？雑音を発生させる機器の使用をやめてください。	10-13 13
放送がステレオなのにステレオにならない。	• 表示部の **MONO** インジケーターが点灯していませんか？ FM 放送の受信設定を **AUTO** にして、**MONO** インジケーターを消灯してください。	47
MD 関係		
録音ができない。	• MD が誤消去防止状態になっています。誤消去防止ツマミを閉じてください。 • 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしていませんか。新しい録音用 MD と交換してください。 • DISC FULLになっています。不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD と交換してください。	159 163
モノラルで録音されてしまう。	• モノラル長時間モードになっています。長時間録音モードを通常のステレオ録音にしてください。	44
MDを入れても“ NO DISC ”や“ ERROR ”が表示される。	• ディスクにキズが付いています。新しい MD に交換してください。	
再生音がとぎれる。	• 振動の多い不安定な場所で使用していませんか？平らな安定した場所に移し変えてください。 • 結露現象が起きています。１時間ほど放置してから使用してください。	178 178
録音したときに音が歪む。	• LINE入力信号が大きすぎます。入力アッテネーターを“ ATT ON ”にしてください。 • 録音レベルが大きすぎます。デジタル録音レベルを小さくしてください。	154 89

症状	原因 / 対策	参照ページ
MD 関係		
録音したときに音が小さい。	• 録音レベルが小さすぎます。デジタル録音レベルを大きくしてください。 • 入力アッテネーターが“ ATT ON ”になっています。入力アッテネーターを“ ATT OFF ”にしてください。	89 154
グループ機能が使えない。	• グループディスクと認識されていません。または、グループ機能がない機器でディスク名を変更しています。ディスク名を消去してグループ名を登録しなおしてください。	115
本機でMDLP録音したMDが他の機器で再生できない。	• 再生しようとしていた機器が、MDLP対応ではありません。MDLPで録音したMDは、MDLP対応機器にて再生してください。	
2つの曲をつなぐ(コンバイン)ができない。	• デジタルとアナログで録音された曲をつなごうとしています。デジタル（アナログ）で録音された曲はデジタル（アナログ）録音された曲同士つないでください。 • MDLPにて、違う録音モードで録音した曲同士をつなごうとしています。MDLPの同じ録音モードで録音した曲同士つないでください。	44
メモリースティック関係		
音が歪んでいるように聞こえる	• 録音時のビットレートが低いためです。高い設定にして、再度録音を行ってください。	73
再生したら急に止まった。	• メモリースティックの端子部が汚れている。クリーニングしてください。	161
再生期限付きの曲を再生できない。	• 時計が設定されていないと再生できません。時計をあわせてください。 • 有効期限外の場合は再生でません。 • メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると再生できません。「LOCK」を解除してください。	22 161
ネームにスペース（空白）が表示される。	• 本機で使用されない文字は、スペース（空白）で表示されます。	93
他の機器でネームを入力してあるのに、“ NO NAME ”と表示される	• 本機で表示できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号だけです。漢字などが含まれていた場合は、“ NO NAME ”と表示されます。	93

症状	原因 / 対策	参照ページ
メモリースティックを挿入したのに、“ NO STICK ”と表示される。	• 裏表を逆に挿入していませんか？正しい方向で挿入してください。	34
録音ができない。	• メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっています。「LOCK」を解除してください。 • STICK FULL になっています。不要な曲を消去するか、新しいメモリースティックと交換してください。	161 174
他機器で使用していたメモリースティックが使用できない。	• 本機では汎用メモリースティックを使用することはできません。 • パソコンの Windows エクスプローラーでフォーマット（初期化）したメモリースティックは、使用することはできません。	160 160
その他		
タイマーが作動しない。	• 現在時刻の設定がされていません。現在時刻を設定してください。	22
リモコンがきかない。	• リモコンの電池がなくなっています。新しい電池にかえてください。 • 電池のプラスとマイナスの向きを間違えてリモコンに入れていませんか？正しく入れてください。 • 蛍光灯がリモコン受光部の近くにあります。蛍光灯をリモコン受光部から離してください。	3 3 15
LINE に接続した機器からの音がひずむ。	• 接続した機器からの出力レベルが大きくなっています。入力アッテネーターを “ ATT ON ” にしてください。	154
タイマーインジケーターが点滅する。	• ただちに電源プラグを抜き、お近くのサービスステーションに連絡してください。	

メモリースティックでこんな表示が出たときは

症状	意味	このようにしてください
NO STICK	• メモリースティックが入っていない。 • 裏表を逆に挿入している。	• メモリースティックを入れてください。 • 正しい方向で挿入し直してください。
NO AUDIO	• 音楽がなにも記録されていない。 • 本機で再生できないメモリースティックが入っている。 • 本機で再生できないフォーマットのメモリースティックを挿入して使用している。	• 再生するときは、録音されたメモリースティックを入れてください。 • 本機で再生できるメモリースティックを入れてください。（160ページ） • メモリースティックをフォーマットしてください。（160ページ）
PROTECTED	• メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	• 「LOCK」を解除してください。
STICK ERROR	• メモリースティックの異常、または本機の異常が認識された。 • 汎用メモリースティックを使用している。 • 128Mより大きな容量のメモリースティックを使用している。 • 本機で再生できないフォーマットのメモリースティックを挿入して使用している。	• 電源を切り、もう一度入れ直してから表示を確認してください。 • マジックゲート対応のメモリースティックを使用してください。（160ページ） • 128M以下のメモリースティックを使用してください。 • メモリースティックをフォーマットしてください。（160ページ）
LOADING	• データを読み込んでいる • データ読みこみ中にMANUAL RECをしようとした。	• そのまましばらくお待ちください。 • アクセスLEDが消えてから録音してください。
STICK FULL	• メモリースティックに録音できるスペースがない。	• 他のメモリースティックと交換するか、不要な曲を消去してください。
Can't REC	• CD-Rなど録音禁止処理されているCDをメモリースティックに録音しようとした。	• 録音禁止処理されていないCDに取替えてください。
Can't PLAY	• 本機では再生できないコンテンツである。	• 他のメモリースティックと交換してください。
D. IN UNLOCK	• デジタル入力なのに正常な信号が入力されていない。	• デジタル入力端子に正しく接続されているか確認してください。
SETUP ERROR	• メモリースティック部分が正常に動作していない。	• 電源を切り、もう一度入れ直してから表示を確認してください。
NAME FULL	• アルバムネームもしくはトラックネームを入力中、100文字超えて入力しようとした。	• アルバムネーム／トラックネームは100文字以下になるように入力してください。

症状	意味	このようにしてください
Can't EDIT IMPOSSIBLE	• 編集できない。もしくは編集に失敗した。	• もう一度、操作した項目の注意文やメモなどを見直してください。
RESTRICTED → SET CLOCK	• 再生期限制限付きコンテンツで時間の設定を行っていないのに再生操作をした。	• 時間設定を行なってください。（22 〜 23 ページ）
RESTRICTED → Can't PLAY	• REPEAT/RANDOM/PROGRAM モードにて再生中に制限付きコンテンツを再生しようとした。 • 再生期限制限付きコンテンツで再生可能な制限前に再生操作をした。	• 制限付きコンテンツを再生する時はノーマルモードにて再生してください。 • 再生可能な日になってから再生させてください。
RESTRICTED → EXPIRED	• 再生期限制限付きコンテンツで再生可能な制限後に再生操作をした。 • 再生回数制限付きコンテンツで再生できる回数に達したコンテンツを再生しようとした。	• いずれの場合も再生できません。
RESTRICTED → PROTECTED	• 再生制限のあるコンテンツを『LOCK』状態で再生しようとした。	• 「LOCK」を解除してください。（161 ページ）
RESTRICTED → REM ＊ TIMES ⇔ PLAY OK ?	• メニューの RESTRICT で SKIP CHECK が選択されていて、再生可能な回数制限付きコンテンツを再生しようとした。	• 再生したい場合は ► ボタンか決定ボタン、再生しない場合は ⏮ ⏭ ボタンで別の曲を選んでください。（37 ページ）
RESTRICTED (のみが表示された時)	• メニューの RESTRICT で SKIP ON が選択されている時に、再生回数制限付きコンテンツをスキップした。 • メニューの RESTRICT で SKIP CHECK か SKIP ON が選択されている状態で MD へ SYNCHRO REC を行ない、録音中に再生回数制限付きコンテンツを再生しようとした。 • MD へ SYNCHRO REC 中に再生できない制限付きコンテンツを再生しようとした。	• 回数制限付きコンテンツを再生したい場合は、メニューの RE-STRICT（72 ページ）で、SKIP CHECK か SKIP OFF を選んでください。（72 ページ） • MD への SYNCHRO REC を行なう時は、メニューの RESTRICT で、SKIP OFF を選択してください。 • MD への SYNCHRO REC を行なう時は、開始前に時間設定（22 〜 23 ページ）を行ない更に再生できない制限付きコンテンツはあらかじめ削除（103 ページ）しておいてください。

MD でこんな表示が出たときは

下の項目をチェックしても直らないとき、下記以外の表示が出たときは、お近くのパイオニアサービスステーション、またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症状	意味	このようにしてください
BLANK DISC	音楽が何も記録されていない。	再生する時は、録音されたMDと取りかえる。
Can' t REC	ショックやディスクの傷で正しく録音できなかった。 CD-R など録音禁止処理されているCDをMDに録音しようとした。	録音をやり直すか、MD を交換してください。 録音禁止処理されていない CD に取りかえてください。
Can' t EDIT	編集できない。	もう一度、操作した項目の注意文やメモなどを見直してください。
NO DISC	MD が入っていない。 MD のデーターが読めない。	MD を入れてください。 MD をもう一度入れ直してください。
DISC FULL	MD に録音できる空きがない。	他の録音用 MD と取りかえてください。
NAME FULL	ディスク、曲名、グループ名の合計が 1700 文字を超えている。 ディスク、曲名または、グループ名が 100 文字を超えている。	ディスク名／曲名／グループ名を短くする。 ディスク名／曲名／グループ名を短くする。
PREMASTERD	再生専用MDに録音や編集をしようとした。	録音用 MD と取りかえる。
PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっている。	誤消去防止状態をもとに戻す。
DISC ERROR	ディスクにキズがついている。	MD をもう一度入れ直してください。 他の MD と取りかえる。または、オールイレースをしてから録音をやり直してください。
TOC READ ERR	記憶されている TOC 情報が MD の規格に合ってなかったり読めない。	
MECHA ERROR	MD が正しく働いていない。	電源を切ってから再度電源を入れる。
D.IN UNLOCK	デジタル入力なのに正常な信号が入力されていない。	デジタル入力端子に正しく接続されているかを確認する。

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名 , **入力コード , 国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

日ごろのお手入れと取り扱いの注意

使用上の注意

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに⏻**電源ボタン**を押し、表示窓の[**See you!**]表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

CD レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものあるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。



結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には１時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

設置上の注意

- 組み合わせて使用するテレビのそばの安定した場所を選んでください。また、次のような場所には設置しないでください
  ・湿気の多い所や風通しの悪い所・極端に暑い所や寒い所 ・振動のある所・ほこりの多い所・ 油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりして故障の原因となります。
- 本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、１５～３０分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーシステムをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

通気孔をふさがない

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。通気孔はふさがないでください。風通しの悪い所に入れたり、毛足の長い敷物やベッド、ソファの上などへ置いたりしないでください。

仕様

アンプ部

実用最大出力（EIAJ 4 Ω）........ 25W + 25W

FM チューナー部

受信周波数 .... 76.0 ～ 108 MHz
アンテナ .... 75 Ω不平衡型

AM チューナー部

受信周波数
522 kHz～1,629 kHz（9 kHzステップ）
530 kHz～1,700 kHz（10 kHzステップ）
アンテナ .... ループアンテナ（付属）

DVD プレイヤー部

周波数特性 .... 4 Hz～44 kHz
（DVD、96 kHz）
サンプリング周波数特性 .... 4 Hz～22 kHz
（48 kHzサンプリング）

映像出力：
出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
出力端子 .... RCA 端子

S 映像出力
Y 出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
C 出力レベル .... 286 mVp-p(75 Ω)
出力端子 .... S 端子

ミニディスク部

記録方式 .... 磁界変調オーバーライト式
再生方式 .... 非接触光学式
サンプリング周波数 .... 44.1 kHz

メモリースティック部

再生信号圧縮方式 ATRAC3
周波数特性 .... 20 ～ 20kHz
最大録音時間 .... 約 60 分（132kbps）
約 80 分（105kbps）
約 120 分（66kbps）

（64MB マジックゲートメモリースティック使用時）

電源部・その他

電源電圧 .... AC100 V、50/60 Hz
消費電力（電気用品安全法）..................... 84W
待機時消費電力 .... 0.37 W
外形寸法（幅）×（高さ）×（奥行）
.... 162 × 220 × 339.5 mm
本体質量 .... 5.5 kg

スピーカー部 (S-SV7)

型式 ...... バスレフ式ブックシェルフ型、防磁設計(EIAJ)
使用スピーカー（2 ウェイ方式）
低音用（ウーファー）....... 10 cm（コーン型）
高音用（トゥイーター）.. 25 mm（セミドーム型）
公称インピーダンス .... 4 Ω
再生周波数帯域 .... 55 ～ 60,000 Hz
最大入力 .... 25 W（EIAJ）
外形寸法 .... 140 × 220 × 240 mm
（幅）×（高さ）×（奥行）
本体質量 .... 2.3 kg

付属品

保証書 1
取扱説明書 1
安全上のご注意 1
FM 簡易アンテナ 1
AM ループアンテナ 1
リモートコントロールユニット（リモコン）..... 1
単 3 形乾電池（R6P）.................................. 2
電源コード 1
ビデオコード 1
スピーカーコード 2

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は、次ページの「修理窓口・ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

170〜173ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD/MD/メモリースティック
  ミニコンポーネントシステム
- 型番：X-SV7DV
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

本機では、画面表示にＮＥＣのフォント「Font Avenue」を使用しています。
Font Avenue はNECの登録商標です。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
お問合わせ先：
社団法人 私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿３丁目20番２号
東 京オペラシティタワー11F
電話（03）5353－0336
FAX．（03）5353－0337

修理窓口・ご相談窓口のご案内

ご購入後の製品の修理・お取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　９：３０～１７：００、 土曜　９：３０～１２：００、１３：００～１７：００ （日曜・祝日・弊社休日は除く）

＜ご注意＞フリーフォンは、ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口	：**0070-800-8181-22**
カタログのご請求窓口	：**0077-800-8181-33**
ファックス	：**03-3490-5718**

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内	*http://www.pioneer.co.jp/support/*
カタログ請求とメールサービス登録のご案内	*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜～金曜　９：３０～１８：００、 土曜　９：３０～１２：００、１３：００～１７：００ （日曜・祝日・弊社休日は除く）

＜ご注意＞フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

電話（フリーダイアル）	：**0120-5-81095**
一般電話	：**0538-43-1161**
ファックス（フリーダイアル）	：**0120-5-81096**

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」または「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　９：３０～１８：００、 土曜　９：３０～１２：００、１３：００～１７：００ （日曜・祝日・弊社休日は除く）

＜ご注意＞フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

電話（フリーダイアル）	：**0120-5-81028**（ゴー パイ オ ニ ア）
一般電話	：**03-5496-2023**
ファックス（フリーダイアル）	：**0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　９：３０～１８：００ （土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話	：**098-879-1910**
ファックス	：**098-879-1352**

サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、修理受付センターでお受けします。
(沖縄県の方は沖縄サービスステーションでお受けします)

●北海道地区

受付　月~金　9：30~18：00　(土・日・祝・弊社休日は除く)

札幌サービスセンター	FAX	011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX	0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX	0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX	0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月~金　9：30~18：00　(土・日・祝・弊社休日は除く)

仙台サービスステーション	FAX	022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈石田20
山形サービス認定店	FAX	023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
盛岡サービスステーション	FAX	019-659-3165	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX	017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX	0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野4-3-34
秋田サービス認定店	FAX	018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1
郡山サービスステーション	FAX	024-939-1372	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル

●関東・甲信越地区

受付　月~土　9：30~18：00　(日・祝・弊社休日は除く)

世田谷サービスステーション	FAX	03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
墨田サービスステーション	FAX	03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原4-27-9　中島ICハイツ1F
城北サービスステーション	FAX	03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸4-11-14
多摩サービスステーション	FAX	042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F
高崎サービスステーション	FAX	027-322-8978	〒370-0851	高崎市上中居町45-2
足利サービス認定店	FAX	0284-42-4376	〒326-0058	足利市元学町831
新潟サービスステーション	FAX	025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX	0259-63-3400	〒952-1209	佐渡郡金井町千種1158-1
千葉サービスセンター	FAX	043-207-2555	〒263-0015	千葉市稲毛区作草部1369-1　椎の実ハイツ1F
つくばサービス認定店	FAX	0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
水戸サービス認定店	FAX	029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
埼玉サービスセンター	FAX	048-651-8030	〒330-0038	さいたま市宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX	049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX	028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
神奈川サービスセンター	FAX	045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX	045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南1-19-17
厚木サービス認定店	FAX	046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田339-1　金田コーポフロンテア201
三宅島サービス指定店　勝見電機	TEL	04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービスステーション	FAX	026-326-3122	〒390-0842	松本市征矢野2-8-7
長野サービス認定店	FAX	026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX	055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月~金　9：30~18：00　(土・日・祝・弊社休日は除く)

名古屋サービスセンター	FAX	052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
津サービス認定店	FAX	059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岡崎サービス認定店	FAX	0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジ　B-1
岐阜サービス認定店	FAX	058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービスステーション	FAX	054-237-5691	〒422-8034	静岡市高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX	0559-21-9050	〒410-0058	沼津市沼北町1-14-26

●中部地区　受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町415　ビラモデルナ5号
金沢サービスステーション	FAX　076-291-6425	〒921-8005	金沢市間明町1-130
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区　受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

大阪サービスセンター	FAX　06-6353-1145	〒530-0035	大阪市北区同心2-1-26
大阪南サービス認定店	FAX　0722-75-2625	〒593-8322	堺市津久野町1-8-15　ローズマンション1F
大阪北サービス認定店	FAX　06-6453-5666	〒531-0076	大阪市北区大淀中3-9-4
奈良サービス認定店	FAX　0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
和歌山サービス認定店	FAX　0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京滋サービスステーション	FAX　075-682-7176	〒601-8448	京都市南区西九条豊田町24-1
福知山サービス認定店	FAX　0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション
神戸サービスステーション	FAX　078-251-7173	〒651-0086	神戸市中央区磯上通り5-1-13
姫路サービス認定店	FAX　0792-51-2656	〒671-0251	姫路市花田町上原田30-4

●中国地区　受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

広島サービスステーション	FAX　082-227-4866	〒730-0013	広島市中区八丁堀2-31　鴻池ビル
徳山サービス認定店	FAX　0834-33-5759	〒745-0006	徳山市花畠町3-11　森広事務所1F
福山サービス認定店	FAX　0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
岡山サービスステーション	FAX　086-276-1927	〒703-8282	岡山市平井3-1078-6
松江サービス認定店	FAX　0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
鳥取サービス認定店	FAX　0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町5-240-1

●四国地区　受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

高松サービスステーション	FAX　087-861-4841	〒760-0014	高松市昭和町1-3-33　大商ビル
徳島サービス認定店	FAX　088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカB 103号
高知サービス認定店	FAX　088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル１Ｆ
松山サービス認定店	FAX　089-951-6270	〒791-8067	松山市古三津5-10-35　商船ビル１Ｆ

●九州地区　受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

福岡サービスステーション	FAX　092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
博多サービス認定店	FAX　092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX　095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和１丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX　096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立５丁目14-17
大分サービス認定店	FAX　097-549-2420	〒870-0889	大分市大石町５丁目1-1
北九州サービスステーション	FAX　093-951-1748	〒802-0011	北九州市小倉北区重住3-1-20
鹿児島サービスステーション	FAX　099-224-7692	〒892-0841	鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル２Ｆ
宮崎サービス認定店	FAX　0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

●沖縄地区　受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

沖縄サービスステーション	TEL　098-879-1910 FAX　098-879-1352	〒901-2122	浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター３Ｆ

平成１４年４月現在　　修理窓口・ご相談窓口の名称・所在地・電話番号は変更することがございますのでご了承ください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。





長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？
- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

- “ MagicGate Memory Stick ”「マジックゲート メモリースティック」および は、ソニー株式会社の商標です。
- “ Memory Stick ”「メモリースティック」 および は、ソニー株式会社の商標です。
- “ MagicGate ”「マジックゲート」 および MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

高調波ガイドライン適合品

パイオニア株式会社　〒 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TSWZF/02C00000>　<ARA7146-A>